

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記原理	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	簿記の基礎である初歩的な会計理論を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習	
達成目標	複式簿記の基本原則を学ぶことで、簿記の基本原則を理解することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的①（基礎編）
	2	簿記の目的②（基礎編）
	3	簿記の目的③（基礎編）
	4	簿記の目的④（基礎編）
	5	簿記の目的⑤（基礎編）
	6	簿記一巡①（基礎編）
	7	簿記一巡②（基礎編）
	8	簿記一巡③（基礎編）
	9	簿記一巡④（基礎編）
	10	簿記一巡⑤（基礎編）
	11	商品売買①（基礎編）
	12	商品売買②（基礎編）
	13	商品売買③（基礎編）
	14	商品売買④（基礎編）
	15	現金および預金（基礎編）
	16	手形および電子記録債権・債務①（基礎編）
	17	手形および電子記録債権・債務②（基礎編）
	18	有形固定資産（基礎編）
	19	その他の債権および債務①（基礎編）
	20	その他の債権および債務②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験80% 出席点20% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記通論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	一般的な商取引に対する会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習	
達成目標	簿記の基本原理の理解と、株式会社を前提とした会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	株式会社の資本①(基礎編)
	2	株式会社の資本②(基礎編)
	3	株式会社の資本③(基礎編)
	4	株式会社の資本④(基礎編)
	5	税金①(基礎編)
	6	税金②(基礎編)
	7	その他の勘定および訂正仕訳①(基礎編)
	8	その他の勘定および訂正仕訳②(基礎編)
	9	決算①(基礎編)
	10	決算②(基礎編)
	11	決算③(基礎編)
	12	決算④(基礎編)
	13	その他の決算整理①(基礎編)
	14	その他の決算整理②(基礎編)
	15	その他の決算整理③(基礎編)
	16	その他の決算整理④(基礎編)
	17	その他の決算整理⑤(基礎編)
	18	その他の決算整理⑥(基礎編)
	19	その他の決算整理⑦(基礎編)
	20	その他の決算整理⑧(基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験80% 出席点20% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	商業簿記論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	必修	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	簿記試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	銀行勘定調整表①
	2	銀行勘定調整表②
	3	クレジット売掛金（クレジット取引）①
	4	クレジット売掛金（クレジット取引）②
	5	商品売買①
	6	商品売買②
	7	商品の評価①
	8	商品の評価②
	9	有価証券の分類①
	10	有価証券の分類②
	11	同一銘柄の有価証券を異なる価格で購入した場合①
	12	同一銘柄の有価証券を異なる価格で購入した場合②
	13	有形固定資産の割賦購入①
	14	有形固定資産の割賦購入②
	15	圧縮記帳①
	16	圧縮記帳②
	17	リース取引①
	18	リース取引②
	19	引当金①
	20	引当金②
	21	役務収益・役務原価①
	22	役務収益・役務原価②
	23	将来の期間に影響する特定の費用①
	24	将来の期間に影響する特定の費用②
	25	外貨建取引①
	26	外貨建取引②
	27	為替予約①
	28	為替予約②
	29	剰余金の配当等①
	30	剰余金の配当等②
	31	企業結合①
	32	企業結合②
	33	税金①
	34	税金②

	35	英米式決算法①
	36	英米式決算法②
	37	模擬試験①
	38	模擬試験 解説①
	39	模擬試験②
	40	模擬試験 解説②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験70% 出席点30% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	会社会計論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	簿記試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	簿記試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記一巡の手続き
	2	日々の手続き
	3	決算の手続き
	4	財務諸表
	5	損益計算書・貸借対照表
	6	株主資本変動計算書
	7	現金および預金
	8	銀行勘定調整表①
	9	銀行勘定調整表②
	10	債権・債務
	11	クレジット売掛金（クレジット取引）
	12	営業外受取手形・営業外支払手形
	13	電子記録債権および電子記録債務
	14	三分法による記帳と売上原価の計算
	15	販売の都度売上原価勘定に振替える方法（売上原価対立法）
	16	棚卸減耗と商品評価損
	17	仕入および売上の割引・割戻
	18	有価証券の分類、会計処理
	19	模擬試験
	20	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験70% 出席点30% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	電卓技能	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実技及び講義	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	検定試験に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と一部実践的な実技演習	
達成目標	検定試験に合格するための基礎知識を習得	
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・電卓技能検定協会出版 電卓技能検定問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の機能
	2	電卓技能 加減算
	3	電卓技能 加減算
	4	電卓技能 乗除算
	5	電卓技能 乗除算
	6	電卓技能 見取算
	7	電卓技能 見取算
	8	電卓技能 伝票算
	9	電卓技能 伝票算
	10	電卓１・２級問題集第①～②
	11	電卓１・２級問題集第③～④
	12	電卓１・２級問題集第⑤～⑥
	13	電卓１・２級問題集第⑦～⑧
	14	電卓１・２級問題集第⑨～⑩
	15	電卓段位問題集第①～②
	16	電卓段位問題集第③～④
	17	電卓段位問題集第⑤～⑥
	18	電卓段位問題集第⑦～⑧
	19	電卓段位問題集第⑨～⑩
	20	電卓まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	一般常識	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	検定試験に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と一部実践的な実技演習	
達成目標	検定試験に合格するための基礎知識を習得	
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント	
特記		
授業計画	1	漢字３級日々プリント①～⑩
	2	漢字３級日々プリント⑪～⑳
	3	漢字３級日々プリント㉑～㉓
	4	漢字３級日々プリント㉔～㉖
	5	漢字３級項目別問題①～③
	6	漢字３級直前模試①
	7	漢字３級直前模試②
	8	漢字３級直前模試③
	9	漢字３級直前模試④
	10	漢字３級直前模試⑤
	11	漢字２級日々プリント①～⑩
	12	漢字２級日々プリント⑪～⑳
	13	漢字２級日々プリント㉑～㉓
	14	漢字２級日々プリント㉔～㉖
	15	漢字２級項目別問題①～③
	16	漢字２級直前模試①
	17	漢字２級直前模試②
	18	漢字２級直前模試③
	19	漢字２級直前模試④
	20	漢字２級直前模試⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	3 級総合	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	簿記 3 級試験に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記 3 級試験に合格するための模擬試験で合格点をとる事ができる	
教科書	公開模試 直前答練	
特記		
授業計画	1	日ビ直前答練①
	2	日ビ直前答練① 解説
	3	日ビ直前答練②
	4	日ビ直前答練② 解説
	5	日ビ直前答練③
	6	日ビ直前答練③ 解説
	7	日ビ直前答練④
	8	日ビ直前答練④ 解説
	9	日ビ直前答練⑤
	10	日ビ直前答練⑤ 解説
	11	日ビ最終確認
	12	日ビ最終確認 解説
	13	公開模試
	14	公開模試 解説
	15	日商直前答練①
	16	日商直前答練① 解説
	17	日商直前答練②
	18	日商直前答練② 解説
	19	日商直前答練③
	20	日商直前答練③ 解説
	21	日商直前答練④
	22	日商直前答練④ 解説
	23	過去公開模試
	24	過去公開模試 解説
	25	過去直前答練①
	26	過去直前答練① 解説
	27	過去直前答練②
	28	過去直前答練② 解説
	29	過去直前答練③
	30	過去直前答練③ 解説
	31	過去直前答練④
	32	過去直前答練④ 解説
	33	検証期① 抜粋問題
	34	検証期② 抜粋問題

	35	検証期③	抜粋問題	
	36	検証期④	抜粋問題	
	37	検証期⑤	抜粋問題	
	38	検証期⑥	抜粋問題	
	39	模擬試験		
	40	模擬試験	解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験80％ 出席点20％ 模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	総合原価計算論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	簿記 2 級試験に合格するための工業簿記・原価計算の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記 2 級試験に合格するための工業簿記・原価計算の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算
	2	製造間接費実際発生額の部門別集計①
	3	製造間接費実際発生額の部門別集計②
	4	個別原価計算における仕損①
	5	個別原価計算における仕損②
	6	損益計算書と製造原価報告書①
	7	損益計算書と製造原価報告書②
	8	材料の投入形態①
	9	材料の投入形態②
	10	工程別の月末仕掛品の計算①
	11	工程別の月末仕掛品の計算②
	12	組間接費の配賦
	13	等価係数
	14	正常減損費の処理
	15	正常仕損費の処理
	16	原価標準の設定
	17	原価際の計算
	18	損益分岐分析
	19	模擬試験
	20	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験70% 出席点30% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	2 級総合	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	簿記 2 級試験に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記 2 級試験に合格するための模擬試験にて合格点をとることができる	
教科書	公開模試 直前答練	
特記		
授業計画	1	日ビ直前答練①
	2	日ビ直前答練① 解説
	3	日ビ直前答練②
	4	日ビ直前答練② 解説
	5	公開模試
	6	公開模試 解説
	7	直前答練①
	8	直前答練① 解説
	9	直前答練②
	10	直前答練② 解説
	11	直前答練③
	12	直前答練③ 解説
	13	直前答練④
	14	直前答練④ 解説
	15	直前答練⑤
	16	直前答練⑤ 解説
	17	直前答練⑥
	18	直前答練⑥ 解説
	19	模擬試験
	20	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験70% 出席点30% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	1 級総合	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	簿記 1 級試験合格のための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記 1 級試験合格のための模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	公開模試 直前答練	
特記		
授業計画	1	日ビ直前答練①（商業簿記・会計学）
	2	日ビ直前答練①（工業簿記・原価計算）
	3	日ビ直前答練① 解説
	4	日ビ直前答練②（商業簿記・会計学）
	5	日ビ直前答練②（工業簿記・原価計算）
	6	日ビ直前答練② 解説
	7	日ビ直前答練③（商業簿記・会計学）
	8	日ビ直前答練③（工業簿記・原価計算）
	9	日ビ直前答練③ 解説
	10	日ビ直前答練④（商業簿記・会計学）
	11	日ビ直前答練④（工業簿記・原価計算）
	12	日ビ直前答練④ 解説
	13	日ビ最終確認（商業簿記・会計学）
	14	日ビ最終確認（商業簿記・会計学） 解説
	15	日ビ最終確認（工業簿記・原価計算）
	16	日ビ最終確認（工業簿記・原価計算） 解説
	17	公開模試（商業簿記・会計学）
	18	公開模試（商業簿記・会計学） 解説
	19	公開模試（工業簿記・原価計算）
	20	公開模試（工業簿記・原価計算） 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	1 級受験総合	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	簿記 1 級試験合格のための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記 1 級試験合格のための模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	直前答練	
特記		
授業計画	1	直前答練①（商業簿記・会計学）
	2	直前答練①（工業簿記・原価計算）
	3	直前答練① 解説
	4	直前答練②（商業簿記・会計学）
	5	直前答練②（工業簿記・原価計算）
	6	直前答練② 解説
	7	直前答練③（商業簿記・会計学）
	8	直前答練③（工業簿記・原価計算）
	9	直前答練③ 解説
	10	直前答練④（商業簿記・会計学）
	11	直前答練④（工業簿記・原価計算）
	12	直前答練④ 解説
	13	直前答練⑤（商業簿記・会計学）
	14	直前答練⑤（工業簿記・原価計算）
	15	直前答練⑤ 解説
	16	直前答練⑥（商業簿記・会計学）
	17	直前答練⑥（工業簿記・原価計算）
	18	直前答練⑥ 解説
	19	模擬試験（商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算）
	20	模擬試験（商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算） 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	レクリエーション概論																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科２年制学科																																								
履修年次	１年次																																								
開講学期	１学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	４０時間																																								
授業回数	２０回																																								
授業概要	レクリエーションの意義と歴史・使命・仕組み等、制度について理解を深める。また、現代社会の中で、個人のライフスタイルや家族、地域社会の置かれている状況、少子高齢社会の課題を確認し、レクリエーション支援が必要とされる（活用ができる）具体的な場面について理解を深める。																																								
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。																																								
達成目標	レクリエーションの基礎概論を習得し、子どもの発達に応じた事業計画・展開方法を習得する。																																								
教科書	レクリエーション支援の基礎（中央出版法規） おもちゃインストラクター入門（日本グッド・トイ委員会）																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>１</td><td>レクリエーションの意義</td></tr> <tr><td>２</td><td>レクリエーション運動を支える制度 インストラクターの役割</td></tr> <tr><td>３</td><td>ライフスタイルとレクリエーション</td></tr> <tr><td>４</td><td>少子化の課題・地域とレクリエーション</td></tr> <tr><td>５</td><td>レクリエーション事業について</td></tr> <tr><td>６</td><td>ホスピタリティーとは</td></tr> <tr><td>７</td><td>アイスブレイキングの基本技術</td></tr> <tr><td>８</td><td>復習(意義、役割) 事業計画、コミュニケーション</td></tr> <tr><td>９</td><td>レクリエーションの基礎</td></tr> <tr><td>１０</td><td>レクリエーション支援論</td></tr> <tr><td>１１</td><td>レクリエーション事業論</td></tr> <tr><td>１２</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)①</td></tr> <tr><td>１３</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)②</td></tr> <tr><td>１４</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)③</td></tr> <tr><td>１５</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)④</td></tr> <tr><td>１６</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)⑤</td></tr> <tr><td>１７</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)⑥</td></tr> <tr><td>１８</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)⑦</td></tr> <tr><td>１９</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)⑧</td></tr> <tr><td>２０</td><td>復習(基礎・支援論・事業論)⑨</td></tr> </table>	１	レクリエーションの意義	２	レクリエーション運動を支える制度 インストラクターの役割	３	ライフスタイルとレクリエーション	４	少子化の課題・地域とレクリエーション	５	レクリエーション事業について	６	ホスピタリティーとは	７	アイスブレイキングの基本技術	８	復習(意義、役割) 事業計画、コミュニケーション	９	レクリエーションの基礎	１０	レクリエーション支援論	１１	レクリエーション事業論	１２	復習(基礎・支援論・事業論)①	１３	復習(基礎・支援論・事業論)②	１４	復習(基礎・支援論・事業論)③	１５	復習(基礎・支援論・事業論)④	１６	復習(基礎・支援論・事業論)⑤	１７	復習(基礎・支援論・事業論)⑥	１８	復習(基礎・支援論・事業論)⑦	１９	復習(基礎・支援論・事業論)⑧	２０	復習(基礎・支援論・事業論)⑨
１	レクリエーションの意義																																								
２	レクリエーション運動を支える制度 インストラクターの役割																																								
３	ライフスタイルとレクリエーション																																								
４	少子化の課題・地域とレクリエーション																																								
５	レクリエーション事業について																																								
６	ホスピタリティーとは																																								
７	アイスブレイキングの基本技術																																								
８	復習(意義、役割) 事業計画、コミュニケーション																																								
９	レクリエーションの基礎																																								
１０	レクリエーション支援論																																								
１１	レクリエーション事業論																																								
１２	復習(基礎・支援論・事業論)①																																								
１３	復習(基礎・支援論・事業論)②																																								
１４	復習(基礎・支援論・事業論)③																																								
１５	復習(基礎・支援論・事業論)④																																								
１６	復習(基礎・支援論・事業論)⑤																																								
１７	復習(基礎・支援論・事業論)⑥																																								
１８	復習(基礎・支援論・事業論)⑦																																								
１９	復習(基礎・支援論・事業論)⑧																																								
２０	復習(基礎・支援論・事業論)⑨																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	レクリエーション指導法																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科 2 年制学科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	1 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	実習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業回数	2 0 回																																								
授業概要	レクリエーションについて理解を深め、計画・実施・評価の方法、安全管理について学習し、演習を通して、そのあり方や、主体的に活動を起こす具体的な展開方法などを身につける。また、レクリエーション財（音楽、遊び、環境、様々な道具等）への理解を深め、レクリエーションの指導方法を習得する。																																								
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る。																																								
達成目標	レクリエーション計画案の立案及び実践により、レクリエーション技術を習得する。																																								
教科書	レクリエーション支援の基礎 （中央出版法規） おもちゃインストラクター入門（日本グッド・トイ委員会）																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>アイスブレーキング体験</td></tr> <tr><td>2</td><td>レクリエーション体験（子どもの遊び）</td></tr> <tr><td>3</td><td>レクリエーション実技①(グループ)</td></tr> <tr><td>4</td><td>レクリエーション実技②(グループ)</td></tr> <tr><td>5</td><td>計画案の作成</td></tr> <tr><td>6</td><td>計画案に基づいた練習と修正①</td></tr> <tr><td>7</td><td>計画案に基づいた練習と修正②</td></tr> <tr><td>8</td><td>グループワーク</td></tr> <tr><td>9</td><td>実技トレーニング及びチェック①</td></tr> <tr><td>10</td><td>実技トレーニング及びチェック②</td></tr> <tr><td>11</td><td>レクリエーション実践①</td></tr> <tr><td>12</td><td>レクリエーション実践②</td></tr> <tr><td>13</td><td>レクリエーション体験(ウォークラリー)①</td></tr> <tr><td>14</td><td>レクリエーション体験(ウォークラリー)②</td></tr> <tr><td>15</td><td>ウォークラリー コース作成 視察</td></tr> <tr><td>16</td><td>ウォークラリー ポイント決定</td></tr> <tr><td>17</td><td>ウォークラリー コース決定</td></tr> <tr><td>18</td><td>ウォークラリー 計画案完成</td></tr> <tr><td>19</td><td>ウォークラリー 計画案修正</td></tr> <tr><td>20</td><td>ウォークラリー 計画案に基づく体験</td></tr> </table>	1	アイスブレーキング体験	2	レクリエーション体験（子どもの遊び）	3	レクリエーション実技①(グループ)	4	レクリエーション実技②(グループ)	5	計画案の作成	6	計画案に基づいた練習と修正①	7	計画案に基づいた練習と修正②	8	グループワーク	9	実技トレーニング及びチェック①	10	実技トレーニング及びチェック②	11	レクリエーション実践①	12	レクリエーション実践②	13	レクリエーション体験(ウォークラリー)①	14	レクリエーション体験(ウォークラリー)②	15	ウォークラリー コース作成 視察	16	ウォークラリー ポイント決定	17	ウォークラリー コース決定	18	ウォークラリー 計画案完成	19	ウォークラリー 計画案修正	20	ウォークラリー 計画案に基づく体験
1	アイスブレーキング体験																																								
2	レクリエーション体験（子どもの遊び）																																								
3	レクリエーション実技①(グループ)																																								
4	レクリエーション実技②(グループ)																																								
5	計画案の作成																																								
6	計画案に基づいた練習と修正①																																								
7	計画案に基づいた練習と修正②																																								
8	グループワーク																																								
9	実技トレーニング及びチェック①																																								
10	実技トレーニング及びチェック②																																								
11	レクリエーション実践①																																								
12	レクリエーション実践②																																								
13	レクリエーション体験(ウォークラリー)①																																								
14	レクリエーション体験(ウォークラリー)②																																								
15	ウォークラリー コース作成 視察																																								
16	ウォークラリー ポイント決定																																								
17	ウォークラリー コース決定																																								
18	ウォークラリー 計画案完成																																								
19	ウォークラリー 計画案修正																																								
20	ウォークラリー 計画案に基づく体験																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	帳簿組織論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 6 0 時間	
授業回数	8 0 回	
授業概要	簿記2級試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	簿記2級試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
	1	有形固定資産①
	2	有形固定資産②
	3	建設仮勘定①
	4	建設仮勘定②
	5	有形固定資産の割賦購入①
	6	有形固定資産の割賦購入②
	7	法人税上の減価償却①
	8	法人税上の減価償却②
	9	圧縮記帳①
	10	圧縮記帳②
	11	圧縮記帳③
	12	有形固定資産の除却・滅失①
	13	有形固定資産の除却・滅失②
	14	有形固定資産の除却・滅失③
	15	リース取引①
	16	リース取引②
	17	リース取引③
	18	ソフトウェア①
	19	ソフトウェア②
	20	ソフトウェア③
	21	投資その他の資産①
	22	投資その他の資産②
	23	投資その他の資産③
	24	長期前払費用①
	25	長期前払費用②
	26	債務保証①
	27	債務保証②
	28	貸倒引当金①
	29	貸倒引当金②
	30	貸倒引当金③
	31	商品（製品）保証引当金①
	32	商品（製品）保証引当金②
	33	商品（製品）保証引当金③

授業計画	34	退職給付引当金①
	35	退職給付引当金②
	36	退職給付引当金③
	37	役務収益・役務費用①
	38	役務収益・役務費用②
	39	役務収益・役務費用③
	40	将来の期間に影響する特定の費用①
	41	将来の期間に影響する特定の費用②
	42	将来の期間に影響する特定の費用③
	43	外貨建取引①
	44	外貨建取引②
	45	外貨建取引③
	46	為替予約①
	47	為替予約②
	48	為替予約③
	49	株式会社の純資産①
	50	株式会社の純資産②
	51	株式会社の純資産③
	52	剰余金の配当等①
	53	剰余金の配当等②
	54	剰余金の配当等③
	55	株主資本の係数の変動①
	56	株主資本の係数の変動②
	57	株主資本の係数の変動③
	58	企業結合①
	59	企業結合②
	60	企業結合③
	61	消費税・法人税等①
	62	消費税・法人税等②
	63	消費税・法人税等③
	64	税効果会計①
	65	税効果会計②
	66	税効果会計③
	67	英米式決算法①
	68	英米式決算法②
	69	英米式決算法③
	70	本支店会計①
	71	本支店会計②
	72	本支店会計③
	73	連結会計①
	74	連結会計②
	75	連結会計③
	76	支配獲得日・支配獲得日以降の連結手続き①
	77	支配獲得日・支配獲得日以降の連結手続き②
	78	支配獲得日・支配獲得日以降の連結手続き③
	79	模擬試験
	80	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験70% 出席点30% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	個別原価計算論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 6 0 時間	
授業回数	8 0 回	
授業概要	簿記 2 級試験に合格するための工業簿記・原価計算の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	簿記 2 級試験に合格するための工業簿記・原価計算の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
	1	工業簿記の基礎・工業簿記の記帳体系①
	2	工業簿記の基礎・工業簿記の記帳体系②
	3	工業簿記の基礎・工業簿記の記帳体系③
	4	工業簿記の基礎・工業簿記の記帳体系④
	5	工業簿記の基礎・工業簿記の記帳体系⑤
	6	材料費会計①
	7	材料費会計②
	8	材料費会計③
	9	材料費会計④
	10	材料費会計⑤
	11	労務費会計・経費会計①
	12	労務費会計・経費会計②
	13	労務費会計・経費会計③
	14	労務費会計・経費会計④
	15	労務費会計・経費会計⑤
	16	製造間接費会計①
	17	製造間接費会計②
	18	製造間接費会計③
	19	製造間接費会計④
	20	製造間接費会計⑤
	21	部門別計算①
	22	部門別計算②
	23	部門別計算③
	24	部門別計算④
	25	部門別計算⑤
	26	工場会計・単純個別原価計算①
	27	工場会計・単純個別原価計算②
	28	工場会計・単純個別原価計算③
	29	工場会計・単純個別原価計算④
	30	工場会計・単純個別原価計算⑤
	31	工企業の財務諸表①
	32	工企業の財務諸表②
	33	工企業の財務諸表③
	34	工企業の財務諸表④

授業計画	35	工企業の財務諸表⑤
	36	工企業の財務諸表⑥
	37	工企業の財務諸表⑦
	38	単純総合原価計算・減損および仕損①
	39	単純総合原価計算・減損および仕損②
	40	単純総合原価計算・減損および仕損③
	41	単純総合原価計算・減損および仕損④
	42	単純総合原価計算・減損および仕損⑤
	43	単純総合原価計算・減損および仕損⑥
	44	単純総合原価計算・減損および仕損⑦
	45	工程別総合原価計算①
	46	工程別総合原価計算②
	47	工程別総合原価計算③
	48	工程別総合原価計算④
	49	工程別総合原価計算⑤
	50	工程別総合原価計算⑥
	51	工程別総合原価計算⑦
	52	組別・等級別総合原価計算①
	53	組別・等級別総合原価計算②
	54	組別・等級別総合原価計算③
	55	組別・等級別総合原価計算④
	56	組別・等級別総合原価計算⑤
	57	組別・等級別総合原価計算⑥
	58	標準原価計算①
	59	標準原価計算②
	60	標準原価計算③
	61	標準原価計算④
	62	標準原価計算⑤
	63	標準原価計算⑥
	64	標準原価計算⑦
	65	原価・営業量・利益関係の分析①
	66	原価・営業量・利益関係の分析②
	67	原価・営業量・利益関係の分析③
	68	原価・営業量・利益関係の分析④
	69	原価・営業量・利益関係の分析⑤
	70	原価・営業量・利益関係の分析⑥
	71	原価・営業量・利益関係の分析⑦
	72	直接原価計算①
	73	直接原価計算②
	74	直接原価計算③
	75	直接原価計算④
	76	直接原価計算⑤
	77	直接原価計算⑥
	78	直接原価計算⑦
	79	模擬試験
	80	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	2 級総合Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	簿記 2 級試験に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記 2 級試験に合格するための模擬試験にて合格点を取ることができる	
教科書	公開模試 直前答練	
特記		
授業計画	1	日ビ直前答練①（商業簿記・会計学）
	2	日ビ直前答練①（商業簿記・会計学） 解説
	3	日ビ直前答練①（工業簿記・原価計算）
	4	日ビ直前答練①（工業簿記・原価計算） 解説
	5	日ビ直前答練②（商業簿記・会計学）
	6	日ビ直前答練②（商業簿記・会計学） 解説
	7	日ビ直前答練②（工業簿記・原価計算）
	8	日ビ直前答練②（工業簿記・原価計算） 解説
	9	日ビ直前答練③（商業簿記・会計学）
	10	日ビ直前答練③（商業簿記・会計学） 解説
	11	日ビ直前答練③（工業簿記・原価計算）
	12	日ビ直前答練③（工業簿記・原価計算） 解説
	13	日ビ直前答練④（商業簿記・会計学）
	14	日ビ直前答練④（商業簿記・会計学） 解説
	15	日ビ直前答練④（工業簿記・原価計算）
	16	日ビ直前答練④（工業簿記・原価計算） 解説
	17	公開模試
	18	公開模試 解説
	19	直前答練①
	20	直前答練① 解説
	21	直前答練②
	22	直前答練② 解説
	23	直前答練③
	24	直前答練③ 解説
	25	直前答練④
	26	直前答練④ 解説
	27	直前答練⑤
	28	直前答練⑤ 解説
	29	直前答練⑥
	30	直前答練⑥ 解説
	31	直前答練⑦
	32	直前答練⑦ 解説
	33	直前答練⑧
	34	直前答練⑧ 解説

	35	検証期①	抜粋問題
	36	検証期②	抜粋問題
	37	検証期③	抜粋問題
	38	検証期④	抜粋問題
	39	模擬試験	
	40	模擬試験	解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験70% 出席点30% 模擬試験における科目別得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	高等商業簿記論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	簿記 1 級試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	簿記 1 級試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	有価証券（売買目的・満期保有目的）
	2	有価証券（支配目的・影響力行使目的）
	3	有価証券（その他）
	4	デリバティブ取引
	5	ヘッジ会計等
	6	有形固定資産・割引現在価値①
	7	有形固定資産・割引現在価値②
	8	リース取引（オペレーティングリース取引・ファイナンスリース取引）①
	9	リース取引（オペレーティングリース取引・ファイナンスリース取引）②
	10	リース取引（貸手側の処理・セールアンドリースバック取引）①
	11	リース取引（貸手側の処理・セールアンドリースバック取引）②
	12	固定資産の減損①
	13	固定資産の減損②
	14	研究開発費とソフトウェア
	15	繰延資産
	16	社債①
	17	社債②
	18	引当金①
	19	引当金②
	20	退職給付①
	21	退職給付②
	22	資産除去債務①
	23	資産除去債務②
	24	純資産①
	25	純資産②
	26	純資産③
	27	税効果会計①
	28	税効果会計②
	29	外貨建取引（総論・外貨建取引の会計処理）
	30	外貨建取引（外貨建有価証券・為替予約）
	31	商品売買等①
	32	商品売買等②
	33	商品売買等③
	34	工事契約①

	35	工事契約②
	36	本支店会計①
	37	本支店会計②
	38	本支店会計③
	39	模擬試験
	40	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	出席点40% 模擬試験60% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	会計学	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	簿記 1 級試験に合格するための商業簿記・会計学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	簿記 1 級試験に合格するための商業簿記の基礎知識・会計学を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	連結財務諸表総論
	2	連結財務諸表の種類
	3	支配獲得日における連結貸借対照表
	4	支配獲得日以降における連結財務諸表
	5	段階取得
	6	子会社株式の追加取得
	7	子会社株式の一部売却
	8	成果連結
	9	未実現利益の消去（棚卸資産）
	10	債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整
	11	未達取引
	12	未実現利益の消去（非償却性資産）
	13	未実現利益の消去（償却性資産）
	14	持分法
	15	未実現利益の消去
	16	連結税効果
	17	連結財務諸表固有の一時差異
	18	包括利益計算書
	19	在外子会社の財務諸表項目の換算
	20	企業結合
	21	合併
	22	株式交換
	23	株式移転
	24	事業分離
	25	分離元企業の会計処理
	26	本支店会計
	27	本支店間取引
	28	本支店間における決算手続

	29 内部利益の調整 30 外部公表用財務諸表（本支店合併財務諸表） 31 在外支店の財務諸表項目の換算 32 キャッシュ・フロー計算書 33 営業活動によるキャッシュ・フロー 34 投資・財務活動によるキャッシュ・フロー 35 連結キャッシュ・フロー計算書 36 連結キャッシュ・フロー計算書（直接法）の原則法 37 連結キャッシュ・フロー計算書（間接法）の簡便法 38 会計上の変更及び誤謬の訂正 39 模擬試験 40 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	高等工業会計論
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業回数	40回
授業概要	簿記1級試験に合格するための工業簿記の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	簿記1級試験に合格するための工業簿記の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 工業簿記と原価計算 - 原価計算の目的 - 材料費会計 - 労務費会計 - 経費会計 - 製造間接費会計 - 部門別計算 - 実際配賦 - 正常配賦 - 補助部門費の配賦基準と配賦基準 - 個別原価計算総論 - 単純個別原価計算 - 部門別個別原価計算 - 個別原価計算における仕損の処理 - 総合原価計算総論 - 単純総合原価計算 - 工程別総合原価計算 - 追加原材料 - 組別総合原価計算 - 等級別総合原価計算 - 連産品 - 標準原価計算総論 - 製品原価の計算① - 製品原価の計算② - 原価差異の計算と原因分析① - 原価差異の計算と原因分析② - 原価差異の把握方法と勘定記入方法① - 原価差異の把握方法と勘定記入方法② - 原価差異の会計処理① - 原価差異の会計処理② - 仕損・減損が生じる場合① - 仕損・減損が生じる場合② - 工程別標準原価計算① - 工程別標準原価計算② - 直接原価計算① - 直接原価計算② - 模擬講義 - 模擬講義 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	高等原価計算論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	簿記 1 級試験に合格するための原価計算の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	簿記 1 級試験に合格するための原価計算の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	CVP分析①
	2	CVP分析②
	3	CVP分析③
	4	CVP分析④
	5	原価分解①
	6	原価分解②
	7	原価分解③
	8	原価分解④
	9	予算統制①
	10	予算統制②
	11	予算統制③
	12	予算統制④
	13	業務的意思決定（特別注文の引受可否・部品の自製か購入か）①
	14	業務的意思決定（特別注文の引受可否・部品の自製か購入か）②
	15	業務的意思決定（特別注文の引受可否・部品の自製か購入か）③
	16	業務的意思決定（特別注文の引受可否・部品の自製か購入か）④
	17	業務的意思決定（セールスマックス・経済的発注量）①
	18	業務的意思決定（セールスマックス・経済的発注量）②
	11	業務的意思決定（セールスマックス・経済的発注量）③
	12	業務的意思決定（セールスマックス・経済的発注量）④
	13	構造的意決定（割引現在価値・投資案の評価方法）①
	14	構造的意決定（割引現在価値・投資案の評価方法）②
	15	構造的意決定（割引現在価値・投資案の評価方法）③
	16	構造的意決定（割引現在価値・投資案の評価方法）④
	17	構造的意決定（取替投資）①
	18	構造的意決定（取替投資）②
	11	構造的意決定（取替投資）③
	12	構造的意決定（取替投資）④
	13	事業部制①
	14	事業部制②
	15	事業部制③
	16	事業部制④
	17	ライフサイクル・コスト①
	18	ライフサイクル・コスト②

	19	模擬試験
	20	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	出席点40% 模擬試験60% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	1 級総合Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	簿記 1 級試験に合格するために必要な模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記 1 級試験に合格するために必要な模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	公開模試 直前答練 基礎模擬試験 確認テスト 基礎答練 応用答練	
特記		
授業計画	1	商業簿記・会計学 基礎模擬試験①
	2	商業簿記・会計学 基礎模擬試験 解説①
	3	商業簿記・会計学 基礎模擬試験②
	4	商業簿記・会計学 基礎模擬試験 解説②
	5	商業簿記・会計学 基礎模擬試験③
	6	商業簿記・会計学 基礎模擬試験 解説③
	7	商業簿記・会計学 確認テスト①
	8	商業簿記・会計学 確認テスト 解説①
	9	商業簿記・会計学 確認テスト②
	10	商業簿記・会計学 確認テスト 解説②
	11	商業簿記・会計学 確認テスト③
	12	商業簿記・会計学 確認テスト 解説③
	13	工業簿記・原価計算 基礎答練①
	14	工業簿記・原価計算 基礎答練 解説①
	15	工業簿記・原価計算 基礎答練②
	16	工業簿記・原価計算 基礎答練 解説②
	17	工業簿記・原価計算 基礎答練③
	18	工業簿記・原価計算 基礎答練 解説③
	19	工業簿記・原価計算 応用答練①
	20	工業簿記・原価計算 応用答練 解説①
	21	工業簿記・原価計算 応用答練②
	22	工業簿記・原価計算 応用答練 解説②
	23	工業簿記・原価計算 応用答練③
	24	工業簿記・原価計算 応用答練 解説③
	25	公開模試
	26	公開模試 解説
	27	直前答練①
	28	直前答練 解説①
	29	直前答練②
	30	直前答練 解説②
	31	直前答練③
	32	直前答練 解説③
	33	直前答練④

	34 直前答練 解説④ 35 検証期（商業簿記・会計学） 抜粋問題① 36 検証期（商業簿記・会計学） 抜粋問題② 37 検証期（工業簿記・原価計算） 抜粋問題① 38 検証期（工業簿記・原価計算） 抜粋問題② 39 模擬試験 40 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	経営常識	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	経営分析を利用した経営分析方法と併せて、店舗組織の構成や従業員管理について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	小売業における基本的な経営分析手法と店舗管理方法を習得することを目的とする	
教科書	テキスト及び参考書・問題集	
特記		
授業計画	1	項目別問題演習①(小売業の種類)
	2	項目別問題演習②(小売業の種類)
	3	項目別問題演習③(マーチャンダイジング)
	4	項目別問題演習④(マーチャンダイジング)
	5	項目別問題演習⑤(ストアオペレーション)
	6	項目別問題演習⑥(ストアオペレーション)
	7	項目別問題演習⑦(マーケティング)
	8	項目別問題演習⑧(マーケティング)
	9	項目別問題演習⑨(販売・経営管理)
	10	項目別問題演習⑩(販売・経営管理)
	11	総合問題演習①(基礎編)
	12	総合問題演習②(基礎編)
	13	総合問題演習③(基礎編)
	14	総合問題演習④(基礎編)
	15	総合問題演習⑤(基礎編)
	16	総合問題演習⑥(応用編)
	17	総合問題演習⑦(応用編)
	18	総合問題演習⑧(応用編)
	19	総合問題演習⑨(応用編)
	20	総合問題演習⑩(応用編)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	販売技術	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	経営分析、組織構成や従業員管理、接客の心構え、購買心理に応じた接客、レジ業務や包装技術などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	小売業における経営分析手法と店舗管理方法、接客技術の習得を目的とする	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	商品の基本①
	2	商品の基本②
	3	マーチャンダイジングの基本①
	4	マーチャンダイジングの基本②
	5	商品計画の基本①
	6	商品計画の基本②
	7	販売計画および仕入計画などの基本①
	8	販売計画および仕入計画などの基本②
	9	価格設定の基本①
	10	価格設定の基本②
	11	在庫管理の基本①
	12	在庫管理の基本②
	13	販売管理の基本①
	14	販売管理の基本②
	15	ストアオペレーションの基本①
	16	ストアオペレーションの基本②
	17	包装技術の基本①
	18	包装技術の基本②
	19	ディスプレイの基本①
	20	ディスプレイの基本②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	販売事務管理	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	在庫管理や売上管理、衛生管理などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	小売業に必要な法令知識や管理方法の習得を目的とする	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	小売業のマーケティングの基本①
	2	小売業のマーケティングの基本②
	3	小売業のマーケティングの基本③
	4	顧客満足経営の基本①
	5	顧客満足経営の基本②
	6	商圏の設定と出店の基本①
	7	商圏の設定と出店の基本②
	8	リージョナルプロモーションの基本①
	9	リージョナルプロモーションの基本②
	10	顧客志向型売場づくりの基本①
	11	顧客志向型売場づくりの基本②
	12	販売員の役割の基本①
	13	販売員の役割の基本②
	14	販売員の役割の基本③
	15	販売員の法令知識①
	16	販売員の法令知識②
	17	小売業の計数管理①
	18	小売業の計数管理②
	19	店舗管理の基本①
	20	店舗管理の基本②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	営業・販売職員として必要な販売管理の知識を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	効果測定における得点、平均 8 0 点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	販売管理概論
	2	納品書の作成
	3	売上事務の流れ
	4	売上の計上
	5	振替伝票の作成
	6	請求書の作成①
	7	請求書の作成②
	8	締め日
	9	締め日と合計請求書
	10	請求に関する様々な条件
	11	代金の回収と領収書の発行①
	12	代金の回収と領収書の発行②
	13	代金の回収管理
	14	管理資料の作成
	15	複数の取引先との取引①
	16	複数の取引先との取引②
	17	得意先と販売管理①
	18	得意先と販売管理②
	19	模擬試験
	20	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	仕入技術管理論 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	サービスの現場で求められる接遇スキルの習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	サービス接遇について初歩的な理解を持ち、必要な知識、技能を習得。	
教科書	実務技能検定協会 公式テキスト 3 級	
特記		
授業計画	1	サービススタッフの資質 必要とされる要件
	2	サービススタッフの資質 従業要件
	3	サービススタッフの資質 確認テスト
	4	専門知識 サービス知識
	5	専門知識 従業知識
	6	専門知識 確認テスト
	7	一般知識 社会常識①
	8	一般知識 社会常識②
	9	一般知識 確認テスト
	10	理論 問題演習①
	11	理論 問題演習②
	12	理論 問題演習③
	13	理論 問題演習④
	14	理論 問題演習⑤
	15	試験前確認テスト①
	16	試験前確認テスト②
	17	試験前確認テスト③
	18	試験前確認テスト④
	19	定期試験
	20	定期試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	販売士 3 級総合	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	リテール・マーケティングに合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	リテール・マーケティングに合格するための模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	日本商工会議所 販売士養成講習会 3 級テキスト 項目別答練 直前答練 過去問題	
特記		
授業計画	1	商品の基本
	2	マーチャンダイジングの基本的な考え方
	3	コンビニエンスストア・チェーンにみるマーチャンダイジングの主な機能
	4	商品計画の基本知識①
	5	商品計画の基本知識②
	6	販売計画策定、仕入計画策定、仕入れ業務の基本知識①
	7	販売計画策定、仕入計画策定、仕入れ業務の基本知識②
	8	棚割とディスプレイ、物流の基本知識①
	9	棚割とディスプレイ、物流の基本知識②
	10	価格の設定要因と価格政策①
	11	価格の設定要因と価格政策②
	12	価格の設定要因と価格政策③
	13	売価設定の基本①
	14	売価設定の基本②
	15	売価設定の基本③
	16	利益の構造①
	17	利益の構造②
	18	利益の構造③
	19	在庫管理の基本知識①
	20	在庫管理の基本知識②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	仕入技術管理論Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	サービスの現場で求められるスキルの習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	サービス接客について初歩的な理解を持ち、必要な知識、技能を習得。	
教科書	実務技能検定協会 実問題集	
特記		
授業計画	1	対人技能 接客知識①
	2	対人技能 接客知識②
	3	対人技能 接客知識③
	4	対人技能 接客知識④
	5	対人技能 話し方①
	6	対人技能 話し方②
	7	対人技能 話し方③
	8	対人技能 服装
	9	対人技能 確認テスト
	10	実技技能 問題処理
	11	実務技能 環境整備
	12	実務技能 金品管理
	13	実務技能 社交業務①
	14	実務技能 社交業務②
	15	実務技能 確認テスト
	16	実技 問題演習①
	17	実技 問題演習②
	18	実技 問題演習③
	19	実技 問題演習④
	20	実技 問題演習⑤
	21	3 級過去問演習①
	22	3 級過去問演習 解説①
	23	3 級過去問演習②
	24	3 級過去問演習 解説②
	25	3 級過去問演習③
	26	3 級過去問演習 解説③
	27	3 級過去問演習④
	28	3 級過去問演習 解説④
	29	3 級過去問演習⑤
	30	3 級過去問演習 解説⑤
	31	3 級過去問演習⑥
	32	3 級過去問演習 解説⑥
	33	3 級過去問演習⑦
	34	3 級過去問演習 解説⑦

成績評価方法 (試験実施方法)	35	3級過去問演習⑧
	36	3級過去問演習 解説⑧
	37	3級過去問演習⑨
	38	3級過去問演習 解説⑨
	39	3級過去問演習⑩
	40	3級過去問演習 解説⑩
授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価		
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	販売士 2 級総合	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	リテール・マーケティングに合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	リテール・マーケティングに合格するための模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	日本商工会議所 販売士養成講習会 2 級テキスト 項目別答練 直前答練 過去問題	
特記		
授業計画	1	データ管理による在庫管理①
	2	データ管理による在庫管理②
	3	データ管理による在庫管理③
	4	商品ロスの基本的原因①
	5	商品ロスの基本的原因②
	6	商品ロスの基本的原因③
	7	販売管理の基本知識①
	8	販売管理の基本知識②
	9	販売管理の基本知識③
	10	POS システムによる販売データの活用①
	11	POS システムによる販売データの活用②
	12	POS システムによる販売データの活用③
	13	項目別答練①
	14	項目別答練②
	15	項目別答練③
	16	項目別答練④
	17	直前答練①
	18	直前答練②
	19	過去問題①
	20	過去問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	販売サービス実習・ファッション雑貨店舗実習	
実務家教員授業	○ 学外によるインターン実習	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	販売店にて販売員として必要な基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	販売店で行う販売員の職業内容を理解する	
教科書		
特記	各企業に依頼して実施。各企業と事前確認を行い明確な課題を設け、実際に販売店などで勤務している従業員から、お客様対応やビジネスマナー、接客業務のポイント、注意点等を学ぶ	
授業計画	1	現場実習(商品知識研修)①
	2	現場実習(商品知識研修)②
	3	現場実習(接客講座)①
	4	現場実習(接客講座)②
	5	現場実習(マナー講座)①
	6	現場実習(マナー講座)②
	7	現場実習(挨拶・お辞儀・言葉の使い方講座)①
	8	現場実習(挨拶・お辞儀・言葉の使い方講座)②
	9	現場実習(売り場づくり)①
	10	現場実習(売り場づくり)②
	11	現場実習(店舗見学)①
	12	現場実習(店舗見学)②
	13	現場実習(商品陳列)①
	14	現場実習(商品陳列)②
	15	現場実習(ロールプレイング)①
	16	現場実習(ロールプレイング)②
	17	現場実習(ロールプレイング)③
	18	現場実習(ロールプレイング)④
	19	現場実習(グループワーク)
	20	現場実習(発表会)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	ビジネス実務法務	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	コンプライアンス・法令遵守能力に関する 知識習得を目的とする。業種・業態を問わず、全てのビジネスパーソンにとって必要なスキルを学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	面接試験における所作や正しい言葉遣い、自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネス実務法務の法体系①
	2	ビジネス実務法務の法体系②
	3	企業取引の法務①
	4	企業取引の法務②
	5	企業取引の法務③
	6	債権の管理と回収①
	7	債権の管理と回収②
	8	債権の管理と回収③
	9	企業財産の管理と法律①
	10	企業財産の管理と法律②
	11	企業活動に関する法規制①
	12	企業活動に関する法規制②
	13	企業と会社のしくみ①
	14	企業と会社のしくみ②
	15	企業と従業員の関係①
	16	企業と従業員の関係②
	17	ビジネスに関連する家族法①
	18	ビジネスに関連する家族法②
	19	模擬試験
	20	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	ビジネス行動論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	基本的なビジネスマナーを身に付けること を目的とする。 企業人として最低限、身に付けていなければならぬ立ち振舞いなどを学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	面接試験における所作や正しい言葉遣い、自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接試験のねらい・面接試験の心構え
	2	服装身だしなみ・印象について
	3	面接試験の形態
	4	面接試験における質問研究① 自己 P R, 志望動機
	5	面接試験における質問研究② 希望する職種、学生生活
	6	就職試験に実際に出た質問対策① アルバイト・部活
	7	就職試験に実際に出た質問対策② 時事・将来のビジョン
	8	個人面接のポイント
	9	個人面接練習①
	10	個人面接練習②
	11	個人面接練習③
	12	個人面接練習④
	13	個人面接練習⑤
	14	集団面接のポイント
	15	集団面接練習①
	16	集団面接練習②
	17	集団面接練習③
	18	集団面接練習④
	19	集団面接練習⑤
	20	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成①
	2	文章の作成②
	3	文章内の移動①
	4	文章内の移動②
	5	文章の書式設定①
	6	文章の書式設定②
	7	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	8	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	9	文章の印刷、保存①
	10	文章の印刷、保存②
	11	文字列・段落の挿入①
	12	文字列・段落の挿入②
	13	文字列・段落の書式設定①
	14	文字列・段落の書式設定②
	15	文字列・段落の書式設定③
	16	文字列・段落の書式設定④
	17	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	18	文字列・段落の並び替え、グループ化②
	19	文字列・段落の並び替え、グループ化③
	20	文字列・段落の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	オフィス基礎	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	Wordの基本的な機能や操作方法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	基本的かつ総合的なWordのスキルの養成を目的とする	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成①
	2	文書の作成②
	3	文書内の移動①
	4	文書内の移動②
	5	文書の書式設定①
	6	文書の書式設定②
	7	文書の書式設定③
	8	文書の書式設定④
	9	文書のオプションと表示をカスタマイズ①
	10	文書のオプションと表示をカスタマイズ②
	11	文書のオプションと表示をカスタマイズ③
	12	文書のオプションと表示をカスタマイズ④
	13	文書の印刷、保存①
	14	文書の印刷、保存②
	15	文字列や段落の挿入①
	16	文字列や段落の挿入②
	17	文字列や段落の書式設定①
	18	文字列や段落の書式設定②
	19	文字列や段落の書式設定③
	20	文字列や段落の書式設定④
	21	文字列や段落の並べ替え、グループ化①
	22	文字列や段落の並べ替え、グループ化②
	23	表を作成する①
	24	表を作成する②
	25	表を変更する①
	26	表を変更する②
	27	リストの作成、変更①
	28	リストの作成、変更②
	29	参照のための情報や記号の作成、管理①
	30	参照のための情報や記号の作成、管理②
	31	標準の参考資料の作成、管理①
	32	標準の参考資料の作成、管理②
	33	グラフィック要素の挿入①
	34	グラフィック要素の挿入②

	35	グラフィック要素の書式設定①
	36	グラフィック要素の書式設定②
	37	SmartArtの挿入、書式設定①
	38	SmartArtの挿入、書式設定②
	39	SmartArtの挿入、書式設定③
	40	SmartArtの挿入、書式設定④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	オフィス活用	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	スピード、正確性を向上させるトレーニングを行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	MOS (Word) 試験に向けた実技能力向上を目的とする	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	項目別問題演習①(文書の作成と管理)
	2	項目別問題演習②(文書の作成と管理)
	3	項目別問題演習③(文書の作成と管理)
	4	項目別問題演習④(文書の作成と管理)
	5	項目別問題演習⑤(文書、段落、セクションの書式設定)
	6	項目別問題演習⑥(文書、段落、セクションの書式設定)
	7	項目別問題演習⑦(文書、段落、セクションの書式設定)
	8	項目別問題演習⑧(文書、段落、セクションの書式設定)
	9	項目別問題演習⑨(表とリストの作成)
	10	項目別問題演習⑩(表とリストの作成)
	11	項目別問題演習⑪(表とリストの作成)
	12	項目別問題演習⑫(表とリストの作成)
	13	項目別問題演習⑬(参考資料の適用)
	14	項目別問題演習⑭(参考資料の適用)
	15	項目別問題演習⑮(参考資料の適用)
	16	項目別問題演習⑯(参考資料の適用)
	17	項目別問題演習⑰(オブジェクトの挿入と書式設定)
	18	項目別問題演習⑱(オブジェクトの挿入と書式設定)
	19	項目別問題演習⑲(オブジェクトの挿入と書式設定)
	20	項目別問題演習⑳(オブジェクトの挿入と書式設定)
	21	模擬試験問題演習①(新規文書の作成)
	22	模擬試験問題演習②(新規文書の作成)
	23	模擬試験問題演習③(文書の編集)
	24	模擬試験問題演習④(文書の編集)
	25	模擬試験問題演習⑤(保存と印刷)
	26	模擬試験問題演習⑥(保存と印刷)
	27	模擬試験問題演習⑦(表の作成と編集)
	28	模擬試験問題演習⑧(表の作成と編集)
	29	模擬試験問題演習⑨(画像の挿入)
	30	模擬試験問題演習⑩(画像の挿入)
	31	模擬試験問題演習⑪(長文作成機能)
	32	模擬試験問題演習⑫(長文作成機能)
	33	模擬試験問題演習⑬(オブジェクトの挿入)
	34	模擬試験問題演習⑭(オブジェクトの挿入)

	35	模擬試験問題演習⑮(参考資料の作成)
	36	模擬試験問題演習⑯(参考資料の作成)
	37	模擬試験問題演習⑰(文書のプロパティ)
	38	模擬試験問題演習⑱(文書のプロパティ)
	39	模擬試験問題演習⑲(アクセシビリティ)
	40	模擬試験問題演習⑳(アクセシビリティ)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ実習
実務家教員	○ 企業・団体
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	160時間
授業回数	80回
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識について理解し実践する
授業の進め方	動作と指導練習により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	トレーニング実践及び、グループエクササイズを実践的に行う
教科書	オリジナルテキスト
特記	フィットネス協会認定のインストラクターによるエクササイズ実習、スポーツジムにおいてトレーナーによるトレーニング実習等を経験し、各種スポーツ実習の基礎・実践を学ぶ
	1 グループエクササイズ基礎① 2 グループエクササイズ基礎② 3 ストレッチングエクササイズ基礎① 4 ストレッチングエクササイズ基礎② 5 エアロビックダンス基礎① 6 エアロビックダンス基礎② 7 アイソメトリックトレーニング基礎① 8 アイソメトリックトレーニング基礎② 9 レジスタンスエクササイズ基礎① 10 レジスタンスエクササイズ基礎② 11 フリーウエイトトレーニング基礎① 12 フリーウエイトトレーニング基礎② 13 パワー向上トレーニング基礎① 14 パワー向上トレーニング基礎② 15 スタジオエクササイズ基礎① 16 スタジオエクササイズ基礎② 17 グループエクササイズ実践① 18 グループエクササイズ実践② 19 グループエクササイズ実践③ 20 ストレッチングエクササイズ実践① 21 ストレッチングエクササイズ実践② 22 ストレッチングエクササイズ実践③ 23 ストレッチングエクササイズ実践④ 24 エアロビックダンス実践① 25 エアロビックダンス実践② 26 エアロビックダンス実践③ 27 エアロビックダンス実践④ 28 エアロビックダンス実践⑤ 29 アイソメトリックトレーニング実践① 30 アイソメトリックトレーニング実践② 31 アイソメトリックトレーニング実践③ 32 アイソメトリックトレーニング実践④ 33 レジスタンスエクササイズ実践① 34 レジスタンスエクササイズ実践② 35 レジスタンスエクササイズ実践③ 36 レジスタンスエクササイズ実践④ 37 フリーウエイトトレーニング実践① 38 フリーウエイトトレーニング実践②

授業計画	39	フリーウエイトトレーニング実践③
	40	フリーウエイトトレーニング実践④
	41	パワー向上トレーニング実践①
	42	パワー向上トレーニング実践②
	43	パワー向上トレーニング実践③
	44	パワー向上トレーニング実践④
	45	スタジオエクササイズ実践①
	46	スタジオエクササイズ実践②
	47	スタジオエクササイズ実践③
	48	スタジオエクササイズ実践④
	49	グループエクササイズ実践④
	50	グループエクササイズ実践⑤
	51	グループエクササイズ実践⑥
	52	エアロビックダンス実践⑥
	53	エアロビックダンス実践⑦
	54	エアロビックダンス実践⑧
	55	エアロビックダンス実践⑨
	56	エアロビックダンス実践⑩
	57	アイソメトリックトレーニング実践⑤
	58	アイソメトリックトレーニング実践⑥
	59	アイソメトリックトレーニング実践⑦
	60	アイソメトリックトレーニング実践⑧
	61	レジスタンスエクササイズ実践⑤
	62	レジスタンスエクササイズ実践⑥
	63	レジスタンスエクササイズ実践⑦
	64	レジスタンスエクササイズ実践⑧
	65	フリーウエイトトレーニング実践⑤
	66	フリーウエイトトレーニング実践⑥
	67	フリーウエイトトレーニング実践⑦
	68	フリーウエイトトレーニング実践⑧
	69	パワー向上トレーニング実践⑤
	70	パワー向上トレーニング実践⑥
	71	パワー向上トレーニング実践⑦
	72	パワー向上トレーニング実践⑧
	73	スタジオエクササイズ実践⑤
	74	スタジオエクササイズ実践⑥
	75	スタジオエクササイズ実践⑦
	76	スタジオエクササイズ実践⑧
	77	エクササイズプログラム作成①
	78	エクササイズプログラム作成②
	79	エクササイズプログラム発表①
	80	エクササイズプログラム発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	救急処理法	
実務家教員	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を理解し、対応、予防ができる	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	救急処置の知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	救急処置法①
	2	救急処置法②
	3	テーピング総論
	4	テーピング実習 足関節
	5	テーピング実習 膝関節
	6	テーピング実習 下腿
	7	マッサージ実習 下肢
	8	マッサージ実習 上肢①
	9	マッサージ実習 上肢②
	10	マッサージ実習 全身
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャンピングインストラクター概論
実務家教員	○ 学外による実習
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	20時間
授業回数	10回
授業概要	野外活動を通し、その技術を習得すると共に、地域社会への貢献についての理解を深める
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	キャンプ指導者に必要な知識と技術を理解・習得させる
教科書	キャンプ指導者入門
特記	日本キャンプ協会認定のキャンピングインストラクターによる、野外スクール指導などの経験を活かした事前講習及びキャンプ場にて直接実践的な指導をおこなう
授業計画	1 キャンプの特性①（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性②（キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの対象①（人間の心身の理解） 4 キャンプの対象②（自然環境の理解） 5 キャンプの指導①（キャンピングインストラクターの資質と役割） 6 キャンプの指導②（指導者のためのコミュニケーションスキル） 7 キャンプの安全についての危険予知とその対処 8 キャンプの基本装備（個人装備と団体装備） 9 キャンプに必要な生活技術①（テント設営） 10 キャンプに必要な生活技術②（アウトドアクッキング）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツビジネス研究
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業回数	20回
授業概要	スポーツビジネスに必要な基礎知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心にレポート提出
達成目標	スポーツビジネスにおける定義・基礎を学び、運営に関しての知識を高める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 スポーツビジネス定義・基礎 2 スポーツビジネスの歴史の変遷① 3 スポーツビジネスの歴史の変遷② 4 スポーツマーケティングの考え方① 5 スポーツマーケティングの考え方② 6 スポーツマーケティング戦略① 7 スポーツマーケティング戦略② 8 スポーツ・サービス産業のプロダクト① 9 スポーツ・サービス産業のプロダクト② 10 スポーツ・イベントのマネジメント① 企業マーケティング 11 スポーツ・イベントのマネジメント② 観戦者行動、観戦者マーケティング 12 スポーツ・イベントのマネジメント③ ブランディング 13 スポーツ・サービス産業の経営 ① スポーツ用品 14 スポーツ・サービス産業の経営 ② スポーツ施設 15 スポーツ・サービス産業の経営 ③ スポーツ情報・サービス 16 プロスポーツチーム運営について（日本国内） 17 プロスポーツチーム運営について（海外） 18 スポーツメディア戦略 19 オリンピックにおけるスポーツビジネス① 20 オリンピックにおけるスポーツビジネス②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	トレーニング理論																																								
実務家教員	-																																								
学部・学科	経理本科2年制学科																																								
履修年次	1年次																																								
開講学期	通年																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	実習及び講義																																								
授業時間	40時間																																								
授業回数	20回																																								
授業概要	急速な高齢化と共に健康づくりを目的とした運動はそのニーズが高まっている。安全かつ効果的に運動を行うために健康運動実践指導者の役割は重要と言える。前段で健康運動実践指導者の役割を学ぶ。 ウォームアップ・クールダウンについてはその必要性を理解していながらも実施方法に関する知識が広く普及しているとは言えない。本講義では、運動指導者として主運動の指導に留まらず、適切なウォームアップ・クールダウンの指導法を学ぶことを目的とする。																																								
授業の進め方	テキストによる講義と課題演習により、知識の定着を図る																																								
達成目標	ウォームアップ・クールダウンの目的と効果、重要性を説明できる。主運動に応じたウォームアップ・クールダウンの方法、時間、構成について理解し、健康づくりのための一連のウォームアップ・クールダウンを指導できるようになる。																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>ウォームアップの目的①</td></tr> <tr><td>3</td><td>ウォームアップの目的②</td></tr> <tr><td>4</td><td>ウォームアップの実際①</td></tr> <tr><td>5</td><td>ウォームアップの実際②</td></tr> <tr><td>6</td><td>ウォームアップの実際③</td></tr> <tr><td>7</td><td>ウォームアップ実施上の注意①</td></tr> <tr><td>8</td><td>ウォームアップ実施上の注意②</td></tr> <tr><td>9</td><td>クールダウンの目的①</td></tr> <tr><td>10</td><td>クールダウンの目的②</td></tr> <tr><td>11</td><td>クールダウンの効果①</td></tr> <tr><td>12</td><td>クールダウンの効果②</td></tr> <tr><td>13</td><td>クールダウンの効果③</td></tr> <tr><td>14</td><td>クールダウンの実際①</td></tr> <tr><td>15</td><td>クールダウンの実際②</td></tr> <tr><td>16</td><td>クールダウン実施上の注意①</td></tr> <tr><td>17</td><td>クールダウン実施上の注意②</td></tr> <tr><td>18</td><td>まとめ①</td></tr> <tr><td>19</td><td>まとめ②</td></tr> <tr><td>20</td><td>定例試験</td></tr> </table>	1	オリエンテーション	2	ウォームアップの目的①	3	ウォームアップの目的②	4	ウォームアップの実際①	5	ウォームアップの実際②	6	ウォームアップの実際③	7	ウォームアップ実施上の注意①	8	ウォームアップ実施上の注意②	9	クールダウンの目的①	10	クールダウンの目的②	11	クールダウンの効果①	12	クールダウンの効果②	13	クールダウンの効果③	14	クールダウンの実際①	15	クールダウンの実際②	16	クールダウン実施上の注意①	17	クールダウン実施上の注意②	18	まとめ①	19	まとめ②	20	定例試験
1	オリエンテーション																																								
2	ウォームアップの目的①																																								
3	ウォームアップの目的②																																								
4	ウォームアップの実際①																																								
5	ウォームアップの実際②																																								
6	ウォームアップの実際③																																								
7	ウォームアップ実施上の注意①																																								
8	ウォームアップ実施上の注意②																																								
9	クールダウンの目的①																																								
10	クールダウンの目的②																																								
11	クールダウンの効果①																																								
12	クールダウンの効果②																																								
13	クールダウンの効果③																																								
14	クールダウンの実際①																																								
15	クールダウンの実際②																																								
16	クールダウン実施上の注意①																																								
17	クールダウン実施上の注意②																																								
18	まとめ①																																								
19	まとめ②																																								
20	定例試験																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ生理学
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	生命を維持するために、運動を行うために、我々の身体は常に働いている。そして我々の身体は、さまざまなメカニズムによって緻密にコントロールされている。本講義ではこれらの体内メカニズムのうち、呼吸系、循環系、エネルギー代謝、骨格筋の構造と機能、筋活動の神経支配、および運動に対する内分泌系の応答について解説する。これらの体内の基礎的なメカニズムを正確に理解することは、運動時における身体の適応変化を理解する上で非常に重要である。また、基礎的な生理学の情報は、アスリートに対して有意義なトレーニングプログラムを作成するために不可欠である。本講義では特に、運動に関する情報を中心に解説する。
授業の進め方	テキストによる講義と課題演習により、知識の定着を図る
達成目標	体内の基礎的なメカニズムを正確に理解することや、運動時における身体の適応変化を理解する
教科書	JATI トレーニング指導者テキスト【理論編】
特記	
授業計画	1 オリエンテーション 2 呼吸循環系の基礎的情報①（循環系） 3 呼吸循環系の基礎的情報②（呼吸系） 4 運動と呼吸循環系 5 トレーニングと呼吸循環系 6 エネルギー代謝の基礎的情報 7 運動とエネルギー代謝 8 トレーニングとエネルギー代謝 9 骨格筋の形態と機能①（骨格筋の形態～筋線維の微細構造） 10 骨格筋の形態と機能②（筋節と滑り説～筋の神経支配） 11 筋力発揮のメカニズム①（筋活動の調節と興奮～筋の活動様式） 12 筋力発揮のメカニズム②（力と短縮速度～自己受容器と反射） 13 筋・神経系に対するトレーニング効果 14 主な内分泌器官とホルモン 15 身体機能へのホルモンの作用 16 筋肥大におけるホルモンの役割 17 レジスタンストレーニングとホルモン分泌 18 呼吸循環系・エネルギー代謝と運動 19 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 20 課題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期・3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業回数	20回
授業概要	スポーツ現場で傷害が発生した際には、素早く応急処置を施さなければならない。的確な応急処置を行うことで、傷害の重症度を必要最小限に抑え、早期回復を図ることができる。スポーツ傷害は外傷と障害に分けることができ、スポーツ現場ではさまざまな傷害が発生する。そのため、スポーツ現場でみられる外傷および障害についての正確な知識と対処方法を身につけておくことが必要である。さらに近年問題となっている生活習慣病は、運動や身体活動量との関連性が高く、これらの予防についてもトレーニングの専門家として指導できることが望ましい。本講義ではこれらのスポーツ医学に関する知識と対処方法、指導方法について学び、習得することを目的とする。
授業の進め方	テキストによる講義と課題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ医学に関する知識と対処方法、指導方法について学び、習得する
教科書	JATIトレーニング指導者テキスト【理論編】
特記	
授業計画	1 オリエンテーション 2 外傷の応急処置（皮膚などに傷のないケガの処置） 3 創傷の応急処置（皮膚などに傷のあるケガの処置） 4 緊急時の一次救命処置（BLS） 5 頭頸部外傷時の救急処置 6 スポーツ傷害とは 7 足部・足関節の傷害 8 下腿部の傷害 9 膝関節の傷害 10 大腿部の傷害 11 腰部の傷害 12 肩関節の傷害 13 肘関節の傷害 14 手関節の傷害 15 生活習慣病予防と身体活動・運動 16 肥満 17 糖尿病 18 脂質異常症 19 高血圧症 20 定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツと栄養
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	ヒトは食品からエネルギーや栄養素を摂取し、生命維持や身体活動を行っている。特に運動やトレーニングにより、普段より多くのエネルギーや栄養素を消費する場合には、栄養摂取についてより厳密に考える必要がある。また現在社会問題でもある栄養摂取の過多や偏りについて、正確な知識と指導法を理解しておくことも重要である。トレーニング指導者はこれら栄養摂取に関して、関係者と協力して指導を行わなければならない。本講義では基礎的な栄養摂取に関する知識に加え、栄養アセスメントや栄養指導についても学習し、状況に応じたアドバイスやサポートを行える能力を習得することを目的とする。
授業の進め方	テキストによる講義と課題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基礎的な栄養摂取に関する知識に加え、栄養アセスメントや栄養指導について学び、状況に応じたアドバイスやサポートを行える能力を習得する
教科書	JATI トレーニング指導者テキスト【理論編】
特記	
授業計画	1 オリエンテーション 2 五大栄養素の役割① 3 五大栄養素の役割② 4 身体組成とエネルギー代謝① 5 身体組成とエネルギー代謝② 6 スポーツ栄養マネジメント 7 種目特性の分類と食事 8 トレーニングスケジュールと食事 9 グリコーゲン補給と回復のための食事 10 水分補給 11 栄養・食事計画の立案 12 目的別の食事管理 13 栄養サポートと栄養教育の実践 14 健康日本21(第二次)における具体的な目標 15 日本人の食事摂取基準 16 食事バランスガイド 17 食事バランスガイドを活用した食事指導・食育 18 運動と栄養に関する基礎理論 19 スポーツ選手の競技力向上と栄養 20 健康増進と栄養
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	スポーツ解剖学																																								
実務家教員授業	-																																								
学部・学科	経理本科2年制学科																																								
履修年次	1年次																																								
開講学期	2学期・3学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	40時間																																								
授業回数	20回																																								
授業概要	スポーツやトレーニングなどを含む身体運動は、筋の収縮により関節によって結ばれた骨格を動かすことによって生じる。そのため、解剖学的な特徴がその機能を規定する。つまりは、身体運動を正確に理解するためには、人類に共通する基本的な身体構造を理解しなければならない。またそれらの構造が身体運動の際にどのように働き、機能するかについても理解しておくことが重要である。本講義では骨格、関節、筋肉の構造的・機能的特性について理解し、それらの知識を身につけることを目的とする。																																								
授業の進め方	テキストによる講義と課題演習により、知識の定着を図る																																								
達成目標	骨格、関節、筋肉の構造的・機能的特性について理解し、それらの知識を身につける																																								
教科書	JATIトレーニング指導者テキスト【理論編】																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>上肢の骨</td></tr> <tr><td>3</td><td>上肢の関節</td></tr> <tr><td>4</td><td>上肢の筋肉</td></tr> <tr><td>5</td><td>上肢の神経・血管</td></tr> <tr><td>6</td><td>脊柱と胸郭の骨</td></tr> <tr><td>7</td><td>脊柱と胸郭の関節</td></tr> <tr><td>8</td><td>脊柱と胸郭の筋肉</td></tr> <tr><td>9</td><td>下肢の骨</td></tr> <tr><td>10</td><td>下肢の関節</td></tr> <tr><td>11</td><td>下肢の筋肉①</td></tr> <tr><td>12</td><td>下肢の筋肉②・神経と動脈</td></tr> <tr><td>13</td><td>上肢 総合</td></tr> <tr><td>14</td><td>脊柱と胸郭 総合</td></tr> <tr><td>15</td><td>下肢 総合</td></tr> <tr><td>16</td><td>課題演習①</td></tr> <tr><td>17</td><td>課題演習②</td></tr> <tr><td>18</td><td>課題演習③</td></tr> <tr><td>19</td><td>課題演習④</td></tr> <tr><td>20</td><td>定例試験</td></tr> </table>	1	オリエンテーション	2	上肢の骨	3	上肢の関節	4	上肢の筋肉	5	上肢の神経・血管	6	脊柱と胸郭の骨	7	脊柱と胸郭の関節	8	脊柱と胸郭の筋肉	9	下肢の骨	10	下肢の関節	11	下肢の筋肉①	12	下肢の筋肉②・神経と動脈	13	上肢 総合	14	脊柱と胸郭 総合	15	下肢 総合	16	課題演習①	17	課題演習②	18	課題演習③	19	課題演習④	20	定例試験
1	オリエンテーション																																								
2	上肢の骨																																								
3	上肢の関節																																								
4	上肢の筋肉																																								
5	上肢の神経・血管																																								
6	脊柱と胸郭の骨																																								
7	脊柱と胸郭の関節																																								
8	脊柱と胸郭の筋肉																																								
9	下肢の骨																																								
10	下肢の関節																																								
11	下肢の筋肉①																																								
12	下肢の筋肉②・神経と動脈																																								
13	上肢 総合																																								
14	脊柱と胸郭 総合																																								
15	下肢 総合																																								
16	課題演習①																																								
17	課題演習②																																								
18	課題演習③																																								
19	課題演習④																																								
20	定例試験																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーナー基礎理論・実技
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	８０時間
授業回数	４０回
授業概要	トレーニングを実際に指導する際には、トレーニングプログラムの作成だけではなく、エクササイズフォームや、どのようなことを意識しながら行うか、などの注意点およびに効果とリスクなどについて、実践を交えながら指導していかなければならない。そのためには各エクササイズの目的・効果・特性・特徴などを理解しておくことと、正確なエクササイズを習得させるためのデモンストレーション能力およびに指導能力を身につけておく必要がある。本講義では各種の体力要素に応じたトレーニングについて指導現場で必要となる指導能力を習得することを目的とする。
授業の進め方	専門職の指導を基により実践的な知識やスキルを学ぶ
達成目標	各種の体力要素に応じたトレーニングについて指導現場で必要となる指導能力を習得する
教科書	JATIトレーニング指導者テキスト【実践編】
特記	
授業計画	- オリエンテーション - 筋力トレーニングの実施にあたって - 胸部のエクササイズ - 背部のエクササイズ - 肩部のエクササイズ - 上腕部・前腕部のエクササイズ - 大腿部及び股関節のエクササイズ - 下腿部・体幹部のエクササイズ - クイックリフト基礎 - ジャンプ系エクササイズ 基礎 - 下肢のプライオメトリクス 基礎 - 上肢のプライオメトリクス 基礎 - 体幹・複合動作のプライオメトリクス、フィットネス分野のパワートレーニング 基礎 - 持久力向上トレーニングの安全に実施するガイドライン - 持久力を向上させる代表的トレーニング手段 - 持久力を向上させる代表的トレーニング方法 - 持久力に関連するトレーニング及び環境 - スピードの概念・スピード向上トレーニングの基本動作 - スピード向上トレーニングのエクササイズ・ドリル運用のまとめ - スタティクストレッチング 基礎 - パートナーストレッチング 基礎 - ダイナミックストレッチング 基礎 - 器具を使用したストレッチング・ウォームアップ 基礎 - 筋力トレーニングの実際 - 筋力トレーニングの実際 - パワー向上トレーニングの実際 - パワー向上トレーニングの実際 - 持久力向上トレーニングの実際 - 持久力向上トレーニングの実際 - スピード向上トレーニングの実際 - 柔軟性向上トレーニング及びW-upの実際 - クイックリフト実践 - ジャンプ系エクササイズ 実践 - 下肢のプライオメトリクス 実践 - 上肢のプライオメトリクス 実践 - 体幹・複合動作のプライオメトリクス、フィットネス分野のパワートレーニング 実践 - スタティクストレッチング 実践

	37	パートナーストレッチング 実践
	38	ダイナミックストレッチング 実践
	39	器具を使用したストレッチング・ウォームアップ 実践
	40	定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：50点、実技：50点）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング論・実技
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	主要トレーニングおよび使用部位のストレッチを学ぶ
授業の進め方	動作と指導練習により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	主要トレーニングおよび使用部位のストレッチを習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト・グループエクササイズ指導理論・レジスタンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 大胸筋のレジスタンストレーニング ・ベンチプレス ・プッシュアップ ・チェストプレス(マシン) 2 大腿四頭筋のレジスタンストレーニング ・スクワット ・レッグプレス(マシン) 3 広背筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・ラットプルダウン(マシン) ・チンニング 4 ハムストリングのレジスタンストレーニング ・スティフレッグド・デッド・リフト 5 腹直筋のレジスタンストレーニング ・クランチ ・ニーレイズ 6 外腹斜筋、内腹斜筋のレジスタンストレーニング ・ツイストクランチ ・サイドベント 7 三角筋筋のレジスタンストレーニング ・サイドレイズ 8 上腕二頭筋のストレングストレーニング ・アームカール 9 上腕三頭筋のストレングストレーニング ・キックバック ・プレスダウン 10 脊柱起立筋のストレングストレーニング ・バックエクステンション 11 下腿三頭筋のストレングストレーニング ・カーフレイズ ・シーテッドカーフレイズ 12 僧帽筋のレジスタンストレーニング ・シュラッグ 13 大胸筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・ダンベルプレス 14 大胸筋のレジスタンストレーニング ・フライ(フリー&マシン) 15 広背筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・ベントオーバーロウイング ・ワンハンドロウイング 16 三角筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・ショルダープレス(フリー&マシン) 17 大腿四頭筋、ハムストリングのレジスタンストレーニングとストレッチ ・レッグエクステンション ・レッグカール 18 上腕三頭筋のストレングストレーニングとストレッチ ・フレンチプレス ・ディップス 19 大腿四頭筋のレジスタンストレーニングとストレッチ ・レッグランジ ・フロントランジ ・バックランジ 20 脚部のレジスタンストレーニングとストレッチ ・デッドリフト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツマッサージ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	４０時間
授業回数	２０回
授業概要	マッサージの基礎知識を理解し、目的や効果を学んでいく。マッサージに関しては各マッサージ方法を実践し、スキルを深めていくようにする。また、安全で効果的なマッサージを学び、実践できることを目的とする。
授業の進め方	動作と指導練習により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	マッサージの目的や効果を理解し、各マッサージ技術を実践できるようになる。また、安全で効果的なマッサージの方法を理解し、実践できるようになることを目的とする。
教科書	パワーポイントスライド資料
特記	
授業計画	１ オリエンテーション ２ マッサージの基本① ３ マッサージの基本② ４ 手技別のマッサージ①（軽擦法：さする） ５ 手技別のマッサージ②（軽擦法：さする） ６ 手技別のマッサージ③（揉捏法：もむ） ７ 手技別のマッサージ④（揉捏法：もむ） ８ 手技別のマッサージ⑤（揉捏法：もむ） ９ 手技別のマッサージ⑥（強擦法：もみくたく） １０ 手技別のマッサージ⑦（強擦法：もみくたく） １１ 手技別のマッサージ⑧（強擦法：もみくたく） １２ 手技別のマッサージ⑨（振戦法：ふるわせる） １３ 手技別のマッサージ⑩（振戦法：ふるわせる） １４ 手技別のマッサージ⑪（振戦法：ふるわせる） １５ 手技別のマッサージ⑫（叩打法：たたく） １６ 手技別のマッサージ⑬（叩打法：たたく） １７ 手技別のマッサージ⑭（伸展法：伸ばす） １８ 手技別のマッサージ⑮（伸展法：伸ばす） １９ セルフマッサージ ２０ 定例試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：７０点、実技：３０点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	テーピング論・実習
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	テーピングの基礎知識を理解し、目的や効果を学んでいく。テーピングに関しては各部位のテーピングを実践し、スキルを深めていくようにする。
授業の進め方	動作と指導練習により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	テーピングの目的や効果を理解し、各部位のテーピング技術を実践できるようになる。
教科書	パワーポイントスライド資料
特記	
授業計画	1 オリエンテーション 2 テーピングの基礎知識 3 部位別テーピング（足首） 4 部位別テーピング（足首） 5 部位別テーピング（手首・指） 6 部位別テーピング（手首・指） 7 部位別テーピング（腕） 8 部位別テーピング（腕） 9 部位別テーピング（肩） 10 部位別テーピング（肩） 11 部位別テーピング（腰） 12 部位別テーピング（腰） 13 部位別テーピング（太もも） 14 部位別テーピング（太もも） 15 部位別テーピング（膝・脛） 16 部位別テーピング（膝・脛） 17 部位別テーピング（ふくらはぎ・アキレス腱） 18 部位別テーピング（ふくらはぎ・アキレス腱） 19 部位別テーピング（足の指・足の裏） 20 部位別テーピング（足の指・足の裏）
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：70点、実技：30点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ハードウェア I
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのハードウェアの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのハードウェアの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 離散数学（基数・数値の表現） 2 離散数学（シフト演算・論理演算） 3 応用数学 4 情報に関する理論 5 データ構造（配列・リスト） 6 データ構造（スタック・キュー・木構造） 7 アルゴリズム（流れ図・ソート） 8 アルゴリズム（探索・文字列） 9 プログラミング 10 プログラム言語 11 プロセッサ（コンピュータの構成） 12 プロセッサ（レジスタ） 13 プロセッサの性能 14 メモリ・バス 15 入出力インタフェース・入出力装置 16 補助記憶装置 17 システムの構成 18 信頼性設計 19 信頼性指標と信頼性計算 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ソフトウェア I
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのソフトウェアの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのソフトウェアの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 オペレーティングシステム（OSの種類と特徴） 2 オペレーティングシステム（タスク管理） 3 オペレーティングシステム（入出力管理・記憶管理） 4 オペレーティングシステム（仮想記憶方式） 5 問題演習 6 ミドルウェア 7 ファイルシステム 8 開発ツール 9 オープンソースソフトウェア 10 問題演習 11 電気・電子回路 12 構成部品及び要素と実装 13 問題演習 14 ヒューマンインタフェース技術 15 インタフェース設計 16 マルチメディア技術（音声処理） 17 マルチメディア技術（静止画処理） 18 マルチメディア応用 19 問題演習 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	C A S L																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科 2 年制学科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	1 学期・2 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業回数	2 0 回																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するための C A S L の基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するための C A S L の基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>乗算プログラム①</td></tr> <tr><td>2</td><td>乗算プログラム②</td></tr> <tr><td>3</td><td>除算プログラム①</td></tr> <tr><td>4</td><td>除算プログラム②</td></tr> <tr><td>5</td><td>ビット操作①</td></tr> <tr><td>6</td><td>ビット操作②</td></tr> <tr><td>7</td><td>ビット操作③</td></tr> <tr><td>8</td><td>文字列サーチ①</td></tr> <tr><td>9</td><td>文字列サーチ②</td></tr> <tr><td>10</td><td>文字列の移動①</td></tr> <tr><td>11</td><td>文字列の移動②</td></tr> <tr><td>12</td><td>数値から16進数文字列への変換①</td></tr> <tr><td>13</td><td>数値から16進数文字列への変換②</td></tr> <tr><td>14</td><td>16進数文字列から数値への変換①</td></tr> <tr><td>15</td><td>16進数文字列から数値への変換②</td></tr> <tr><td>16</td><td>数値から10進数文字列への変換①</td></tr> <tr><td>17</td><td>数値から10進数文字列への変換②</td></tr> <tr><td>18</td><td>10進数文字列から数値への変換①</td></tr> <tr><td>19</td><td>10進数文字列から数値への変換②</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	乗算プログラム①	2	乗算プログラム②	3	除算プログラム①	4	除算プログラム②	5	ビット操作①	6	ビット操作②	7	ビット操作③	8	文字列サーチ①	9	文字列サーチ②	10	文字列の移動①	11	文字列の移動②	12	数値から16進数文字列への変換①	13	数値から16進数文字列への変換②	14	16進数文字列から数値への変換①	15	16進数文字列から数値への変換②	16	数値から10進数文字列への変換①	17	数値から10進数文字列への変換②	18	10進数文字列から数値への変換①	19	10進数文字列から数値への変換②	20	確認テスト
1	乗算プログラム①																																								
2	乗算プログラム②																																								
3	除算プログラム①																																								
4	除算プログラム②																																								
5	ビット操作①																																								
6	ビット操作②																																								
7	ビット操作③																																								
8	文字列サーチ①																																								
9	文字列サーチ②																																								
10	文字列の移動①																																								
11	文字列の移動②																																								
12	数値から16進数文字列への変換①																																								
13	数値から16進数文字列への変換②																																								
14	16進数文字列から数値への変換①																																								
15	16進数文字列から数値への変換②																																								
16	数値から10進数文字列への変換①																																								
17	数値から10進数文字列への変換②																																								
18	10進数文字列から数値への変換①																																								
19	10進数文字列から数値への変換②																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	アルゴリズム																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科 2 年制学科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	1 学期・2 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業回数	2 0 回																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのアルゴリズムの基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのアルゴリズムの基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>データ構造（配列・リスト）</td></tr> <tr><td>2</td><td>データ構造（スタック・キュー）</td></tr> <tr><td>3</td><td>データ構造（2分探索木）</td></tr> <tr><td>4</td><td>データ構造（ヒープ）</td></tr> <tr><td>5</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>6</td><td>アルゴリズム（ソート1）</td></tr> <tr><td>7</td><td>アルゴリズム（ソート2）</td></tr> <tr><td>8</td><td>アルゴリズム（ソート3）</td></tr> <tr><td>9</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>10</td><td>アルゴリズム（線形探索法・2分探索法）</td></tr> <tr><td>11</td><td>アルゴリズム（ハッシュ法）</td></tr> <tr><td>12</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>アルゴリズム（文字列操作1）</td></tr> <tr><td>14</td><td>アルゴリズム（文字列操作2）</td></tr> <tr><td>15</td><td>アルゴリズム（文字列操作3）</td></tr> <tr><td>16</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>17</td><td>構文解析技法（BNF）</td></tr> <tr><td>18</td><td>マークアップ言語（HTML・XML）</td></tr> <tr><td>19</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	データ構造（配列・リスト）	2	データ構造（スタック・キュー）	3	データ構造（2分探索木）	4	データ構造（ヒープ）	5	問題演習	6	アルゴリズム（ソート1）	7	アルゴリズム（ソート2）	8	アルゴリズム（ソート3）	9	問題演習	10	アルゴリズム（線形探索法・2分探索法）	11	アルゴリズム（ハッシュ法）	12	問題演習	13	アルゴリズム（文字列操作1）	14	アルゴリズム（文字列操作2）	15	アルゴリズム（文字列操作3）	16	問題演習	17	構文解析技法（BNF）	18	マークアップ言語（HTML・XML）	19	問題演習	20	確認テスト
1	データ構造（配列・リスト）																																								
2	データ構造（スタック・キュー）																																								
3	データ構造（2分探索木）																																								
4	データ構造（ヒープ）																																								
5	問題演習																																								
6	アルゴリズム（ソート1）																																								
7	アルゴリズム（ソート2）																																								
8	アルゴリズム（ソート3）																																								
9	問題演習																																								
10	アルゴリズム（線形探索法・2分探索法）																																								
11	アルゴリズム（ハッシュ法）																																								
12	問題演習																																								
13	アルゴリズム（文字列操作1）																																								
14	アルゴリズム（文字列操作2）																																								
15	アルゴリズム（文字列操作3）																																								
16	問題演習																																								
17	構文解析技法（BNF）																																								
18	マークアップ言語（HTML・XML）																																								
19	問題演習																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アセンブラ言語
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのアセンブラ言語の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのアセンブラ言語の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 COMET II 概論 2 CASL II の概要① 3 CASL II の概要② 4 CASL II の概要③ 5 アセンブラ命令① 6 アセンブラ命令② 7 アセンブラ命令③ 8 機械語命令（算術演算命令）① 9 機械語命令（算術演算命令）② 10 機械語命令（論理演算命令・シフト演算命令）① 11 機械語命令（論理演算命令・シフト演算命令）② 12 機械語命令（比較演算命令・分岐命令）① 13 機械語命令（比較演算命令・分岐命令）② 14 機械語命令（スタック操作命令）① 15 機械語命令（スタック操作命令）② 16 機械語命令（サブルーチンコール）① 17 機械語命令（サブルーチンコール）② 18 マクロ命令① 19 マクロ命令② 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	プログラム設計 I																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科 2 年制学科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	2 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業回数	2 0 回																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>アルゴリズムの表現方法</td></tr> <tr><td>2</td><td>データ構造とアルゴリズム①</td></tr> <tr><td>3</td><td>データ構造とアルゴリズム②</td></tr> <tr><td>4</td><td>代表的なアルゴリズム①</td></tr> <tr><td>5</td><td>代表的なアルゴリズム②</td></tr> <tr><td>6</td><td>代表的なアルゴリズム③</td></tr> <tr><td>7</td><td>代表的なアルゴリズム④</td></tr> <tr><td>8</td><td>代表的なアルゴリズム⑤</td></tr> <tr><td>9</td><td>ハードウェア①</td></tr> <tr><td>10</td><td>ハードウェア②</td></tr> <tr><td>11</td><td>ソフトウェア①</td></tr> <tr><td>12</td><td>ソフトウェア②</td></tr> <tr><td>13</td><td>ネットワーク①</td></tr> <tr><td>14</td><td>ネットワーク②</td></tr> <tr><td>15</td><td>データベース①</td></tr> <tr><td>16</td><td>データベース②</td></tr> <tr><td>17</td><td>セキュリティ①</td></tr> <tr><td>18</td><td>セキュリティ②</td></tr> <tr><td>19</td><td>ソフトウェア設計①</td></tr> <tr><td>20</td><td>ソフトウェア設計②</td></tr> </table>	1	アルゴリズムの表現方法	2	データ構造とアルゴリズム①	3	データ構造とアルゴリズム②	4	代表的なアルゴリズム①	5	代表的なアルゴリズム②	6	代表的なアルゴリズム③	7	代表的なアルゴリズム④	8	代表的なアルゴリズム⑤	9	ハードウェア①	10	ハードウェア②	11	ソフトウェア①	12	ソフトウェア②	13	ネットワーク①	14	ネットワーク②	15	データベース①	16	データベース②	17	セキュリティ①	18	セキュリティ②	19	ソフトウェア設計①	20	ソフトウェア設計②
1	アルゴリズムの表現方法																																								
2	データ構造とアルゴリズム①																																								
3	データ構造とアルゴリズム②																																								
4	代表的なアルゴリズム①																																								
5	代表的なアルゴリズム②																																								
6	代表的なアルゴリズム③																																								
7	代表的なアルゴリズム④																																								
8	代表的なアルゴリズム⑤																																								
9	ハードウェア①																																								
10	ハードウェア②																																								
11	ソフトウェア①																																								
12	ソフトウェア②																																								
13	ネットワーク①																																								
14	ネットワーク②																																								
15	データベース①																																								
16	データベース②																																								
17	セキュリティ①																																								
18	セキュリティ②																																								
19	ソフトウェア設計①																																								
20	ソフトウェア設計②																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プログラム設計Ⅱ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	４０時間
授業回数	２０回
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の応用知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の応用知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 システム設計の流れ 2 開発プロセス・手法 3 要件定義① システム概要 4 要件定義② 効果（定性的、定量的） 5 要件定義③ システム概要図 6 要件定義④ ユースケース図 7 要件定義⑤ 機能階層図 8 要件定義⑥ 入出力要件 9 要件定義⑦ セキュリティ要件 10 外部設計① 画面遷移図 11 外部設計② 画面レイアウト設計図 12 外部設計③ 帳票仕様書 13 外部設計④ 入出力仕様書 14 外部設計⑤ データベース設計 15 外部設計⑥ テーブル定義書 16 内部設計① クラス図 17 内部設計② データフロー 18 内部設計③ モジュール詳細１ 19 内部設計④ モジュール詳細２ 20 確認テスト

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	基本情報総合		
実務家教員授業	－		
学部・学科	経理本科 2 年制学科		
履修年次	1 年次		
開講学期	2 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	8 0 時間		
授業回数	4 0 回		
授業概要	基本情報技術者試験に合格するために模擬試験を行う		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う		
達成目標	基本情報技術者試験の模擬試験にて合格点を取ることができる		
教科書	項目別答練		
特記			
授業計画	1	ハードウェア	項目別答練①
	2	ハードウェア	項目別答練① 解説
	3	ハードウェア	項目別答練②
	4	ハードウェア	項目別答練② 解説
	5	ソフトウェア	項目別答練①
	6	ソフトウェア	項目別答練① 解説
	7	ソフトウェア	項目別答練②
	8	ソフトウェア	項目別答練② 解説
	9	ネットワーク	項目別答練①
	10	ネットワーク	項目別答練① 解説
	11	ネットワーク	項目別答練②
	12	ネットワーク	項目別答練② 解説
	13	データベース	項目別答練①
	14	データベース	項目別答練① 解説
	15	データベース	項目別答練②
	16	データベース	項目別答練② 解説
	17	セキュリティ	項目別答練①
	18	セキュリティ	項目別答練① 解説
	19	セキュリティ	項目別答練②
	20	セキュリティ	項目別答練② 解説
	21	ソフトウェア設計	項目別答練①
	22	ソフトウェア設計	項目別答練① 解説
	23	ソフトウェア設計	項目別答練②
	24	ソフトウェア設計	項目別答練② 解説
	25	サービスマネジメント	項目別答練
	26	サービスマネジメント	項目別答練 解説
	27	プロジェクトマネジメント①	項目別答練
	28	プロジェクトマネジメント①	項目別答練 解説
	29	プロジェクトマネジメント②	項目別答練
	30	プロジェクトマネジメント②	項目別答練 解説

	31 システム戦略 項目別答練① 32 システム戦略 項目別答練① 解説 33 システム戦略 項目別答練② 34 システム戦略 項目別答練② 解説 35 経営戦略・企業と法務① 項目別答練 36 経営戦略・企業と法務① 項目別答練 解説 37 経営戦略・企業と法務② 項目別答練 38 経営戦略・企業と法務② 項目別答練 解説 39 総まとめ 40 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コンピュータ基礎知識
実務家教員	-
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業回数	40回
授業概要	職業人が備えておくべきコンピュータに関する知識の習得を目的とする
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	効果測定における得点、80点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 離散数学① 2 離散数学② 3 応用数学① 4 応用数学② 5 情報に関する理論 6 データ構造① 7 データ構造② 8 アルゴリズム① 9 アルゴリズム② 10 プログラミングとプログラム言語 11 その他の言語 12 プロセッサ 13 メモリ① 14 メモリ② 15 システムの構成 16 システムの評価指標 17 オペレーティングシステム 18 ファイルシステム 19 開発ツール 20 効果測定① 21 オープンソースソフトウェア 22 ハードウェア（コンピュータ） 23 ハードウェア（入出力装置） 24 ヒューマンインタフェース技術① 25 ヒューマンインタフェース技術② 26 インタフェース設計① 27 インタフェース設計② 28 マルチメディア技術① 29 マルチメディア技術② 30 マルチメディア応用① 31 マルチメディア応用② 32 データベース方式 33 データベース設計 34 データ操作 35 トランザクション処理 36 ネットワーク方式 37 通信プロトコル① 38 通信プロトコル② 39 ネットワーク応用 40 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ＯＡ概論基礎
実務家教員	-
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	職業人が備えておくべきＯＡに関する知識の習得を目的とする
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 情報セキュリティ① - 情報セキュリティ② - 情報セキュリティ管理 - 情報セキュリティ対策・情報セキュリティ実装技術① - 情報セキュリティ対策・情報セキュリティ実装技術② - 情報セキュリティ対策・情報セキュリティ実装技術③ - 経営・組織論 - OR・IE① - OR・IE② - OR・IE③ - 会計・財務① - 会計・財務② - 知的財産権 - セキュリティ関連法規① - セキュリティ関連法規② - 労働関連・取引関連法規① - 労働関連・取引関連法規② - その他の法律・ガイドライン・技術倫理 - 標準化関連 - 効果測定① - 経営戦略手法① - 経営戦略手法② - マーケティング① - マーケティング② - マーケティング③ - ビジネス戦略と目標・評価 - 経営管理システム① - 経営管理システム② - 技術開発戦略の立案 - 技術開発計画 - ビジネスシステム① - ビジネスシステム② - エンジニアリングシステム① - エンジニアリングシステム② - e-ビジネス - 民生機器 - 情報システム戦略 - 業務プロセス - ソリューションビジネス

	40 効果測定② 41 システム活用促進・評価 42 システム化計画 43 要件定義 44 調達計画・実施 45 ソフトウェア開発のプロセス 46 ソフトウェアの品質特性 47 主なソフトウェア開発手法 48 主なソフトウェア開発モデル 49 開発プロセスに関するフレームワーク 50 プロジェクトマネジメント① 51 プロジェクトマネジメント② 52 サービスマネジメント① 53 サービスマネジメント② 54 サービスサポート① 55 サービスサポート② 56 ファシリティマネジメント① 57 ファシリティマネジメント② 58 システム監査 59 内部統制 60 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コンピュータ実習基礎
実務家教員授業	佐藤良樹
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	1 2 0 時間
授業回数	6 0 回
授業概要	情報処理に携わる者として必要なJavaに関する知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と実践的なPC実習
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする
教科書	新・明解 Java入門 & Java8問題集
特記	実務家教員は、エンジニアとして10年以上の業務に携わっており、銀行系システムや後払い決済システムに関するシステム等において、Java言語を使用した開発と設計からテストまでの業務フローを深く理解されチーム開発のリーダー等を幅広く経験をされている教員
	1 はじめてのJava 2 変数を使う 3 制御構文・分岐① if文① 4 制御構文・分岐② if文② 5 制御構文・分岐③ switch文 キーワード・識別子・演算子 6 制御構文・繰り返し① do-while文 7 制御構文・繰り返し② while文 8 制御構文・繰り返し③ for文 9 制御構文・繰り返し④ 10 基本型と演算 11 配列① 12 配列② 13 配列③ 14 演習① 15 第1回効果測定 16 メソッド① 17 メソッド② 18 メソッド③ 19 クラスの基本① 20 クラスの基本② 21 日付クラスの作成① 22 日付クラスの作成② 23 クラス変数とクラスメソッド① 24 クラス変数とクラスメソッド② 25 クラス変数とクラスメソッド③ 26 パッケージ 27 クラスの派生と多相姓①

授業計画	28	クラスの派生と多相姓②
	29	クラスの派生と多相姓③
	30	第2回効果測定
	31	抽象クラス①
	32	抽象クラス②
	33	インタフェース①
	34	インタフェース②
	35	演習②
	36	文字と文字列①
	37	文字と文字列②
	38	例外処理①
	39	例外処理②
	40	第3回効果測定
	41	総合演習 ようこそJavaの世界へ
	42	総合演習 はじめてのJavaプログラム
	43	総合演習 基本的なJavaプログラムの構造
	44	総合演習 コンピュータで扱うデータ表現
	45	総合演習 変数／定数と型
	46	総合演習 演算と演算子
	47	総合演習 配列の宣言・生成①
	48	総合演習 配列の宣言・生成②
	49	総合演習 制御文①
	50	総合演習 制御文②
	51	総合演習 クラスとオブジェクト①
	52	総合演習 クラスとオブジェクト②
	53	総合演習 クラスの関係を深める①
	54	総合演習 クラスの関係を深める②
	55	総合演習 クラスの継承①
	56	総合演習 クラスの継承②
	57	総合演習 例外処理①
	58	総合演習 例外処理②
	59	まとめ
	60	第4回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	オフィスソフト実習
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	8 0 時間
授業回数	4 0 回
授業概要	MOS試験に合格するために模擬試験を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的なPC実習
達成目標	MOS試験に合格するために模擬試験を行う
教科書	日経BP社 攻略問題集
特記	
授業計画	1 文書の書式を設定する 2 文書のオプションと表示をカスタマイズする 3 文字列や段落を挿入する 4 表を作成する 5 参照のための情報や記号を作成する、管理する 6 標準の参考資料を作成する、管理する 7 グラフィック要素を挿入する 8 模擬試験① 実習・解説 9 模擬試験② 実習・解説 10 模擬試験③ 実習・解説 11 ワークシートやブックの書式を設定する 12 ワークシートやブックのオプションと表示のカスタマイズする 13 セルやセル範囲にデータを挿入する 14 セルやセル範囲の書式を設定する 15 テーブルを作成する、管理する 16 テーブルのスタイルと設定オプションを管理する 17 関数を使用して文字列を整形する、変更する 18 グラフを作成する 19 オブジェクトを挿入する、書式を設定する 20 模擬試験① 実習・解説 21 模擬試験② 実習・解説 22 模擬試験③ 実習・解説 23 模擬試験④ 実習・解説 24 模擬試験⑤ 実習・解説 25 プレゼンテーションの作成 26 スライド挿入、書式設定 27 スライド、配布資料、ノートの変更 28 印刷するためのプレゼンテーションを設定 29 プレゼンテーションのオプションや表示変更 30 テキストの挿入、書式設定

	31 図形やテキストボックスの挿入、書式設定 32 図の挿入、書式設定 33 スライドのコンテンツにアニメーションを設定 34 画面切り替えとアニメーションのタイミングを設定 35 複数のプレゼンテーションのコンテンツを結合 36 模擬試験① 37 模擬試験② 38 模擬試験③ 39 模擬試験④ 40 模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 模擬試験の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	システム設計
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 開発プロセス・手法 2 要件定義① システム概要 3 要件定義② 効果（定性的、定量的） 4 要件定義③ システム概要図 5 要件定義④ ユースケース図 6 要件定義⑤ 機能階層図 7 要件定義⑥ 入出力要件 8 問題演習① 9 外部設計① 画面遷移図 10 外部設計② 画面レイアウト設計図 11 外部設計③ 帳票仕様書 12 外部設計④ 入出力仕様書 13 外部設計⑤ データベース設計 14 外部設計⑥ テーブル定義書 15 問題演習② 16 内部設計① クラス図 17 内部設計② データフロー 18 内部設計③ モジュール詳細 19 問題演習③ 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コンピュータアーキテクチャ	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためにコンピュータアーキテクチャの基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためにコンピュータアーキテクチャの基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	2 進数と 1 6 進数
	2	固定小数点と浮動小数点
	3	光の 3 原色と色の 3 原色
	4	画像の品質と VRAM
	5	標本化（サンプリング）
	6	量子化
	7	ハフマン符号化
	8	ランレングス符号化
	9	処理装置
	10	記憶装置と媒体
	11	入出力装置
	12	命令実行方式
	13	システム構成
	14	タスクスケジューリング
	15	排他制御
	16	記憶管理
	17	ファイルシステム
	18	言語処理ツール
	19	ソフトウェア品質
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	通信ネットワーク																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科 2 年制学科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	3 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業回数	2 0 回																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>通信回線</td></tr> <tr><td>2</td><td>ルータ</td></tr> <tr><td>3</td><td>IPアドレス</td></tr> <tr><td>4</td><td>IPアドレスの有効利用</td></tr> <tr><td>5</td><td>IPアドレスの設定</td></tr> <tr><td>6</td><td>ファイアウォールとDMZ</td></tr> <tr><td>7</td><td>プロキシサーバ</td></tr> <tr><td>8</td><td>ルーティング制御</td></tr> <tr><td>9</td><td>伝送制御プロトコル</td></tr> <tr><td>10</td><td>TCP/IP</td></tr> <tr><td>11</td><td>データリンク層のプロトコル</td></tr> <tr><td>12</td><td>ネットワーク層のプロトコル</td></tr> <tr><td>13</td><td>トランスポート層のプロトコル</td></tr> <tr><td>14</td><td>アプリケーション層のプロトコル</td></tr> <tr><td>15</td><td>通信回線の能力を表す指標</td></tr> <tr><td>16</td><td>待ち行列モデル</td></tr> <tr><td>17</td><td>トラフィック量の計算</td></tr> <tr><td>18</td><td>誤り制御</td></tr> <tr><td>19</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	通信回線	2	ルータ	3	IPアドレス	4	IPアドレスの有効利用	5	IPアドレスの設定	6	ファイアウォールとDMZ	7	プロキシサーバ	8	ルーティング制御	9	伝送制御プロトコル	10	TCP/IP	11	データリンク層のプロトコル	12	ネットワーク層のプロトコル	13	トランスポート層のプロトコル	14	アプリケーション層のプロトコル	15	通信回線の能力を表す指標	16	待ち行列モデル	17	トラフィック量の計算	18	誤り制御	19	総合演習	20	確認テスト
1	通信回線																																								
2	ルータ																																								
3	IPアドレス																																								
4	IPアドレスの有効利用																																								
5	IPアドレスの設定																																								
6	ファイアウォールとDMZ																																								
7	プロキシサーバ																																								
8	ルーティング制御																																								
9	伝送制御プロトコル																																								
10	TCP/IP																																								
11	データリンク層のプロトコル																																								
12	ネットワーク層のプロトコル																																								
13	トランスポート層のプロトコル																																								
14	アプリケーション層のプロトコル																																								
15	通信回線の能力を表す指標																																								
16	待ち行列モデル																																								
17	トラフィック量の計算																																								
18	誤り制御																																								
19	総合演習																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	データベース概論																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科 2 年制学科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	3 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業回数	2 0 回																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのデータベースの基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのデータベースの基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>データベース言語（SQL）</td></tr> <tr><td>2</td><td>単純な抽出、抽出条件の指定</td></tr> <tr><td>3</td><td>複数条件の指定、抽出条件の値の範囲指定</td></tr> <tr><td>4</td><td>抽出条件の値の指定</td></tr> <tr><td>5</td><td>表の結合①</td></tr> <tr><td>6</td><td>表の結合②</td></tr> <tr><td>7</td><td>集約関数の利用</td></tr> <tr><td>8</td><td>パターン文字の利用</td></tr> <tr><td>9</td><td>グループごとの抽出</td></tr> <tr><td>10</td><td>出力順の指定</td></tr> <tr><td>11</td><td>副問合せ</td></tr> <tr><td>12</td><td>EXISTS 述語</td></tr> <tr><td>13</td><td>実表の定義</td></tr> <tr><td>14</td><td>データの挿入</td></tr> <tr><td>15</td><td>列の追加</td></tr> <tr><td>16</td><td>ビュー表の定義</td></tr> <tr><td>17</td><td>データの正規化</td></tr> <tr><td>18</td><td>DBMS</td></tr> <tr><td>19</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	データベース言語（SQL）	2	単純な抽出、抽出条件の指定	3	複数条件の指定、抽出条件の値の範囲指定	4	抽出条件の値の指定	5	表の結合①	6	表の結合②	7	集約関数の利用	8	パターン文字の利用	9	グループごとの抽出	10	出力順の指定	11	副問合せ	12	EXISTS 述語	13	実表の定義	14	データの挿入	15	列の追加	16	ビュー表の定義	17	データの正規化	18	DBMS	19	総合演習	20	確認テスト
1	データベース言語（SQL）																																								
2	単純な抽出、抽出条件の指定																																								
3	複数条件の指定、抽出条件の値の範囲指定																																								
4	抽出条件の値の指定																																								
5	表の結合①																																								
6	表の結合②																																								
7	集約関数の利用																																								
8	パターン文字の利用																																								
9	グループごとの抽出																																								
10	出力順の指定																																								
11	副問合せ																																								
12	EXISTS 述語																																								
13	実表の定義																																								
14	データの挿入																																								
15	列の追加																																								
16	ビュー表の定義																																								
17	データの正規化																																								
18	DBMS																																								
19	総合演習																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	セキュリティ概要																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	経理本科 2 年制学科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	3 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義及び演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業回数	2 0 回																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのセキュリティの基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのセキュリティの基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>リスクアセスメント</td></tr> <tr><td>2</td><td>リスク対策</td></tr> <tr><td>3</td><td>ファイアウォール</td></tr> <tr><td>4</td><td>プロキシサーバ</td></tr> <tr><td>5</td><td>I D S ・ I P S</td></tr> <tr><td>6</td><td>アプリケーションセキュリティ</td></tr> <tr><td>7</td><td>コンピュータウイルス</td></tr> <tr><td>8</td><td>コンピュータウイルスの検出手法</td></tr> <tr><td>9</td><td>スパイウェア</td></tr> <tr><td>10</td><td>スパムメール</td></tr> <tr><td>11</td><td>暗号化技術</td></tr> <tr><td>12</td><td>認証技術</td></tr> <tr><td>13</td><td>利用者 I D とパスワード</td></tr> <tr><td>14</td><td>ワンタイムパスワード</td></tr> <tr><td>15</td><td>生体認証</td></tr> <tr><td>16</td><td>アクセス管理</td></tr> <tr><td>17</td><td>施設への入退室管理</td></tr> <tr><td>18</td><td>情報の取り扱いルールの設定</td></tr> <tr><td>19</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	リスクアセスメント	2	リスク対策	3	ファイアウォール	4	プロキシサーバ	5	I D S ・ I P S	6	アプリケーションセキュリティ	7	コンピュータウイルス	8	コンピュータウイルスの検出手法	9	スパイウェア	10	スパムメール	11	暗号化技術	12	認証技術	13	利用者 I D とパスワード	14	ワンタイムパスワード	15	生体認証	16	アクセス管理	17	施設への入退室管理	18	情報の取り扱いルールの設定	19	問題演習	20	確認テスト
1	リスクアセスメント																																								
2	リスク対策																																								
3	ファイアウォール																																								
4	プロキシサーバ																																								
5	I D S ・ I P S																																								
6	アプリケーションセキュリティ																																								
7	コンピュータウイルス																																								
8	コンピュータウイルスの検出手法																																								
9	スパイウェア																																								
10	スパムメール																																								
11	暗号化技術																																								
12	認証技術																																								
13	利用者 I D とパスワード																																								
14	ワンタイムパスワード																																								
15	生体認証																																								
16	アクセス管理																																								
17	施設への入退室管理																																								
18	情報の取り扱いルールの設定																																								
19	問題演習																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	システム評価
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	８０時間
授業回数	４０回
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのシステム評価の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのシステム評価の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	１ ソフトウェア要件定義① ２ ソフトウェア要件定義② ３ ソフトウェア要件定義③ ４ ソフトウェア方式設計① ５ ソフトウェア方式設計② ６ ソフトウェア方式設計③ ７ ソフトウェア詳細設計① ８ ソフトウェア詳細設計② ９ ソフトウェア詳細設計③ １０ ソフトウェアコード作成及びテスト① １１ ソフトウェアコード作成及びテスト② １２ ソフトウェアコード作成及びテスト③ １３ ソフトウェアコード作成及びテスト④ １４ ソフトウェア結合① １５ ソフトウェア結合② １６ 機能テスト １７ 性能テスト １８ 負荷テスト １９ リグレッションテスト ２０ 構造化チャート ２１ ＨＩＰＯ ２２ システム流れ図 ２３ 流れ図 ２４ 整列 ２５ 集計 ２６ コントロールブレイク ２７ システム設計問題演習①

	28 システム設計問題演習② 29 ユースケース図① 30 ユースケース図② 31 ユースケース図③ 32 ユースケース図④ 33 クラス図① 34 クラス図② 35 クラス図③ 36 クラス図④ 37 シーケンス図① 38 シーケンス図② 39 シーケンス図③ 40 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論 I	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 6 0 時間	
授業回数	8 0 回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
	1	簿記の概要 I
	2	現金①
	3	現金②
	4	現金過不足①
	5	現金過不足②
	6	当座預金
	7	当座借越
	8	債権債務①
	9	債権債務②
	10	手形・手形の割引・裏書き①
	11	手形・手形の割引・裏書き②
	12	電子記録債権・クレジット売掛金①
	13	電子記録債権・クレジット売掛金②
	14	商品売買・三分法①
	15	商品売買・三分法②
	16	商品売買・売上原価計上法①
	17	商品売買・売上原価計上法②
	18	商品売買・分記法①
	19	商品売買・分記法②
	20	商品売買・総記法①
	21	商品売買・総記法②
	22	商品売買・原価率①
	23	商品売買・原価率②
	24	商品売買・利益率①
	25	商品売買・利益率②
	26	商品売買・返品①
	27	商品売買・返品②
	28	商品売買・値引①
	29	商品売買・値引②
	30	商品売買・割戻①
	31	商品売買・割戻②
	32	商品売買・原価率・利益率・返品・値引・割戻①
	33	商品売買・原価率・利益率・返品・値引・割戻②
	34	仕入・売上の計上基準①

授業計画	35	仕入・売上の計上基準②
	36	減価償却①
	37	減価償却②
	38	減価償却③
	39	減価償却④
	40	除却①
	41	除却②
	42	売却①
	43	売却②
	44	買換①
	45	買換②
	46	買換③
	47	買換④
	48	無形固定資産①
	49	無形固定資産②
	50	ソフトウェア①
	51	ソフトウェア②
	52	貸倒損失・貸倒引当金①
	53	貸倒損失・貸倒引当金②
	54	給料・賞与①
	55	給料・賞与②
	56	法人税等・租税公課①
	57	法人税等・租税公課②
	58	消費税等①
	59	消費税等②
	60	確認テスト①
	61	確認テスト 解説①
	62	確認テスト②
	63	確認テスト 解説②
	64	資本金・資本準備金①
	65	資本金・資本準備金②
	66	自己株式・新株予約権①
	67	自己株式・新株予約権②
	68	退職給付会計簡便法①
	69	退職給付会計簡便法②
	70	償却原価法利息法・定額法①
	71	償却原価法利息法・定額法②
	72	社債の買入償還①
	73	社債の買入償還②
	74	売買目的有価証券①
	75	売買目的有価証券②
	76	満期保有目的の債券①
	77	満期保有目的の債券②
	78	子会社株式・関連会社株式
	79	その他有価証券①
	80	その他有価証券②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	財務諸表論Ⅰ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 財務諸表作成の基礎① ２ 現金及び預金 ３ 債権債務 ４ 財務諸表論の基礎概念Ⅰ【理論】① ５ 財務諸表論の基礎概念Ⅰ【理論】② ６ 棚卸資産Ⅰ（売上原価の算定） ７ 棚卸資産Ⅱ（返品、値引、割戻、割引） ８ 一般原則【理論】① ９ 一般原則【理論】② 10 固定資産Ⅰ（有形固定資産） 11 固定資産Ⅱ（無形固定資産） 12 固定資産Ⅲ（ソフトウェア） 13 一般原則【理論】① 14 一般原則【理論】② 15 貸倒れⅠ 16 損益計算総論【理論】① 17 損益計算総論【理論】② 18 給料等 19 損益計算総論【理論】① 20 損益計算総論【理論】② 21 退職給付会計Ⅰ 22 損益計算各論【理論】① 23 損益計算各論【理論】② 24 その他の引当金 25 損益計算各論【理論】① 26 損益計算各論【理論】② 27 確認テスト① 28 確認テスト 解説① 29 税金① 30 税金② 31 貸借対照表総論【理論】① 32 貸借対照表総論【理論】② 33 税効果会計Ⅰ（基本項目） 34 資産総論Ⅰ【理論】①

授業計画	35	資産総論Ⅰ【理論】②
	36	有価証券Ⅰ
	37	棚卸資産【理論】①
	38	棚卸資産【理論】②
	39	有価証券Ⅱ(その他の有価証券)
	40	棚卸資産【理論】①
	41	棚卸資産【理論】②
	42	社債
	43	固定資産【理論】①
	44	固定資産【理論】②
	45	確認テスト②
	46	確認テスト 解説②
	47	株主資本項目Ⅰ(基本項目)
	48	固定資産【理論】①
	49	固定資産【理論】②
	50	株主資本項目Ⅱ(応用項目Ⅰ)
	51	固定資産【理論】①
	52	固定資産【理論】②
	53	株主資本変動計算書
	54	繰延資産【理論】①
	55	繰延資産【理論】②
	56	現在価値計算
	57	繰延資産【理論】①
	58	繰延資産【理論】②
	59	固定資産Ⅳ(資産除去債務)
	60	負債Ⅰ【理論】①
	61	負債Ⅰ【理論】②
	62	固定資産Ⅴ(減損会計)
	63	負債Ⅰ【理論】①
	64	負債Ⅰ【理論】②
	65	貸倒れⅡ(キャッシュ・フロー見積法)
	66	負債Ⅰ【理論】①
	67	負債Ⅰ【理論】②
	68	外貨建取引Ⅰ
	69	財務諸表論の基礎概念Ⅱ【理論】①
	70	財務諸表論の基礎概念Ⅱ【理論】②
	71	外貨建取引Ⅱ
	72	財務諸表論の基礎概念Ⅱ【理論】①
	73	財務諸表論の基礎概念Ⅱ【理論】②
	74	固定資産Ⅳ(圧縮記帳)
	75	損益計算論【理論】①
	76	損益計算論【理論】②
	77	繰延資産
	78	損益計算論【理論】
	79	確認テスト③
	80	確認テスト 解説③
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	有価証券の減損処理①
	2	有価証券の減損処理②
	3	税効果会計①
	4	税効果会計②
	5	税効果会計③
	6	税効果会計④
	7	現在価値計算①
	8	現在価値計算②
	9	保険金①
	10	保険金②
	11	減損会計①
	12	減損会計②
	13	減損会計③
	14	減損会計④
	15	新株予約権付社債①
	16	新株予約権付社債②
	17	確認テスト①
	18	確認テスト 解説①
	19	確認テスト②
	20	確認テスト 解説②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	財務諸表論Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	２学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	退職給付会計Ⅱ
	2	資産総論Ⅱ【理論】①
	3	資産総論Ⅱ【理論】②
	4	税金Ⅱ（消費税等）
	5	資産総論Ⅱ【理論】①
	6	資産総論Ⅱ【理論】②
	7	棚卸資産Ⅲ
	8	金融商品【理論】①
	9	金融商品【理論】②
	10	外貨建取引Ⅲ（外貨建有価証券）
	11	金融商品【理論】①
	12	金融商品【理論】②
	13	固定資産Ⅶ（リース会計）
	14	金融商品【理論】①
	15	金融商品【理論】②
	16	金融商品応用項目Ⅰ（証券投資信託・ゴルフ会員権）
	17	金融商品【理論】①
	18	金融商品【理論】②
	19	確認テスト①
	20	確認テスト 解説①
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論Ⅲ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	退職給付会計原則法①
	2	退職給付会計原則法②
	3	退職給付会計数理計算上の差異・過去勤務費用
	4	商品売買・売価還元法
	5	外貨建会計の基本的換算方法
	6	為替予約・振当処理・独立処理
	7	ヘッジ会計・ヘッジ取引
	8	ファイナンス・リース取引
	9	オペレーティング・リース取引
	10	試用販売・対照勘定法
	11	試用販売・手許商品区分法
	12	割賦販売・回収基準
	13	割賦販売・回収期限到来基準
	14	小口現金
	15	圧縮記帳・直接減額方式
	16	圧縮記帳・積立金方式
	17	本支店会計①
	18	本支店会計②
	19	本支店会計③
	20	本支店会計④
	21	資産除去債務
	22	未着品販売
	23	委託販売
	24	受託販売
	25	企業結合
	26	共通支配下の取引
	27	事業分離
	28	株式移転
	29	潜在株式
	30	連結会計 連結財務諸表
	31	連結会計 連結修正仕訳
	32	連結会計 持分法
	33	会計上の見積りの変更
	34	減価償却方法の変更

	35	過去の誤謬の訂正
	36	会計方針の変更
	37	製造業会計①
	38	製造業会計②
	39	研究開発費
	40	キャッシュ・フロー計算書(直接法)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	財務諸表論Ⅲ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	8 0 時間
授業回数	4 0 回
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 製造業会計 2 収益性の低下【理論】① 3 収益性の低下【理論】② 4 研究開発費 5 収益性の低下【理論】① 6 収益性の低下【理論】② 7 新株予約権・新株予約権付社債 8 収益性の低下【理論】① 9 収益性の低下【理論】② 10 キャッシュ・フロー計算書 11 リース会計【理論】① 12 リース会計【理論】② 13 リース会計【理論】③ 14 株主資本Ⅲ(応用項目Ⅱ) 15 研究開発費等会計【理論】① 16 研究開発費等会計【理論】② 17 負債 2【理論】① 18 負債 2【理論】② 19 会計上の変更等Ⅰ 20 純資産会計【理論】① 21 純資産会計【理論】② 22 会計上の見積りの変更 23 純資産会計【理論】① 24 純資産会計【理論】② 25 減価償却方法の変更 26 分配可能額 27 税効果会計Ⅲ 28 ストック・オプション会計【理論】① 29 ストック・オプション会計【理論】② 30 連結会計 31 税効果会計【理論】① 32 税効果会計【理論】② 33 税効果会計【理論】③ 34 税効果会計【理論】④

	35	連結会計
	36	退職給付会計Ⅲ
	37	税効果会計【理論】①
	38	税効果会計【理論】②
	39	確認テスト①
	40	確認テスト 解説①
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論Ⅳ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	キャッシュ・フロー見積法
	2	市場販売のソフトウェア①
	3	市場販売のソフトウェア②
	4	確認テスト①
	5	確認テスト 解説①
	6	有価証券の保有目的の変更①
	7	有価証券の保有目的の変更②
	8	有価証券【応用】①
	9	有価証券【応用】②
	10	有価証券【応用】③
	11	新株予約権の取得者側の処理①
	12	新株予約権の取得者側の処理②
	13	新株予約権の取得者側の処理③
	14	繰延資産①
	15	繰延資産②
	16	減価償却①
	17	減価償却②
	18	減価償却③
	19	模擬試験
	20	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	財務諸表論Ⅳ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 固定資産Ⅷ(リース会計Ⅱ) 2 会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】① 3 会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】② 4 外貨建取引Ⅳ 5 財務諸表等規則に基づく財務諸表 6 外貨換算会計【理論】 7 共通支配下の取引 8 株式交換 9 企業結合会計・事業分離会計【理論】① 10 企業結合会計・事業分離会計【理論】② 11 金利スワップ 12 連結財務諸表【理論】① 13 連結財務諸表【理論】② 14 収益認識に関する会計基準 15 過去試験問題 解説① 16 過去試験問題 解説② 17 過去試験問題 解説③ 18 過去試験問題 解説④ 19 模擬試験 20 模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	消費税法 I	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）
	6	非課税①（入門編）
	7	非課税②（入門編）
	8	非課税③（入門編）
	9	非課税④（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）
	15	控除対象仕入税額①（入門編）
	16	控除対象仕入税額②（入門編）
	17	売上げに係る対価の返還等①（入門編）
	18	売上げに係る対価の返還等②（入門編）
	19	貸倒れが生じた場合①（入門編）
	20	貸倒れが生じた場合②（入門編）
	21	課税仕入れの範囲①（入門編）
	22	課税仕入れの範囲②（入門編）
	23	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	24	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	25	課税売上割合①（入門編）
	26	課税売上割合②（入門編）
	27	課税売上割合③（入門編）
	28	課税期間における課税売上高①（入門編）
	29	課税期間における課税売上高②（入門編）
	30	課税期間における課税売上高③（入門編）
	31	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	32	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	33	課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
	34	仕入れに係る対価の返還等①（入門編）

	35	仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
	36	仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
	37	納税義務の免除①（入門編）
	38	納税義務の免除②（入門編）
	39	納税義務の免除③（入門編）
	40	納税義務の免除④（入門編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	消費税法Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	３学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	８０時間	
授業回数	４０回	
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国境を越えた役務の提供①（入門編）
	2	国境を越えた役務の提供②（入門編）
	3	国境を越えた役務の提供③（入門編）
	4	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	5	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	6	課税仕入れ等の分類①（入門編）
	7	課税仕入れ等の分類②（入門編）
	8	課税仕入れ等の分類③（入門編）
	9	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編）
	10	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編）
	11	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編）
	12	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	13	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	14	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
	15	納税義務の免除の特例①（入門編）
	16	納税義務の免除の特例②（入門編）
	17	納税義務の免除の特例③（入門編）
	18	納税義務の免除の特例④（入門編）
	19	納税義務の免除の特例⑤（入門編）
	20	納税義務の免除の特例⑥（入門編）
	21	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	22	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	23	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編）
	24	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	25	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	26	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
	27	課税標準①（入門編）
	28	課税標準②（入門編）
	29	課税標準③（入門編）
	30	簡易課税制度①（入門編）
	31	簡易課税制度②（入門編）
	32	簡易課税制度③（入門編）
	33	簡易課税制度④（入門編）
	34	簡易課税制度⑤（入門編）

	35	簡易課税制度⑥（入門編）
	36	簡易課税制度⑦（入門編）
	37	簡易課税制度⑧（入門編）
	38	簡易課税制度⑨（入門編）
	39	簡易課税制度⑩（入門編）
	40	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	一般常識	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	就職試験に出題される一般常識対策を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	就職模擬試験の出題される知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 数学まとめ問題①（数の計算・式の計算） 2 数学まとめ問題②（方程式・不等式・関数とグラフ） 3 数学まとめ問題③（整数値問題・確率） 4 数学まとめ問題④（図形・文章題） 5 数学まとめ問題⑤（文章題） 6 国語まとめ問題①（語意） 7 国語まとめ問題②（語意） 8 国語まとめ問題③（文法） 9 国語まとめ問題④（長文読解） 10 国語まとめ問題⑤（文学史） 11 英語まとめ問題①（基本単語） 12 英語まとめ問題②（語彙） 13 英語まとめ問題③（基本熟語） 14 英語まとめ問題④（基本文法） 15 英語まとめ問題⑤（ことわざ・会話表現） 16 社会まとめ問題①（地理） 17 社会まとめ問題②（政治） 18 社会まとめ問題③（経済） 19 社会まとめ問題④（日本史） 20 社会まとめ問題⑤（世界史）	
成績評価方法 (試験実施方法)	就職模擬試験100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	電卓技能	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	電卓の操作方法を学び、計算演習を行う	
授業の進め方	電卓と電卓練習用教材を使用した技能演習	
達成目標	数値演算を通じた、計数能力の向上	
教科書	オリジナルテキスト・電卓技能検定協会 電卓技能検定問題集	
特記		
授業計画	1 加減算演習① 2 加減算演習② 3 加減算演習③ 4 乗除算演習① 5 乗除算演習② 6 乗除算演習③ 7 伝票算演習① 8 伝票算演習② 9 伝票算演習③ 10 検定問題演習① 11 検定問題演習② 12 検定問題演習③ 13 検定問題演習④ 14 検定問題演習⑤ 15 検定問題演習⑥ 16 検定問題演習⑦ 17 検定問題演習⑧ 18 検定問題演習⑨ 19 検定問題演習⑩ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	時事対策	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 社会における主要な時事の考え方① 2 社会における主要な時事の考え方② 3 社会における主要な時事の考え方③ 4 社会における主要な時事の考え方④ 5 社会における主要な時事の考え方⑤ 6 社会における主要な時事の考え方⑥ 7 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成① 8 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成② 9 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成③ 10 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成④ 11 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成⑤ 12 旬なテーマに関するニュースの課題シートの作成⑥ 13 旬なテーマに関する考え、意見の発表① 14 旬なテーマに関する考え、意見の発表② 15 旬なテーマに関する考え、意見の発表③ 16 旬なテーマに関する考え、意見の発表④ 17 旬なテーマに対してのディスカッション① 18 旬なテーマに対してのディスカッション② 19 旬なテーマに対してのディスカッション③ 20 旬なテーマに対してのディスカッション④	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	マナー接遇基礎
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期、3 学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	場面にあった言葉遣いやマナーを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	場面に適した言葉遣いやマナーが身につく
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 ガイダンス、マナー接遇について 2 場面による言葉遣いとマナー①（空港） 3 場面による言葉遣いとマナー②（ホテル） 4 場面による言葉遣いとマナー③（レストラン） 5 場面による言葉遣いとマナー④（お店） 6 場面による言葉遣いとマナー⑤（街で） 7 敬語の使い方① 8 敬語の使い方② 9 敬語の使い方③ 10 敬語の使い方④ 11 敬語の使い方⑤ 12 ロールプレイ① 13 ロールプレイ② 14 ロールプレイ③ 15 ロールプレイ④ 16 ロールプレイ⑤ 17 サービススタッフに必要な心掛け 18 サービススタッフに必要な礼儀作法 19 サービススタッフに必要な身だしなみ 20 サービススタッフに必要な一般常識
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い①
	2	学校と職場の違い②
	3	学校と職場の違い③
	4	学校と職場の違い④
	5	職場のマナー①
	6	職場のマナー②
	7	職場のマナー③
	8	職場のマナー④
	9	仕事の進め方①
	10	仕事の進め方②
	11	仕事の進め方③
	12	仕事の進め方④
	13	報告、連絡、相談①
	14	報告、連絡、相談②
	15	報告、連絡、相談③
	16	報告、連絡、相談④
	17	挨拶①
	18	挨拶②
	19	挨拶③
	20	挨拶④
	21	笑顔、お辞儀①
	22	笑顔、お辞儀②
	23	笑顔、お辞儀③
	24	笑顔、お辞儀④
	25	敬語①
	26	敬語②
	27	敬語③
	28	敬語④
	29	応対の基本①
	30	応対の基本②
	31	応対の基本③
	32	応対の基本④
	33	電話応対①

	34	電話応対②
	35	電話応対③
	36	電話応対④
	37	効果測定①
	38	効果測定②
	39	効果測定③
	40	効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	マナー接客応用
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期、3 学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	8 0 時間
授業回数	4 0 回
授業概要	日本でサービスの仕事に従事するのに必要な知識と技術を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	日本でサービスの仕事に従事するのに必要な知識と技術を習得する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 サービススタッフに求められているもの① 3 サービススタッフに求められているもの② 4 ホテルマンに求められるサービス① 5 ホテルマンに求められるサービス② 6 ホテルマンに求められる知識① 7 ホテルマンに求められる知識② 8 ホテルマンに求められる心構え① 9 ホテルマンに求められる心構え② 10 ホテルマンに求められる言葉遣い① 11 ホテルマンに求められる言葉遣い② 12 ホテルマンに求められるマナー① 13 ホテルマンに求められるマナー② 14 ホテルマンに求められる応対① 15 ホテルマンに求められる応対② 16 レストランスタッフに求められるサービス① 17 レストランスタッフに求められるサービス② 18 レストランスタッフに求められる知識① 19 レストランスタッフに求められる知識② 20 レストランスタッフに求められる心構え① 21 レストランスタッフに求められる心構え② 22 レストランスタッフに求められる言葉遣い① 23 レストランスタッフに求められる言葉遣い② 24 レストランスタッフに求められるマナー① 25 レストランスタッフに求められるマナー② 26 レストランスタッフに求められる応対① 27 レストランスタッフに求められる応対② 28 販売スタッフに求められるサービス① 29 販売スタッフに求められるサービス② 30 販売スタッフに求められる知識① 31 販売スタッフに求められる知識② 32 販売スタッフに求められる心構え① 33 販売スタッフに求められる心構え② 34 販売スタッフに求められる言葉遣い① 35 販売スタッフに求められる言葉遣い② 36 販売スタッフに求められるマナー①

	37	販売スタッフに求められるマナー②
	38	販売スタッフに求められる応対①
	39	販売スタッフに求められる応対②
	40	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	8 0 時間	
授業回数	4 0 回	
授業概要	社会で求められる一般的及び応用的なレベルのWORDとEXCEL及びPowerPointの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベル及び応用PCスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	WORDの基本操作①
	2	WORDの基本操作②
	3	WORDの基本操作③
	4	WORDの基本操作④
	5	WORDの基本操作⑤
	6	WORDの応用操作⑥
	7	WORDの応用操作⑦
	8	WORDの応用操作⑧
	9	WORDの応用操作⑨
	10	WORD効果測定
	11	EXCEL基本操作①
	12	EXCEL基本操作②
	13	EXCEL基本操作③
	14	EXCEL基本操作④
	15	EXCEL基本操作⑤
	16	EXCEL応用操作⑥
	17	EXCEL応用操作⑦
	18	EXCEL応用操作⑧
	19	EXCEL応用操作⑨
	20	EXCEL効果測定
	21	パワーポイントの基本操作①
	22	パワーポイントの基本操作②
	23	パワーポイントの基本操作③
	24	パワーポイントの基本操作④
	25	パワーポイントの基本操作⑤
	26	パワーポイントの基本操作⑥
	27	パワーポイントの基本操作⑦
	28	パワーポイントの基本操作⑧
	29	パワーポイントの基本操作⑨
	30	効果測定①
	31	パワーポイントの応用操作①
	32	パワーポイントの応用操作②

	33	パワーポイントの応用操作③
	34	パワーポイントの応用操作④
	35	パワーポイントの応用操作⑤
	36	パワーポイントの応用操作⑥
	37	パワーポイントの応用操作⑦
	38	パワーポイントの応用操作⑧
	39	パワーポイントの応用操作⑨
	40	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	オフィス基礎	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	１学期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	MOSWord試験に合格するための実践知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的なPC実習	
達成目標	MOSWord試験に合格するための実践知識を習得する	
教科書	日経BP社 攻略問題集	
特記		
授業計画	1	文書の書式を設定する
	2	文書のオプションと表示をカスタマイズする
	3	文字列や段落を挿入する
	4	文字列や段落の書式を設定する
	5	表を作成する
	6	リストを作成する
	7	参照のための情報や記号を作成する、管理する
	8	標準の参考資料を作成する、管理する
	9	グラフィック要素を挿入する
	10	SmartArtを挿入する、書式を設定する
	11	模擬試験① 実習・解説
	12	模擬試験② 実習・解説
	13	模擬試験③ 実習・解説
	14	模擬試験④ 実習・解説
	15	模擬試験⑤ 実習・解説
	16	模擬試験⑥ 実習・解説
	17	模擬試験⑦ 実習・解説
	18	模擬試験⑧ 実習・解説
	19	模擬試験⑨ 実習・解説
	20	模擬試験⑩ 実習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	オフィス活用	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期、 3 学期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	MOSExcel試験に合格するための実践知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的なPC実習	
達成目標	MOSExcel試験に合格するための実践知識を習得する	
教科書	日経BP社 攻略問題集	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの書式を設定する
	2	ワークシートやブックのオプションと表示のカスタマイズする
	3	セルやセル範囲にデータを挿入する
	4	セルやセル範囲の書式を設定する
	5	テーブルを作成する、管理する
	6	テーブルのスタイルと設定オプションを管理する
	7	関数を使用してデータを集計する
	8	関数を使用して文字列を整形する、変更する
	9	グラフを作成する
	10	オブジェクトを挿入する、書式を設定する
	11	模擬試験① 実習・解説
	12	模擬試験② 実習・解説
	13	模擬試験③ 実習・解説
	14	模擬試験④ 実習・解説
	15	模擬試験⑤ 実習・解説
	16	模擬試験⑥ 実習・解説
	17	模擬試験⑦ 実習・解説
	18	模擬試験⑧ 実習・解説
	19	模擬試験⑨ 実習・解説
	20	模擬試験⑩ 実習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基本情報総合
実務家教員	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	8 0 時間
授業回数	4 0 回
授業概要	プログラムの設計や開発、運用、保守をするために必要な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義
達成目標	高度IT人材として必要な実践的な活用能力の習得をする
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 総合問題演習（アルゴリズム①） 2 総合問題演習（アルゴリズム②） 3 総合問題演習（アルゴリズム③） 4 総合問題演習（C A S L Ⅱ ①） 5 総合問題演習（C A S L Ⅱ ②） 6 総合問題演習（C A S L Ⅱ ③） 7 総合問題演習（ハードウェア・ソフトウェア①） 8 総合問題演習（ハードウェア・ソフトウェア②） 9 総合問題演習（ハードウェア・ソフトウェア③） 10 総合問題演習（データベース①） 11 総合問題演習（データベース②） 12 総合問題演習（データベース③） 13 総合問題演習（ネットワーク①） 14 総合問題演習（ネットワーク②） 15 総合問題演習（ネットワーク③） 16 総合問題演習（セキュリティ①） 17 総合問題演習（セキュリティ②） 18 総合問題演習（セキュリティ③） 19 総合問題演習（ソフトウェア設計①） 20 総合問題演習（ソフトウェア設計②） 21 総合問題演習（ソフトウェア設計③） 22 総合問題演習（まとめ） 23 過去問題演習① 24 過去問題演習①（問題解説） 25 過去問題演習② 26 過去問題演習②（問題解説） 27 過去問題演習③ 28 過去問題演習③（問題解説） 29 過去問題演習④ 30 過去問題演習④（問題解説） 31 模擬試験問題① 32 模擬試験問題①（問題解説） 33 模擬試験問題② 34 模擬試験問題②（問題解説） 35 模擬試験問題③ 36 模擬試験問題③（問題解説） 37 直前対策問題演習① 38 直前対策問題演習①（問題解説）

	39	直前対策問題演習②
	40	直前対策問題演習②（問題解説）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%　模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ソフトウェア総合
実務家教員	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	８０時間
授業回数	４０回
授業概要	プログラムの設計や開発、運用、保守をするために必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	Java本格入門
特記	
授業計画	１ Javaの復習 ２ クラスの作成 ３ 配列とコレクションを極める① ４ 配列とコレクションを極める② ５ 配列とコレクションを極める③ ６ 配列とコレクションを極める④ ７ ストリーム処理を使いこなす① ８ ストリーム処理を使いこなす② ９ ストリーム処理を使いこなす③ １０ ストリーム処理を使いこなす④ １１ ストリーム処理を使いこなす⑤ １２ ストリーム処理を使いこなす⑥ １３ 復習① １４ 効果測定① １５ 例外を極める① １６ 例外を極める② １７ 文字列操作を極める① １８ 文字列操作を極める② １９ 文字列操作を極める③ ２０ 文字列操作を極める④ ２１ ファイル操作を極める① ２２ ファイル操作を極める② ２３ ファイル操作を極める③ ２４ ファイル操作を極める④ ２５ 復習② ２６ 効果測定② ２７ 日付処理を極める① ２８ 日付処理を極める② ２９ オブジェクト指向をたしなむ① ３０ オブジェクト指向をたしなむ② ３１ オブジェクト指向をたしなむ③ ３２ オブジェクト指向をたしなむ④ ３３ オブジェクト指向をたしなむ⑤ ３４ オブジェクト指向をたしなむ⑥ ３５ オブジェクト指向をたしなむ⑦ ３６ オブジェクト指向をたしなむ⑧ ３７ オブジェクト指向をたしなむ⑨ ３８ オブジェクト指向をたしなむ⑩

	39	復習③
	40	効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プログラム言語実習 I
実務家教員	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	Webシステム開発に必要なHTML5&CSS3に関する知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする
教科書	インプレス いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本
特記	
授業計画	1 Webサイトを作成する準備 2 HTMLの基本構造を知る、タグの基本的な書き方を知る 3 HTMLを書いてみよう 4 完成形をイメージする、ページの骨組みを作成する 5 メインエリアとパンくずリストを作成する 6 共通ページをもとにしてトップページを作成する 7 お問い合わせフォームを作成する。 8 効果測定① 9 CSSとは、CSSの基本構造を知る、セレクトタについて理解する 10 スタイルの継承について、文字の書式を設定するプロパティを知る 11 Webページの主なレイアウトパターンを知る 12 ディスプレイを利用したレイアウト方法を理解する 13 CSSを書いてみよう 14 ボーダーと背景でメインコンテンツの見出しを装飾する 15 フロートを利用してグローバルナビゲーションを整える 16 ボーダーと背景設定を組み合わせでサイドバー内を整える 17 疑似要素を使ってパンくずリストを整える 18 トップページのデザインを整える 19 ギャラリーの写真を格子状に並べる 20 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プログラム言語実習Ⅱ	
実務家教員	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	１学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	Webシステム開発に必要なJavaScriptに関する知識を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする	
教科書	SBクリエイティブ 徹底マスターJavaScriptの教科書	
特記		
授業計画	1	JavaScriptの概要
	2	プログラムの実行方法と書き方
	3	変数と値
	4	オブジェクト・配列・関数の基礎
	5	式と演算子
	6	Webブラウザでの入出力
	7	制御構文
	8	関数
	9	効果測定①
	10	オブジェクト
	11	配列のより詳しい機能
	12	正規表現
	13	Webブラウザのオブジェクト
	14	ドキュメントの制御
	15	イベント処理
	16	HTTPの制御(Ajax)
	17	MVCモデルによるプログラムの設計
	18	コンストラクタとクラス構文
	19	APIの活用
	20	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％ 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	システム開発 I	
実務家教員	-	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び実習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる	
教科書	詳細！PHP 7 +MySQL 入門ノート	
特記		
授業計画	1	PHPの概要と準備
	2	変数
	3	演算子
	4	制御構造・分岐文
	5	制御構造・繰り返し文
	6	関数
	7	文字列操作
	8	配列
	9	効果測定①
	10	オブジェクト指向プログラミング
	11	フォーム処理の基本
	12	各種フォームの使用
	13	セッションとクッキー
	14	効果測定②
	15	ファイルの読み込みと書き出し
	16	phpMyAdminを使う
	17	MySQLを操作する
	18	総合演習①
	19	総合演習②
	20	効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プレゼンテーション概論	
実務家教員	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	プレゼンテーションにおける、発表のスキルを習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	パワーポイント実習①
	2	パワーポイント実習②
	3	全体の構成を考える
	4	ストーリーの検討
	5	論理展開の研究
	6	資料収集①
	7	資料収集②
	8	パワーポイントデータ作成①
	9	パワーポイントデータ作成②
	10	「伝える」ことの意味
	11	印象
	12	話し方の基本ルール
	13	アイコンタクトの基本ルール
	14	ボディランゲージの基本ルール
	15	質問に対する正しい答え方
	16	プレゼンテーション実演①
	17	プレゼンテーション実演②
	18	プレゼンテーション実演③
	19	プレゼンテーション実演④
	20	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	カラーコーディネート基礎知識	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	色彩学の基本的な知識を多面的に学び、生活や表現場面において色彩活用できる力を養う	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	カラーコーディネーター検定3級	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	色の成り立ち
	3	光と物体の色
	4	色彩の働き
	5	色の性質
	6	色の表示
	7	色彩調和
	8	照明
	9	インテリア
	10	ファッション
	11	色の心理的効果
	12	色の視覚的効果
	13	カラーコーディネート①
	14	カラーコーディネート②
	15	カラーコーディネート③
	16	配色演習①
	17	配色演習②
	18	配色演習③
	19	配色演習④
	20	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	アプリケーションソフト実習	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	Word、Excelの基本的な機能や操作方法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	基本的かつ総合的なWord、Excelのスキルの養成を目的とする	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 ワークシートやブックの作成、移動、書式設定 2 ワークシートやブックのオプションと表示のカスタマイズ 3 配布するためのワークシートやブックの設定 4 セルやセル範囲にデータを挿入、セルやセル範囲の書式を設定 5 テーブルの作成、管理、スタイルと設定オプションの管理 6 関数を使用したデータの集計 7 関数を使用した条件付計算の実行 8 関数を使用した文字列の整形、変更 9 グラフの作成、グラフの書式設定 10 オブジェクトを挿入する、書式を設定する 11 文書の作成、移動、書式設定 12 文書のオプションと表示をカスタマイズ 13 文書の印刷、保存 14 文字列や段落の挿入、書式設定 15 文字列や段落の書式設定、並び替え、グループ化 16 表を作成する、表を変更する 17 参照のための情報や記号の作成、管理 18 標準の参考資料の作成、管理 19 グラフィック要素の挿入、書式設定 20 SmartArtの挿入、書式設定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	金融商品論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	F P の知識習得を目的とする。 F P で利用される金融資産および運用方法 について学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	FP 3 級試験合格のために必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 FPとライフプランニング① 2 FPとライフプランニング② 3 FPとライフプランニング③ 4 社会保険① 5 社会保険② 6 社会保険③ 7 公的年金制度① 8 公的年金制度② 9 ライフプランニングの考え方① 10 ライフプランニングの考え方② 11 リスクマネジメント① 12 リスクマネジメント② 13 保険制度全般生命保険の概略① 14 保険制度全般生命保険の概略② 15 問題演習① 16 問題演習② 17 問題演習③ 18 問題演習④ 19 問題演習⑤ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験80％ 出席点20％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	金融概論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	F P の知識習得を目的とする。 F P の関連法規、ライフプランニング策定 や資金計画について学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	FP 3 級試験合格のために必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	損害保険の概略①
	2	損害保険の概略②
	3	損害保険の概略③
	4	個人の契約に関する税金①
	5	個人の契約に関する税金②
	6	個人の契約に関する税金③
	7	債券①
	8	債券②
	9	投資信託①
	10	投資信託②
	11	外貨建商品①
	12	外貨建商品②
	13	金融商品と税金①
	14	金融商品と税金②
	15	問題演習①
	16	問題演習②
	17	問題演習③
	18	問題演習④
	19	問題演習⑤
	20	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験80% 出席点20% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	所得税法基礎論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	１学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	ＦＰの知識習得を目的とする。 所得税を中心とした税法の仕組みやタックスプランニングについて学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	FP３級試験合格のために必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 所得税の仕組み① 2 所得税の仕組み② 3 所得税の仕組み③ 4 各種所得の内容① 5 各種所得の内容② 6 各種所得の内容③ 7 所得控除① 8 所得控除② 9 確定申告① 10 確定申告② 11 不動産の見方① 12 不動産の見方② 13 不動産の取引① 14 不動産の取引② 15 問題演習① 16 問題演習② 17 問題演習③ 18 問題演習④ 19 問題演習⑤ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験80％ 出席点20％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	社会保険基礎論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	F P の知識習得を目的とする。 F P で利用される社会保険、公的年金、企 業年金並びに一般の生命保険、損害保険に ついて学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	FP 3 級試験合格のために必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 不動産に関する法令上の制限 1 2 不動産にかかる税金 3 相続と法律 4 贈与と法律 5 相続と税金 6 財産の評価 7 問題演習① 8 問題演習② 9 問題演習③ 10 問題演習④ 11 問題演習⑤ 12 過去問題演習① 13 過去問題演習② 14 過去問題演習③ 15 過去問題演習④ 16 過去問題演習⑤ 17 過去問題演習⑥ 18 過去問題演習⑦ 19 過去問題演習⑧ 20 模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験80% 出席点20% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	運動対象者に対して身体活動・運動が心身に与える影響について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツにおける心理学的基礎範囲の内容を理解させる
教科書	JATI トレーニング指導者テキスト【理論編】
特記	
授業計画	1 運動と心理に関する基礎理論① 2 運動と心理に関する基礎理論② 3 運動と心理に関する基礎理論③ 4 運動やスポーツと心理面のかかわり 5 発育発達に関する心理的側面 6 心理面を考慮した指導法 7 選手のメンタル面の強化 8 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法① 9 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法② 10 選手のやる気を高める方法 11 スポーツ技能を向上させるための心理面 12 チームワークや人間関係に関する心理的側面 13 スポーツ障害と心理的側面 14 心理的サポートとメンタルトレーニング 15 練習前の心理的準備 16 試合に向けた心理的準備 17 イメージトレーニング 18 スポーツ選手の競技力向上への活用① 19 スポーツ選手の競技力向上への活用② 20 スポーツ選手の競技力向上への活用③
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康管理概論
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	８０時間
授業回数	４０回
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況とおよび高齢化の現状を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康づくり施策概論の範囲の内容を理解させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 健康と健康増進の概念、わが国の現状と健康づくり施策① - わが国の現状と健康づくり施策② - 生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について - メディカルチェック - 体力の概念① - 体力の概念② - 体力の要素と体力モデル① - 体力の要素と体力モデル② - 体力の個人特性、一般的体力と専門的体力、体力トレーニング - 健康の維持増進、健康づくりのためのトレーニングの原則 - 健康づくりのための運動プログラム基礎 - ウォーミングアップとクーリングダウン、有酸素運動とその効果 - レジスタンス運動 - 健康づくり施策概論① - 健康づくり施策概論② - 健康づくり施策概論③ - 健康づくりと運動プログラム① - 健康づくりと運動プログラム② - 運動指導の心理学的基礎① - 運動指導の心理学的基礎② - 健康づくり運動の実際① ウォームアップとクールダウン、ストレッチング - 健康づくり運動の実際② ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス - 健康づくり運動の実際③ 水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ - 運動障害と予防・救急処置① - 運動障害と予防・救急処置② - 健康日本21 - 成人の死因と青少年の死因 - 生活習慣病とその予防 - 生活習慣病の治療方法 - 生活習慣病の食事療法 - 生活習慣病の運動療法 - 生活習慣病① 高血圧

	33 生活習慣病② 脂質異常症 34 生活習慣病③ 動脈硬化性心血管障害 35 健康長寿を目指す食生活指導 36 健康長寿を目指す運動指導 37 特定検診・保健指導 38 健康に影響を及ぼす心理的要因 39 青少年の心理的ケア 40 高齢者の心理的ケア
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ指導論
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	８０時間
授業回数	４０回
授業概要	スポーツ指導における指導者の役割及びトレーニング立案を立てる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	トレーニング計画・立案・測定の知識を得る
教科書	JATIトレーニング指導者テキスト【実践編】
特記	
授業計画	１ トレーニング指導者とは ２ 国内のトレーニング指導者に対するニーズ ３ トレーニング指導者の役割と業務 ４ 競技スポーツ分野における状況に応じた活動 ５ トレーニング指導者の資質 ６ トレーニング指導者が身につけるべき能力 ７ トレーニング指導者の行動と倫理 ８ 各種トレーニング法の理論とプログラム ９ トレーニング計画の立案① １０ トレーニング計画の立案② １１ トレーニング計画の立案③ １２ トレーニング計画の立案④ １３ トレーニングの原理と原則 １４ トレーニング計画の立案 １５ ピリオダイゼーション １６ 筋力トレーニングの効果 １７ 筋力トレーニングのプログラムの条件設定 １８ 筋力トレーニングのプログラム作成① １９ 筋力トレーニングのプログラム作成② ２０ 筋力トレーニングのプログラム作成③ ２１ 筋力トレーニングのプログラム作成④ ２２ 持久力に関する基礎理論 ２３ 有酸素性持久力向上トレーニングに対する基本的な適応 ２４ 無酸素性持久力向上トレーニングに対する基本的な適応 ２５ 持久力に関する基礎理論向上トレーニングプログラム作成① ２６ 持久力に関する基礎理論向上トレーニングプログラム作成② ２７ 持久力に関する基礎理論向上トレーニングプログラム作成③ ２８ 持久力に関する基礎理論向上トレーニングプログラム作成④ ２９ 各種トレーニング法の理論とプログラム① ３０ 各種トレーニング法の理論とプログラム② ３１ 各種トレーニング法の理論とプログラム③ ３２ 各種トレーニング法の理論とプログラム④

	33	各種トレーニング法の理論とプログラム⑤
	34	各種トレーニング法の実際①
	35	各種トレーニング法の実際②
	36	各種トレーニング法の実際③
	37	各種トレーニング法の実際④
	38	トレーニング効果の測定と評価①
	39	トレーニング効果の測定と評価②
	40	トレーニングの運営と情報収集と活用
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ運動学
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	80時間
授業回数	40回
授業概要	問題演習を通じ解剖学・生理学・栄養学・心理学を学び、トレーニングプログラム作成する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ運動学における幅広い知識の習得
教科書	JATIトレーニング指導者テキスト【実践編】・【理論編】
特記	
授業計画	1 スポーツ解剖学① 機能解剖上肢・下肢 骨 2 スポーツ解剖学② 機能解剖上肢・下肢 筋肉 3 スポーツ解剖学③ 機能解剖脊柱・胸郭 骨 4 スポーツ解剖学④ 機能解剖脊柱・胸郭 筋肉 5 スポーツ生理学① 運動と呼吸循環器系 6 スポーツ生理学② トレーニングと呼吸循環器系 7 スポーツ生理学③ 運動とエネルギー代謝 8 スポーツ生理学④ トレーニングとエネルギー代謝 9 スポーツ栄養学① 栄養素の吸収について 10 スポーツ栄養学② 栄養素の機能と代謝 11 スポーツ栄養学③ スポーツ選手の栄養教育 12 スポーツ栄養学④ スポーツ選手の食事教育 13 スポーツ心理学① メンタルトレーニングの方法 14 スポーツ心理学② スポーツ障害と心理 15 スポーツ心理学③ スポーツとメンタルヘルス 16 トレーニングプログラム基礎の確認 17 筋力強化のプログラム作成応用①（特殊なセットの組み方） 18 筋力強化のプログラム作成応用②（特殊なトレーニングシステム） 19 パワー向上のプログラム作成応用①（反動動作における生理学的基礎） 20 パワー向上のプログラム作成応用②（プライオメトリクスの変数） 21 パワー向上のプログラム作成応用③（長期的な計画） 22 パワー向上のプログラム作成応用④（フィットネス分野のトレーニング） 23 持久力向上のプログラム作成応用①（プログラム作成の基本） 24 持久力向上のプログラム作成応用②（プログラム作成の実際） 25 スピード向上のプログラム作成応用①（アジリティの強化） 26 スピード向上のプログラム作成応用②（オープンスキルアジリティの強化） 27 スピード向上のプログラム作成応用③（プログラムデザイン、変数） 28 柔軟性向上のプログラム作成応用（ストレッチングとスポーツ傷害） 29 特別な対象のためのプログラム作成①（メタボリックシンドロームとは） 30 特別な対象のためのプログラム作成②（内臓脂肪型肥満に対するプログラム） 31 特別な対象のためのプログラム作成③（2型糖尿病に対するプログラム） 32 特別な対象のためのプログラム作成④（脂質異常症に対するプログラム）

	33 特別な対象のためのプログラム作成⑤（高血圧症に対するプログラム） 34 特別な対象のためのプログラム作成⑥（高齢者に対するプログラム） 35 特別な対象のためのプログラム作成⑦（妊婦に対するプログラム） 36 特別な対象のためのプログラム作成⑧（子供に対するプログラム） 37 アスレティックリハビリテーション概論 38 アスリハにおける評価 39 アスリハのプログラム作成①（治癒過程、物理療法等の理解） 40 アスリハのプログラム作成②（各種強化訓練）
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験（筆記：100点満点）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般トレーニング実技
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	80時間
授業回数	40回
授業概要	トレーニングプログラム作成及び実習を通じてトレーニングの知識向上を図る
授業の進め方	動作と指導練習により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	トレーニング知識向上と実技スキルの向上
教科書	JATIトレーニング指導者テキスト【実践編】
特記	
授業計画	1 マシントレーニングの特性・安全性 2 ストレッチングの効果・留意点 3 レジスタンストレーニング総論① 4 レジスタンストレーニング総論② 5 ウェイトトレーニング各論①（主要トレーニング） 6 ウェイトトレーニング各論②（補助トレーニング） 7 ピリオダイゼーションとは 8 ピリオダイゼーションの実際 9 トレーニング計画①：トレーニング計画の立案 10 トレーニング計画②：トレーニング計画の実践 11 トレーニング計画③：トレーニング計画の改善・修正 12 トレーニング計画④：トレーニング計画の立案・実践 13 トレーニング計画⑤：トレーニング計画の改善・修正 14 トレーニング評価 15 トレーニングの基礎・原理・準備について学ぶ 16 パワーポイント・スティッキングポイントの理解 17 マシントレーニングの特性について学ぶ 18 マシントレーニング 1RM測定方法・最大拳上回数と安全性について学ぶ 19 ストレッチングの効果と留意点 20 フリーウェイトトレーニングのトレーニング原理について学ぶ 21 フリーウェイトトレーニング 関節可動域の理解を学ぶ 22 レジスタンストレーニング① 骨格筋の構造 23 レジスタンストレーニング② 筋収縮メカニズム 24 ピリオダイゼーションのトレーニング原理について学ぶ 25 サーキットトレーニングのトレーニング原理について学ぶ 26 体力の分類やフィジカルテストの評価を学ぶ 27 トレーニングの計画方法について学ぶ 28 トレーニングの計画から実践 29 トレーニングの計画の改善・修正 30 トレーニング実践 持久力向上トレーニング 31 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成① 32 トレーニング実践 持久力向上トレーニングのプログラム作成②

	33 トレーニング実践 スピード向上トレーニング 34 トレーニング実践 スピード向上トレーニングのプログラム作成① 35 トレーニング実践 スピード向上トレーニングのプログラム作成② 36 ストレッチングの理論と実際 柔軟性向上トレーニング 37 ストレッチングの理論と実際 柔軟性向上トレーニングのプログラム作成① 38 ストレッチングの理論と実際 柔軟性向上トレーニングのプログラム作成② 39 一般トレーニング実技まとめ① 40 一般トレーニング実技まとめ②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ実習Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	３学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	フィットネスに必要な実技スキルを身に着ける	
授業の進め方	動作と指導練習により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	トレーニング指導及び、グループエクササイズ指導を実践的に行う	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	レジスタンスエクササイズ応用実践①
	2	レジスタンスエクササイズ応用実践②
	3	レジスタンスエクササイズ応用実践③
	4	レジスタンスエクササイズ応用実践④
	5	エアロビックダンス応用実践①
	6	エアロビックダンス応用実践②
	7	エアロビックダンス応用実践③
	8	エアロビックダンス応用実践④
	9	パワー向上トレーニング応用実践①
	10	パワー向上トレーニング応用実践②
	11	パワー向上トレーニング応用実践③
	12	パワー向上トレーニング応用実践④
	13	スタジオエクササイズ応用実践①
	14	スタジオエクササイズ応用実践②
	15	スタジオエクササイズ応用実践③
	16	スタジオエクササイズ応用実践④
	17	フリーウェイトトレーニング応用実践①
	18	フリーウェイトトレーニング応用実践②
	19	フリーウェイトトレーニング応用実践③
	20	フリーウェイトトレーニング応用実践④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	簿記論Ⅰ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 簿記の概要Ⅰ ２ 現金 ３ 現金過不足 ４ 当座預金 ５ 当座借越 ６ 債権債務 ７ 手形・手形の割引・裏書き ８ 電子記録債権・クレジット売掛金 ９ 商品売買・三分法 10 商品売買・売上原価計上法 11 商品売買・分記法 12 商品売買・総記法 13 商品売買・原価率・利益率・返品・値引・割戻 14 仕入・売上の計上基準 15 減価償却 16 除却・売却・買換 17 無形固定資産 18 ソフトウェア 19 貸倒損失・貸倒引当金 20 給料・賞与 21 法人税等・租税公課 22 消費税等 23 確認テスト１ 24 確認テスト１ 解説 25 資本金・資本準備金 26 自己株式・新株予約権 27 退職給付会計簡便法 28 償却原価法利息法・定額法 29 社債の買入償還 30 確認テスト２ 31 確認テスト２ 解説 32 退職給付会計原則法 33 退職給付会計数理計算上の差異・過去勤務費用 34 商品売買・売価還元法

授業計画	35	外貨建会計の基本的換算方法
	36	為替予約・振当処理・独立処理
	37	ヘッジ会計・ヘッジ取引
	38	ファイナンス・リース取引
	39	オペレーティング・リース取引
	40	試用販売・対照勘定法
	41	試用販売・手許商品区分法
	42	割賦販売・回収基準
	43	割賦販売・回収期限到来基準
	44	小口現金
	45	圧縮記帳・直接減額方式
	46	圧縮記帳・積立金方式
	47	本支店会計
	48	本支店会計
	49	本支店会計
	50	本支店会計
	51	資産除去債務
	52	未着品販売
	53	委託販売
	54	受託販売
	55	企業結合
	56	共通支配下の取引
	57	事業分離
	58	確認テスト3
	59	確認テスト3 解説
	60	連結会計
	61	連結会計
	62	連結会計
	63	会計上の見積りの変更
	64	減価償却方法の変更
	65	過去の誤謬の訂正
	66	会計方針の変更
	67	製造業会計
	68	製造業会計
	69	研究開発費
	70	キャッシュ・フロー計算書(直接法)
	71	キャッシュ・フロー見積法
	72	市場販売のソフトウェア
	73	市場販売のソフトウェア
	74	市場販売のソフトウェア
	75	有価証券の保有目的の変更
	76	新株予約権の取得者側の処理
	77	繰延資産
	78	減価償却
	79	土地再評価差額金
	80	連結会計・持分法
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	財務諸表論Ⅰ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 財務諸表作成の基礎Ⅰ ２ 現金及び預金 ３ 債権債務 ４ 財務諸表論の基礎概念Ⅰ【理論】 ５ 棚卸資産Ⅰ（売上原価の算定） ６ 棚卸資産Ⅱ（返品、値引、割戻、割引） ７ 一般原則【理論】 ８ 固定資産Ⅰ（有形固定資産） ９ 固定資産Ⅱ（無形固定資産） １０ 固定資産Ⅲ（ソフトウェア） １１ 一般原則【理論】 １２ 貸倒れⅠ １３ 損益計算総論【理論】 １４ 給料等 １５ 損益計算総論【理論】 １６ 退職給付会計Ⅰ １７ 損益計算各論【理論】 １８ その他の引当金 １９ 損益計算各論【理論】 ２０ 確認テスト１ ２１ 確認テスト１ 解説 ２２ 税金Ⅰ ２３ 貸借対照表総論【理論】 ２４ 税効果会計Ⅰ（基本項目） ２５ 資産総論Ⅰ【理論】 ２６ 有価証券Ⅰ ２７ 棚卸資産【理論】 ２８ 有価証券Ⅱ（その他有価証券） ２９ 棚卸資産【理論】 ３０ 社債 ３１ 固定資産【理論】 ３２ 確認テスト２ ３３ 確認テスト２ 解説 ３４ 株主資本項目Ⅰ（基本項目）

授業計画	35	固定資産【理論】
	36	株主資本項目Ⅱ(応用項目Ⅰ)
	37	固定資産【理論】
	38	株主資本変動計算書
	39	繰延資産【理論】
	40	現在価値計算
	41	繰延資産【理論】
	42	固定資産Ⅳ(資産除去債務)
	43	負債Ⅰ【理論】
	44	固定資産Ⅴ(減損会計)
	45	負債Ⅰ【理論】
	46	貸倒れⅡ(キャッシュ・フロー見積法)
	47	負債Ⅰ【理論】
	48	確認テスト3
	49	確認テスト3 解説
	50	外貨建取引Ⅰ
	51	財務諸表論の基礎概念2【理論】
	52	外貨建取引Ⅱ
	53	財務諸表論の基礎概念2【理論】
	54	固定資産Ⅳ(圧縮記帳)
	55	損益計算論【理論】
	56	繰延資産
	57	損益計算論【理論】
	58	退職給付会計Ⅱ
	59	資産総論Ⅱ【理論】
	60	税金Ⅱ(消費税等)
	61	資産総論Ⅱ【理論】
	62	確認テスト4
	63	確認テスト4 解説
	64	棚卸資産Ⅲ
	65	金融商品【理論】
	66	外貨建取引Ⅲ(外貨建有価証券)
	67	金融商品【理論】
	68	固定資産Ⅶ(リース会計)
	69	金融商品【理論】
	70	金融商品応用項目Ⅰ(証券投資信託・ゴルフ会員権)
	71	金融商品【理論】
	72	確認テスト5
	73	確認テスト5 解説
	74	製造業会計
	75	収益性の低下【理論】
	76	研究開発費
	77	収益性の低下【理論】
	78	新株予約権・新株予約権付社債
	79	収益性の低下【理論】
	80	キャッシュ・フロー計算書
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	消費税法Ⅰ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験消費税法の学習を始める為の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に学習を始める為基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 消費税法の概要① ２ 消費税法の概要② ３ 消費税法の概要③ ４ 課税の対象① ５ 課税の対象② ６ 課税の対象③ ７ 課税の対象【理論】① ８ 課税の対象【理論】② ９ 課税の対象【理論】③ １０ 課税の対象【理論】④ １１ 非課税① １２ 非課税② １３ 非課税③ １４ 非課税【理論】① １５ 非課税【理論】② １６ 非課税【理論】③ １７ 非課税【理論】④ １８ 輸出取引等① １９ 輸出取引等② ２０ 輸出取引等③ ２１ 輸出取引等【理論】① ２２ 輸出取引等【理論】② ２３ 輸出取引等【理論】③ ２４ 輸出取引等【理論】④ ２５ 輸出物品販売場における免税【理論】① ２６ 輸出物品販売場における免税【理論】② ２７ 輸出物品販売場における免税【理論】③ ２８ 輸出物品販売場における免税【理論】④ ２９ 租税特別措置法における免税① ３０ 租税特別措置法における免税② ３１ 租税特別措置法における免税③ ３２ 租税特別措置法における免税④ ３３ 資産の譲渡等の時期① ３４ 資産の譲渡等の時期②

授業計画	35	資産の譲渡等の時期③
	36	国内取引の判定【理論】①
	37	国内取引の判定【理論】②
	38	控除対象仕入税額(その1)①
	39	控除対象仕入税額(その1)②
	40	控除対象仕入税額(その1)③
	41	仕入れに係る消費税額の控除【理論】①
	42	仕入れに係る消費税額の控除【理論】②
	43	売上げに係る対価の返還等①
	44	売上げに係る対価の返還等②
	45	売上げに係る対価の返還等③
	46	売上げに係る対価の返還等【理論】①
	47	売上げに係る対価の返還等【理論】②
	48	貸倒れが生じた場合①
	49	貸倒れが生じた場合②
	50	貸倒れが生じた場合③
	51	貸倒れが生じた場合【理論】①
	52	貸倒れが生じた場合【理論】②
	53	課税仕入れの範囲・課税仕入れ等の時期①
	54	課税仕入れの範囲・課税仕入れ等の時期②
	55	課税仕入れの範囲・課税仕入れ等の時期③
	56	課税売上割合①
	57	課税売上割合②
	58	課税売上割合③
	59	課税売上割合④
	60	課税売上割合【理論】①
	61	課税売上割合【理論】②
	62	課税売上割合に準ずる割合①
	63	課税売上割合に準ずる割合②
	64	課税売上割合に準ずる割合③
	65	控除対象仕入税額(その2)①
	66	控除対象仕入税額(その2)②
	67	控除対象仕入税額(その2)③
	68	仕入れに係る対価の返還等①
	69	仕入れに係る対価の返還等②
	70	仕入れに係る対価の返還等③
	71	仕入れに係る対価の返還等【理論】①
	72	仕入れに係る対価の返還等【理論】②
	73	仕入れに係る対価の返還等【理論】③
	74	納税義務の免除①
	75	納税義務の免除②
	76	納税義務の免除③
	77	納税義務の免除【理論】①
	78	納税義務の免除【理論】②
	79	模擬試験
	80	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	相続税法 I
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	1 6 0 時間
授業回数	8 0 回
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	1 純農地 2 中間農地 3 市街地周辺農地 4 市街地農地 5 平坦地 6 純山林 7 中間山林 8 市街地山林 9 立木 10 立木の評価減 11 自家用家屋 12 貸家 13 建築中の家屋 14 利用区分が異なる建物 15 増改築があった場合 16 構築物 17 一般動産 18 棚卸資産 19 書画骨董品 20 預貯金 21 貸付金債権 22 受取手形等 23 利付公社債 24 割引発行の公社債 25 証券投資信託受益証券 26 ゴルフ会員権 27 不動産投資信託 28 上場株式 29 権利に関する権利 30 確認テスト 4 31 確認テスト 4 解説 32 応用理論・みなし取得財産 33 応用理論・みなし取得財産 34 応用理論・みなし取得財産

授業計画	35	応用理論・みなし取得財産
	36	応用理論・みなし取得財産
	37	応用理論・みなし取得財産
	38	応用理論・みなし取得財産
	39	応用理論・みなし取得財産
	40	応用理論・対象者
	41	応用理論・対象者
	42	応用理論・対象者
	43	応用理論・対象者
	44	応用理論・対象者
	45	応用理論・対象者
	46	応用理論・対象者
	47	応用理論・対象者
	48	応用理論・対象者
	49	応用理論・対象者
	50	応用理論・対象者
	51	応用理論・不動産
	52	応用理論・不動産
	53	応用理論・不動産
	54	応用理論・不動産
	55	応用理論・不動産
	56	応用理論・不動産
	57	応用理論・不動産
	58	応用理論・不動産
	59	応用理論・不動産
	60	確認テスト5
	61	確認テスト5 解説
	62	取引相場のない株式
	63	評価方式・原則的評価方式
	64	特例的評価方式
	65	評価方法の判定
	66	類似業種比準価額
	67	評価会社の比準要素の判定
	68	類似業種の選択方法
	69	純資産価額の算定方法
	70	純資産価額計算上の資産及び負債の判定方法
	71	評価会社が退職手当金等を取得した場合
	72	同族会社が有する取引相場のない株式の純資産価額の計算
	73	評価会社が生命保険金等を取得した場合
	74	同族会社に対して土地を相当の地代により貸し付けている場合
	75	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合
	76	評価会社が課税時期において仮決算を行っていない場合
	77	配当還元価額の算定方法
	78	その株式に係る年配当金額の算定方法
	79	類似業種比重価額の修正
	80	配当期待権が発生している株式の価額の修正
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	法人税法Ⅰ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 保険差益 ２ 保険差益 ３ 交換差益 ４ 交換差益 ５ 収用等 ６ 収用等 ７ 特定資産の買い換え ８ 欠損金 ９ 欠損金 10 リース資産 11 リース資産 12 資本等取引 13 資本等取引 14 別表五の作成 15 別表五の作成 16 別表五の作成 17 別表五の作成 18 別表五の作成 19 別表五の作成 20 外国税額控除 21 外国税額控除 22 外国子会社配当等の益金不算入 23 外国子会社配当等の益金不算入 24 リース譲渡に係る収益及び費用の帰属事業年度の特例【理論】 25 リース譲渡に係る収益及び費用の帰属事業年度の特例【理論】 26 配当等の額とみなす金額【理論】 27 外国子会社から受ける配当等の益金不算入【理論】 28 外国子会社から受ける配当等の益金不算入【理論】 29 同族会社の意義【理論】 30 役員の意義【理論】 31 使用人兼務役員の意義【理論】 32 役員給与の損金不算入【理論】 33 使用人給与の損金不算入【理論】 34 使用人賞与の損金算入時期【理論】

授業計画	35	寄付金の損金不算入【理論】
	36	寄付金の損金不算入【理論】
	37	交際費等の課税の特例【理論】
	38	交際費等の課税の特例【理論】
	39	租税公課等の取り扱い【理論】
	40	租税公課等の取り扱い【理論】
	41	不正行為に係る費用の取り扱い
	42	不正行為に係る費用の取り扱い
	43	確認テスト3
	44	確認テスト3 解説
	45	ガイダンス
	46	受取配当等の益金不算入
	47	みなし配当金
	48	資産の評価損益
	49	資産の評価損益
	50	寄付金の損金不算入
	51	寄付金の損金不算入
	52	租税公課等の取り扱い
	53	租税公課等の取り扱い
	54	納税充当金
	55	納税充当金
	56	収用等
	57	収用等
	58	欠損金
	59	欠損金
	60	有価証券
	61	有価証券
	62	帰属事業年度の特例
	63	帰属事業年度の特例
	64	組織再編
	65	組織再編
	66	組織再編
	67	設立事業年度
	68	設立事業年度
	69	確定決算型
	70	確定決算型
	71	外貨建取引の換算【理論】
	72	換算方法【理論】
	73	換算差損益の取り扱い【理論】
	74	デリバティブ取引【理論】
	75	現物決済【理論】
	76	繰延ヘッジ【理論】
	77	時価ヘッジ【理論】
	78	国庫補助金等に対する課税の特例【理論】
	79	保険差益の額に対する課税の特例【理論】
	80	換差益金の圧縮記帳【理論】
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期・2学期・3学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商品売買・洗い替え法 2 セール・アンド・リースバック取引 3 資産除去債務の税効果会計 4 割賦販売の回収不能の取り扱い 5 帳簿組織、二重仕分けの削除 6 キャッシュ・フロー計算書(間接法) 7 減損会計・共用資産、のれん 8 工事契約・工事完成基準・工事進行基準・工事損失引当金 9 受注制作のソフトウェア 10 スtock・オプション 11 外貨建転換社債型新株予約権 12 伝票会計 13 在外支店 14 会計方針の変更に係る税効果会計 15 株式交換 16 自社利用のソフトウェア 17 商品有高帳 18 株主資本等変動計算書 19 模擬試験 20 模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	財務諸表論Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	１学期・２学期・３学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１ リース会計【理論】 ２ 株主資本Ⅲ（応用項目Ⅱ） ３ 研究開発費等会計【理論】 ４ 負債【理論】 ５ 会計上の変更等Ⅰ ６ 純資産会計【理論】 ７ 会計上の見積りの変更 ８ 純資産会計【理論】 ９ 減価償却方法の変更 10 分配可能額 11 税効果会計Ⅲ 12 スtock・オプション会計【理論】 13 連結会計 14 税効果会計【理論】 15 連結会計 16 税効果会計【理論】 17 固定資産Ⅷ（リース会計Ⅱ） 18 会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】 19 模擬試験 20 模擬試験 解説	
成績評価方法 （試験実施方法）	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	消費税法Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期・2学期・3学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 中間申告に係る納付税額【理論】 2 課税売上割合(応用) 3 課税仕入れ等の分類 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例 5 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例【理論】 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整 7 調整対象固定資産の変動【理論】 8 調整対象固定資産の転用【理論】 9 まとめ問題 10 まとめ問題 11 まとめ問題 12 まとめ問題 13 まとめ問題 14 まとめ問題 15 確認テスト 16 確認テスト 解説 17 特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例 18 特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例【理論】 19 相続があった場合の納税義務の免除の特例 20 相続があった場合の納税義務の免除の特例【理論】	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	相続税法Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	１学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	- 評価会社が自己株式を保有している場合 - 法人株主がある場合の評価方法の判定 - 特定の評価会社の株式 - 小規模宅地等の減額 - 特例対象宅地等 - 特定事業用宅地等 - 特定居住用宅地等 - 貸付事業用宅地等 - 特定計画山林の減額 - 確認テスト - 確認テスト 解説 - 応用理論・課税価格 - 応用理論・課税価格 - 応用理論・課税価格 - 応用理論・税額計算 - 応用理論・税額計算 - 応用理論・税額計算 - 応用理論・相続時精算課税 - 応用理論・相続時精算課税 - 応用理論・相続時精算課税	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	法人税法Ⅱ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期・2学期・3学期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	40時間
授業回数	20回
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 取用等の場合の圧縮記帳【理論】 2 換地処分等の圧縮記帳【理論】 3 取用交換地等の所得の特別控除【理論】 4 特定資産の買換えの場合【理論】 5 青色欠損金の繰越控除及び繰戻し還付【理論】 6 災害損失金の繰越控除【理論】 7 債務免除があった場合の欠損金の損金算入【理論】 8 欠損等法人の取り扱い【理論】 9 残余財産が確定した場合の欠損金の取り扱い【理論】 10 合併があった場合【理論】 11 分割型分割があった場合【理論】 12 分社型分割があった場合【理論】 13 現物出資があった場合【理論】 14 適格組織再編があった場合【理論】 15 資産等に係る調整勘定の取り扱い【理論】 16 株式交換等があった場合【理論】 17 株式分配があった場合【理論】 18 グループ法人税制【理論】 19 確認テスト 20 確認テスト 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論Ⅲ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	１学期・２学期・３学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	リース会計・残価保証
	2	リース会計・中途解約
	3	金利スワップ
	4	ストック・オプション
	5	連結会計・段階取得
	6	連結税効果
	7	商品売買・小売棚卸法
	8	社債・抽選償還
	9	組織再編会計・段階取得
	10	退職給付会計原則法
	11	退職給付会計数理計算上の差異・過去勤務費用
	12	商品売買・売価還元法
	13	外貨建会計の基本的換算方法
	14	為替予約・振当処理・独立処理
	15	ヘッジ会計・ヘッジ取引
	16	ファイナンス・リース取引
	17	オペレーティング・リース取引
	18	試用販売・対照勘定法
	19	試用販売・手許商品区分法
	20	割賦販売・回収基準
	21	割賦販売・回収期限到来基準
	22	小口現金
	23	圧縮記帳・直接減額方式
	24	圧縮記帳・積立金方式
	25	本支店会計①
	26	本支店会計②
	27	本支店会計③
	28	本支店会計④
	29	確認テスト
	30	確認テスト 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	財務諸表論Ⅲ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	6 0 時間
授業回数	3 0 回
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更等Ⅰ 2 純資産会計【理論】 3 会計上の見積りの変更 4 純資産会計【理論】 5 減価償却方法の変更 6 純資産会計【理論】 7 分配可能額 8 純資産会計【理論】 9 税効果会計Ⅲ 10 スtock・オプション会計【理論】 11 連結会計 12 スtock・オプション会計【理論】 13 連結会計 14 税効果会計【理論】 15 連結会計 16 税効果会計【理論】 17 退職給付会計Ⅲ 18 税効果会計【理論】 19 固定資産Ⅷ（リース会計Ⅱ） 20 会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】 21 外貨建取引Ⅳ 22 会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】 23 財務諸表等規則に基づく財務諸表 24 外貨換算会計【理論】 25 共通支配下の取引 26 外貨換算会計【理論】 27 株式交換 28 企業結合会計【理論】 29 確認テスト 30 確認テスト 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40点 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	消費税法Ⅲ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業回数	３０回
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 合併があった場合の納税義務の免除の特例 - 合併があった場合の納税義務の免除の特例【理論】 - 会社分割などがあった場合の納税義務の免除の特例 - 会社分割などがあった場合の納税義務の免除の特例【理論】 - 新設法人の納税義務の免除の特例 - 新設法人の納税義務の免除の特例【理論】 - 特定新規設立法人の納税義務の免除特例 - 特定新規設立法人の納税義務の免除特例【理論】 - 合併があった場合の中間申告 - 合併があった場合の中間申告【理論】 - 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整 - 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整【理論】 - 課税標準 - 課税標準【理論】 - まとめ問題 - まとめ問題 - まとめ問題 - まとめ問題 - 確認テスト３ - 確認テスト３ 解説 - 簡易課税制度 - 簡易課税制度 - 簡易課税制度 - 簡易課税制度【理論】 - 簡易課税制度【理論】 - 新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除 - 新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除 - 特定新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除 - 特定新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除 - 高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	相続税法Ⅲ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業回数	３０回
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用理論・相続時精算課税① 2 応用理論・相続時精算課税② 3 応用理論・相続時精算課税③ 4 応用理論・贈与税① 5 応用理論・贈与税② 6 応用理論・贈与税③ 7 応用理論・贈与税④ 8 応用理論・贈与税⑤ 9 応用理論・相続税① 10 応用理論・相続税② 11 応用理論・相続税③ 12 応用理論・相続税④ 13 応用理論・相続税⑤ 14 応用理論・申告① 15 応用理論・申告② 16 応用理論・申告③ 17 応用理論・申告④ 18 応用理論・申告⑤ 19 応用理論・申告⑥ 20 応用理論・申告⑦ 21 応用理論・申告⑧ 22 応用理論・納付① 23 応用理論・納付② 24 応用理論・納付③ 25 応用理論・納付④ 26 応用理論・納付⑤ 27 応用理論・納付⑥ 28 応用理論・納付⑦ 29 模擬試験 30 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	法人税法Ⅲ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	6 0 時間
授業回数	3 0 回
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎・応用知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 借地権 2 地方法人税 3 試験研究費の特別控除 4 組織再編税制 5 連結納税 6 資産除去債務 7 所得金額の計算 8 適用除外事業者 9 連結納税制度【理論】 10 各連結事業年度の連結所得金額の計算方法【理論】 11 連結中間申告【理論】 12 連結確定申告【理論】 13 連結納税の開始【理論】 14 連結欠損金の繰越控除【理論】 15 完全支配関係がある法人間取引の損益調整【理論】 16 適格現物分配があった場合の主な取り扱い【理論】 17 確定申告【理論】 18 中間申告【理論】 19 総合計算問題集基礎① 20 総合計算問題集基礎② 21 総合計算問題集基礎③ 22 総合計算問題集基礎④ 23 総合計算問題集基礎⑤ 24 財産評価問題集① 25 財産評価問題集② 26 財産評価問題集③ 27 財産評価問題集④ 28 財産評価問題集⑤ 29 模擬試験 30 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論Ⅳ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	資産除去債務
	2	未着品販売
	3	委託販売
	4	受託販売
	5	企業結合
	6	共通支配下の取引
	7	事業分離
	8	連結会計①
	9	連結会計②
	10	連結会計③
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	財務諸表論Ⅳ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金利スワップ
	2	企業結合会計【理論】
	3	会計上の変更等Ⅱ
	4	事業分離会計【理論】
	5	投資不動産、敷金等
	6	連結財務諸表【理論】
	7	固定資産Ⅸ(収益的支出)
	8	連結財務諸表【理論】
	9	確認テスト
	10	確認テスト 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40点 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	消費税法Ⅳ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例【理論】 2 納税義務の免除特例【理論】 3 旧税率に関する特例 4 旧税率に関する特例【理論】 5 国等に対する特例 6 国等に対する特例【理論】 7 軽減税率 8 軽減税率【理論】 9 模擬試験 10 模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	相続税法Ⅳ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	退職手当
	3	慰労金
	4	退職手当均等の非課税金額
	5	生命保険契約に関する権利
	6	生命保険契約に関する権利
	7	定期金に関する権利
	8	保証期間付定期金に関する権利
	9	契約にもとづかない定期金
	10	贈与税が課税されている場合
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	法人税法Ⅳ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	納税義務者の範囲
	3	納税義務者の範囲
	4	課税所得の範囲
	5	課税所得の範囲
	6	受取配当金の益金不算入
	7	受取配当金の益金不算入
	8	減価償却
	9	減価償却
	10	減価償却
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	簿記論Ⅴ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 会計上の見積りの変更 ２ 減価償却方法の変更 ３ 過去の誤謬の訂正 ４ 会計方針の変更 ５ 製造業会計 ６ 製造業会計 ７ 研究開発費 ８ キャッシュ・フロー計算書(直接法) ９ キャッシュ・フロー見積法① 10 キャッシュ・フロー見積法② 11 市場販売のソフトウェア① 12 市場販売のソフトウェア② 13 市場販売のソフトウェア③ 14 有価証券の保有目的の変更 15 新株予約権の取得者側の処理 16 繰延資産 17 総合計算問題集基礎編① 18 総合計算問題集基礎編② 19 総合計算問題集基礎編③ 20 総合計算問題集基礎編④ 21 総合計算問題集基礎編⑤ 22 総合計算問題集基礎編⑥ 23 総合計算問題集基礎編⑦ 24 総合計算問題集基礎編⑧ 25 総合計算問題集基礎編⑨ 26 総合計算問題集基礎編⑩ 27 総合計算問題集基礎編⑪ 28 総合計算問題集基礎編⑫ 29 総合計算問題集応用編① 30 総合計算問題集応用編② 31 総合計算問題集応用編③ 32 総合計算問題集応用編④ 33 総合計算問題集応用編⑤ 34 総合計算問題集応用編⑥

授業計画	35	総合計算問題集応用編⑦
	36	総合計算問題集応用編⑧
	37	総合計算問題集応用編⑨
	38	総合計算問題集応用編⑩
	39	総合計算問題集応用編⑪
	40	総合計算問題集応用編⑫
	41	項目別答練①
	42	項目別答練②
	43	項目別答練③
	44	項目別答練④
	45	項目別答練⑤
	46	項目別答練⑥
	47	項目別答練⑦
	48	項目別答練⑧
	49	項目別答練⑨
	50	項目別答練⑩
	51	項目別答練⑪
	52	項目別答練⑫
	53	項目別答練⑬
	54	項目別答練⑭
	55	項目別答練⑮
	56	項目別答練⑯
	57	項目別答練⑰
	58	項目別答練⑱
	59	項目別答練⑲
	60	項目別答練⑳
	61	過去試験問題集①
	62	過去試験問題集②
	63	過去試験問題集③
	64	過去試験問題集④
	65	過去試験問題集⑤
	66	過去試験問題集⑥
	67	過去試験問題集⑦
	68	過去試験問題集⑧
	69	過去試験問題集⑨
	70	過去試験問題集⑩
	71	過去試験厳選問題①
	72	過去試験厳選問題②
	73	過去試験厳選問題③
	74	過去試験厳選問題④
	75	過去試験厳選問題⑤
	76	過去試験厳選問題⑥
	77	過去試験厳選問題⑦
	78	過去試験厳選問題⑧
	79	過去試験厳選問題⑨
	80	過去試験厳選問題⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	財務諸表論Ⅴ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 固定資産Ⅸ(資本的支出) ２ 連結財務諸表【理論】 ３ 改正項目(消費税等) ４ 連結財務諸表【理論】 ５ 計算問題解答上のレクチャー① ６ キャッシュ・フロー計算書【理論】 ７ 計算問題解答上のレクチャー② ８ キャッシュ・フロー計算書【理論】 ９ 計算問題解答上のレクチャー③ １０ 四半期財務諸表【理論】 １１ 確認テスト １２ 確認テスト 解説 １３ 収益認識に関する会計基準【理論】 １４ 収益認識に関する会計基準【理論】 １５ 収益認識に関する会計基準【理論】 １６ 配分と評価 １７ 収益認識(投資のリスクからの解放) １８ 資産及び負債の貸借対照表能力 １９ 純利益と包括利益 ２０ 財務諸表論の基礎概念【理論】 ２１ 一般原則【理論】 ２２ 一般原則【理論】 ２３ 一般原則【理論】 ２４ 損益計算書総論【理論】 ２５ 損益計算書総論【理論】 ２６ 損益計算書総論【理論】 ２７ 損益計算書各論【理論】 ２８ 損益計算書各論【理論】 ２９ 損益計算書各論【理論】 ３０ 貸借対照表論【理論】 ３１ 資産総論１【理論】 ３２ 資産総論１【理論】 ３３ 棚卸資産【理論】 ３４ 棚卸資産【理論】

授業計画	35	固定資産【理論】
	36	固定資産【理論】
	37	固定資産【理論】
	38	繰延資産【理論】
	39	負債【理論】
	40	負債【理論】
	41	負債【理論】
	42	財務諸表論の基礎概念【理論】
	43	財務諸表論の基礎概念【理論】
	44	損益計算緒論【理論】
	45	損益計算緒論【理論】
	46	資産総論 2【理論】
	47	資産総論 2【理論】
	48	金融商品【理論】
	49	収益性の低下【理論】
	50	リース会計【理論】
	51	純資産【理論】
	52	税効果会計【理論】
	53	企業結合・事業分離【理論】
	54	連結会計【理論】
	55	連結会計【理論】
	56	実力公開模擬試験
	57	実力公開模擬試験 解説
	58	実力公開模擬試験
	59	実力公開模擬試験 解説
	60	実力公開模擬試験
	61	実力公開模擬試験 解説
	62	実力公開模擬試験
	63	実力公開模擬試験 解説
	64	プレ模擬試験
	65	プレ模擬試験 解説
	66	プレ模擬試験
	67	プレ模擬試験 解説
	68	直前対策模擬試験
	69	直前対策模擬試験 解説
	70	直前対策模擬試験
	71	直前対策模擬試験 解説
	72	直前対策模擬試験
	73	直前対策模擬試験 解説
	74	ヤマ当て講義
	75	全国統一公開模擬試験
	76	全国統一公開模擬試験 解説
	77	直前予想公開模擬試験
	78	直前予想公開模擬試験 解説
	79	模擬試験
	80	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40点 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	消費税法 V
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	1 6 0 時間
授業回数	8 0 回
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための模擬試験を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための模擬試験で合格点を取る
教科書	オリジナルテキスト 問題集 プレ模擬試験 全国統一公開模擬試験
特記	
	1 理論問題集複合① 2 理論問題集複合② 3 理論問題集複合③ 4 理論問題集複合④ 5 理論問題集複合⑤ 6 理論問題集複合⑥ 7 理論問題集複合⑦ 8 理論問題集複合⑧ 9 理論問題集複合⑨ 10 理論問題集複合⑩ 11 理論問題集複合⑪ 12 理論問題集複合⑫ 13 理論問題集複合⑬ 14 理論問題集複合⑭ 15 理論問題集複合⑮ 16 理論問題集複合⑯ 17 理論問題集複合⑰ 18 理論問題集複合⑱ 19 理論問題集複合⑲ 20 理論問題集複合⑳ 21 理論問題集取引① 22 理論問題集取引② 23 理論問題集取引③ 24 理論問題集取引④ 25 理論問題集取引⑤ 26 理論問題集取引⑥ 27 理論問題集取引⑦ 28 理論問題集取引⑧ 29 理論問題集取引⑨ 30 理論問題集取引⑩ 31 理論問題集取引⑪ 32 理論問題集取引⑫ 33 理論問題集取引⑬ 34 理論問題集取引⑭

授業計画	35	理論問題集取引⑮
	36	過去試験問題①
	37	過去試験問題②
	38	過去試験問題③
	39	過去試験問題④
	40	過去試験問題⑤
	41	過去試験問題⑥
	42	過去試験問題⑦
	43	過去試験問題⑧
	44	過去試験問題⑨
	45	過去試験問題⑩
	46	過去試験問題⑪
	47	過去試験問題⑫
	48	過去試験問題⑬
	49	過去試験問題⑭
	50	実力公開模擬試験①
	51	実力公開模擬試験 解説①
	52	実力公開模擬試験②
	53	実力公開模擬試験 解説②
	54	実力公開模擬試験③
	55	実力公開模擬試験 解説③
	56	実力公開模擬試験④
	57	実力公開模擬試験 解説④
	58	実力公開模擬試験⑤
	59	実力公開模擬試験 解説⑤
	60	実力公開模擬試験⑥
	61	実力公開模擬試験 解説⑥
	62	実力公開模擬試験⑦
	63	実力公開模擬試験 解説⑦
	64	実力公開模擬試験⑧
	65	実力公開模擬試験 解説⑧
	66	本科直前対策模擬試験①
	67	本科直前対策模擬試験 解説①
	68	本科直前対策模擬試験②
	69	本科直前対策模擬試験 解説②
	70	本科直前対策模擬試験③
	71	本科直前対策模擬試験 解説③
	72	本科直前対策模擬試験④
	73	本科直前対策模擬試験 解説④
	74	ヤマ当て講義
	75	全国統一公開模擬試験①
	76	全国統一公開模擬試験 解説①
	77	全国統一公開模擬試験②
	78	全国統一公開模擬試験 解説②
	79	模擬試験
	80	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	相続税法 V
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	1 6 0 時間
授業回数	8 0 回
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	1 負担付遺贈・贈与 2 相続税が課税される場合 3 相続税の非課税財産 4 措置70の非課税 5 相続時精算課税適用資産 6 債務控除 7 特定納税義務者の債務控除 8 生前贈与加算 9 相続税額の計算方法 10 相続税の総額 11 算出相続税額の計算 12 法定相続人の数 13 本来の財産 14 相続税額の加算 15 贈与税額控除 16 配偶者の税額軽減 17 未成年者控除 18 障害者控除 19 相次相続控除 20 相続税の外国税額控除 21 相続税精算課税制度【理論】 22 相続税精算課税制度に係る相続税の納付義務の承継【理論】 23 特例経営承継受贈者・特例事業受贈者【理論】 24 相続税の期限内申告【理論】 25 贈与税の期限内申告【理論】 26 相続税法の納税地【理論】 27 期限後申告【理論】 28 修正申告【理論】 29 更正の請求【理論】 30 還付を受けるための申告及び還付【理論】 31 確認テスト 1 32 確認テスト 1 解説 33 贈与税の概要 34 贈与税の納税義務者

授業計画	35	相続時精算課税制度の概要
	36	贈与税額の計算
	37	贈与税の非課税財産
	38	贈与税の配偶者控除
	39	贈与税の外国税額控除
	40	農地等の相続税の納税猶予
	41	非上場株式等の贈与税の納税猶予の特例
	42	非上場株式等の相続税の納税猶予の特例
	43	個人の事業用資産の贈与税の納税猶予
	44	個人の事業用資産の相続税の納税猶予
	45	延納【理論】
	46	延納【理論】
	47	物納の要件等【理論】
	48	物納の要件等【理論】
	49	連帯納付【理論】
	50	連帯納付【理論】
	51	農地等の相続税の納税猶予及び免除【理論】
	52	農地等の相続税の納税猶予及び免除【理論】
	53	農地等の贈与税の納税猶予及び免除【理論】
	54	農地等の贈与税の納税猶予及び免除【理論】
	55	個人の事業用資産の贈与税納税猶予及び免除【理論】
	56	個人の事業用資産の贈与税納税猶予及び免除【理論】
	57	個人の事業用資産の相続税納税猶予及び免除【理論】
	58	個人の事業用資産の相続税納税猶予及び免除【理論】
	59	山林の相続税の納税猶予及び免除【理論】
	60	山林の相続税の納税猶予及び免除【理論】
	61	非上場株式の贈与税納税猶予及び免除【理論】
	62	非上場株式の贈与税納税猶予及び免除【理論】
	63	非上場株式の相続税納税猶予及び免除【理論】
	64	非上場株式の相続税納税猶予及び免除【理論】
	65	まとめ問題
	66	まとめ問題
	67	まとめ問題
	68	まとめ問題
	69	確認テスト2
	70	確認テスト2 解説
	71	評価の原則
	72	邦貨換算
	73	自用地
	74	宅地等の評価単位
	75	地区区分の異なる宅地
	76	不整形地
	77	地積規模の大きな宅地
	78	無道路地
	79	角切り宅地の間口距離
	80	がけ地等を有する宅地
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	法人税法Ⅴ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	１６０時間
授業回数	８０回
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	１ 交際費等の損金不算入 ２ 交際費等の損金不算入 ３ 交際費等の損金不算入 ４ 寄付金の損金不算入 ５ 寄付金の損金不算入 ６ 寄付金の損金不算入 ７ 租税公課 ８ 租税公課 ９ 租税公課 10 納税充当金 11 納税充当金 12 納税充当金 13 収用等 14 収用等 15 貸倒損失 16 貸倒損失 17 貸倒損失 18 貸倒引当金 19 貸倒引当金 20 貸倒引当金 21 欠損金 22 欠損金 23 欠損金 24 まとめ問題 25 納税義務者【理論】 26 課税所得の範囲【理論】 27 税率【理論】 28 事業年度【理論】 29 納税地【理論】 30 資本金等の額【理論】 31 利益積立金額【理論】 32 所得の帰属に関する通則【理論】 33 各事業年度の所得の金額の計算方法【理論】 34 収益の額【理論】

授業計画	35	収益の額【理論】
	36	受取配当金の益金不算入額【理論】
	37	受取配当金の益金不算入額【理論】
	38	確認テスト1
	39	確認テスト1 解説
	40	有価証券
	41	有価証券
	42	有価証券
	43	有価証券
	44	外貨建取引
	45	外貨建取引
	46	外貨建取引
	47	別表四の作成
	48	別表四の作成
	49	別表四の作成
	50	法人税額の計算の基礎
	51	法人税額の計算の基礎
	52	法人税額の計算の基礎
	53	使途秘匿金
	54	使途秘匿金
	55	使途秘匿金
	56	所得税額控除
	57	所得税額控除
	58	所得税額控除
	59	まとめ問題
	60	有価証券の譲渡損益及び算出方法【理論】
	61	有価証券の譲渡損益及び算出方法【理論】
	62	有価証券の期末評価【理論】
	63	売買目的有価証券の意義【理論】
	64	売買目的有価証券の意義【理論】
	65	有価証券の意義【理論】
	66	有価証券の意義【理論】
	67	有価証券の意義【理論】
	68	有価証券の取得価額【理論】
	69	有価証券の取得価額【理論】
	70	有価証券の取得価額【理論】
	71	確認テスト2
	72	確認テスト2 解説
	73	受取配当等の益金不算入
	74	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	75	みなし配当
	76	減価償却
	77	減価償却
	78	減価償却
	79	繰延資産
	80	繰延資産
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	簿記論Ⅵ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 実力公開模擬試験① 2 実力公開模擬試験② 3 実力公開模擬試験③ 4 実力公開模擬試験④ 5 直前対策模擬試験① 6 直前対策模擬試験② 7 直前対策模擬試験③ 8 プレ模擬試験① 9 プレ模擬試験② 10 プレ模擬試験③ 11 プレ模擬試験④ 12 ヤマ当て講義 13 全国公開統一模擬試験 14 直前予想公開模擬試験① 15 直前予想公開模擬試験② 16 直前予想公開模擬試験③ 17 直前予想公開模擬試験④ 18 直前予想公開模擬試験⑤ 19 模擬試験 20 模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	財務諸表論Ⅵ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合計算問題集基礎編① 2 総合計算問題集基礎編② 3 総合計算問題集応用編① 4 総合計算問題集応用編② 5 理論問題集① 6 理論問題集② 7 理論問題集(会計基準穴埋め問題)① 8 理論問題集(会計基準穴埋め問題)② 9 過去試験問題集① 10 過去試験問題集② 11 過去実力公開模擬試験① 12 過去実力公開模擬試験② 13 過去直前対策模擬試験① 14 過去直前対策模擬試験② 15 過去全国公開統一模擬試験① 16 過去全国公開統一模擬試験② 17 過去直前予想公開模擬試験① 18 過去直前予想公開模擬試験② 19 模擬試験 20 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40点 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法Ⅵ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	１学期・２学期・３学期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	４０時間
授業回数	２０回
授業概要	税理士試験消費税法の学習を始める為の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に学習を始める為基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- ガイダンス - 課税の対象①（初級編） - 課税の対象②（初級編） - 非課税①（初級編） - 非課税②（初級編） - 輸出免税等①（初級編） - 輸出免税等②（初級編） - 資産の譲渡等の時期（初級編） - 控除対象仕入税額①（初級編） - 控除対象仕入税額②（初級編） - 売上げに係る対価の返還等（初級編） - 課税仕入れの範囲①（初級編） - 課税仕入れの範囲②（初級編） - 課税仕入れ等の時期①（初級編） - 課税仕入れ等の時期②（初級編） - 課税売上割合①（初級編） - 課税売上割合②（初級編） - 課税期間における課税売上高①（初級編） - 課税期間における課税売上高②（初級編） - 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	相続税法Ⅵ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験相続税法の合格の為の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 土砂災害特別警戒区域内にある宅地 2 容積率の異なる宅地 3 私道の用に供されている宅地 4 セットバックを必要とする宅地 5 都市計画道路予定地の区域内にある宅地 6 普通借地権 7 貸宅地 8 貸家建付地 9 貸家建付借地権 10 使用賃借により借り受けた宅地等 11 使用賃借により貸し付けられた宅地等 12 利用区分が異なる建物の敷地の用に供されている宅地等 13 相当の地代を受け取っている場合の貸宅地 14 相当の地代を支払っている場合の貸宅地 15 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地 16 定期借地権等 17 定期借地権等の目的となっている宅地 18 貸宅地 19 模擬試験 20 模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	法人税法Ⅵ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験法人税法の合格の為の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 役員判定 2 使用人給与 3 交際費等の損金不算入 4 寄付金の損金不算入 5 圧縮記帳の概要 6 国庫補助金等 7 保険差益 8 減価償却資産の償却方法、償却計算 9 減価償却資産の意義 10 減価償却資産の取得価額 11 少額の減価償却資産 12 一括償却資産 13 中小企業車等の特例 14 特別償却 15 特別償却準備金 16 繰延資産 17 繰延資産の意義 18 繰延資産の償却計算 19 模擬試験 20 模擬試験 解説	
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法Ⅶ
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	8 0 時間
授業回数	4 0 回
授業概要	税理士試験消費税法の学習を始める為の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に学習を始める為基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税売上割合に準ずる割合①（初級編） 2 課税売上割合に準ずる割合②（初級編） 3 仕入れに係る対価の返還等（初級編） 4 納税義務の免除（初級編） 5 国境を越えた役務の提供①（初級編） 6 国境を越えた役務の提供②（初級編） 7 国境を越えた役務の提供③（初級編） 8 中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 9 確認テスト(理論) 10 課税仕入れ等の分類①（初級編） 11 課税仕入れ等の分類②（初級編） 12 課税仕入れ等の分類③（初級編） 13 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（初級編） 14 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） 15 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） 16 納税義務の免除の特例①（初級編） 17 納税義務の免除の特例②（初級編） 18 納税義務の免除の特例③（初級編） 19 納税義務の免除の特例④（初級編） 20 納税義務の免除の特例⑤（初級編） 21 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（初級編） 22 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（初級編） 23 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目①（初級編） 24 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（初級編） 25 課税標準①（初級編） 26 課税標準②（初級編） 27 簡易課税制度①（初級編） 28 簡易課税制度②（初級編） 29 簡易課税制度③（初級編） 30 簡易課税制度④（初級編） 31 軽減税率①（初級編） 32 軽減税率②（初級編） 33 旧税率に関する経過措置①（初級編） 34 旧税率に関する経過措置②（初級編）

	35	複数税率の場合の計算①（初級編）
	36	複数税率の場合の計算②（初級編）
	37	国等に対する特例①（初級編）
	38	国等に対する特例②（初級編）
	39	特殊項目③（税抜経理方式）（初級編）
	40	確認テスト(理論)
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法Ⅷ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	１学期・２学期・３学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総合問題対策①（初級編）
	2	総合問題対策②（初級編）
	3	総合問題対策③（初級編）
	4	総合問題対策④（初級編）
	5	総合問題対策⑤（初級編）
	6	総合問題対策⑥（初級編）
	7	総合問題対策⑦（初級編）
	8	総合問題対策⑧（初級編）
	9	総合問題対策⑨（初級編）
	10	総合問題対策⑩（初級編）
	11	総合問題対策⑪（初級編）
	12	総合問題対策⑫（初級編）
	13	総合問題対策⑬（初級編）
	14	総合問題対策⑭（初級編）
	15	総合問題対策⑮（初級編）
	16	総合問題対策⑯（初級編）
	17	総合問題対策⑰（初級編）
	18	総合問題対策⑱（初級編）
	19	総合問題対策⑲（初級編）
	20	総合問題対策⑳（初級編）
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法Ⅸ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科２年制学科	
履修年次	２年次	
開講学期	１学期・２学期・３学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	４０時間	
授業回数	２０回	
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	総合問題対策（初級編）①
	２	総合問題対策（初級編）②
	３	総合問題対策（初級編）③
	４	総合問題対策（初級編）④
	５	総合問題対策（初級編）⑤
	６	総合問題対策（初級編）⑥
	７	総合問題対策（初級編）⑦
	８	総合問題対策（初級編）⑧
	９	総合問題対策（初級編）⑨
	１０	総合問題対策（初級編）⑩
	１１	総合問題演習（初級編）①
	１２	総合問題演習（初級編）②
	１３	総合問題演習（初級編）③
	１４	総合問題演習（初級編）④
	１５	総合問題演習（初級編）⑤
	１６	総合問題演習（初級編）⑥
	１７	総合問題演習（初級編）⑦
	１８	総合問題演習（初級編）⑧
	１９	総合問題演習（初級編）⑨
	２０	総合問題演習（初級編）⑩
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	管理会計論
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期・2学期・3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	120時間
授業回数	60回
授業概要	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計と管理会計① 2 財務会計と管理会計② 3 管理会計の意義と目的① 4 管理会計の意義と目的② 5 財務情報分析の意義と種類① 6 財務情報分析の意義と種類② 7 収益性分析① 8 収益性分析② 9 収益性分析③ 10 安全性分析① 11 安全性分析② 12 安全性分析③ 13 キャッシュ・フロー分析① 14 キャッシュ・フロー分析② 15 短期利益計画の基礎① 16 短期利益計画の基礎② 17 CVP分析① 18 CVP分析② 19 CVP分析③ 20 原価態様① 21 原価態様② 22 原価分解の方法① 23 原価分解の方法② 24 直接原価計算の基礎① 25 直接原価計算の基礎② 26 直接実際原価計算① 27 直接実際原価計算② 28 直接標準原価計算① 29 直接標準原価計算② 30 直接原価計算に関する諸論点① 31 直接原価計算に関する諸論点② 32 予算管理の基礎① 33 予算管理の基礎② 34 予算管理の基礎③

	35 予算管理の基礎② 36 予算編成① 37 予算編成② 38 予算統制① 39 予算統制② 40 予算統制③ 41 予算管理の諸論点① 42 予算管理の諸論点② 43 予算管理の諸論点③ 44 資金管理の基礎① 45 資金管理の基礎② 46 資金管理の基礎③ 47 現金資金の管理① 48 現金資金の管理② 49 現金資金の管理③ 50 資金計算書① 51 資金計算書② 52 資金計算書③ 53 キャッシュ・フロー管理① 54 キャッシュ・フロー管理② 55 キャッシュ・フロー管理③ 56 意思決定会計総論① 57 意思決定会計総論② 58 意思決定会計総論③ 59 模擬試験 60 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個人企業と共同作業 2 会社の概念 3 法人性に関する諸問題 4 4種類の会社 5 株式会社の分類、本質的特徴 6 株主有限責任の原則から導かれる資本制度 7 本質的特徴から導かれる重要な制度 8 会社設立に関する立法主義 9 株式会社の設立手続きの流れ、設立の方法 10 発起人の意義、資格、数 11 定款の意義、作成 12 定款の記載・記録事項 13 定款の備置き、閲覧・謄写 14 発起設立、募集設立 15 設立登記の手続き、効力 16 変態設立事項に関する規制① 17 変態設立事項に関する規制② 18 設立無効の意義 19 設立無効原因 20 設立無効の訴えの制度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	経営学
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期・2学期・3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業回数	20回
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な経営学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 投資理論の基礎知識、最適なポートフォリオの選択 2 資本資産評価モデル：CAPM、債権評価 3 裁定取引と効率的市場、マルチファクターモデルと行動ファイナンス 4 企業財務論の目的、資本コスト 5 最適資本構成、プロジェクトの評価 6 配当政策（ペイアウト政策その1）、自社株買い（ペイアウト政策その2） 7 財務情報分析、バランス・スコアカード（BSC） 8 デリバティブ、先物取引 9 オプション取引、ポートフォリオ（オプションの合成） 10 金利オプション、スワップ取引 11 テイラーの科学的管理法、ファヨールの管理論 12 人間関係論と近代モチベーション論、バーナード論、サイモン、マーチ論 13 ゴミ箱モデル、管理原則論 14 組織構造論（各論）、組織文化論 15 集団の意思決定、コンフリクト論とダイバーシティ経営 16 動機づけ理論、リーダーシップ理論 17 経営戦略論の基礎概念、多角化戦略 18 垂直統合戦略、国際化戦略、ポーターの競争戦略論 19 模擬試験 20 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	監査論
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査意見に関する基礎概念 2 監査報告書の記載 3 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見 4 追記情報、比較情報 5 継続企業の前提と経営者の責任 6 継続企業の前提に対する監査人の対応 7 中間監査総論、中間監査の実施及び報告 8 四半期レビュー 9 特別目的の財務諸表等の監査 10 個別の財務表等の監査 11 内部統括報告制度 12 会社法会計監査人監査 13 金融商品取引法、公認会計士法 14 公認会計士及び監査法人の業務 15 監査法人の社員の責任 16 監査法人による情報開示 17 独立性に関する法規制 18 被監査会社等が大会社等である場合の規制 19 模擬試験 20 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	租税法
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	1学期・2学期・3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業回数	40回
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な租税法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な租税法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 交際費等の損金不算入、受取配当等の益金不算入、寄付金の損金不算入 3 減価償却（普通償却）、減価償却（特別償却） 4 租税公課の及び納税充当金 5 繰延資産 6 金銭債務に係る債務者の償還咳又は償還差損の益金又は損金算入 7 有価証券 8 所得税額控除 9 特別償却準備金 10 リース取引 11 法人税法額の計算の基礎 12 使途秘匿金 13 外国税額控除 14 貸倒損失 15 欠損金の繰越控除・繰戻し還付 16 収用等の特別控除 17 圧縮記帳 18 同族会社の判定 19 役員・使用人兼務役員の判定 20 役員給与、使用人給与 21 外国子会社から受ける配当等の益金不算入 22 みなし配当 23 帰属事業年度の特例 24 税効果会計 25 外貨建取引 26 保険料

	27	グループ法人税制
	28	修正申告
	29	所得税法の概要
	30	各種所得と各種所得の金額の計算
	31	事業所得の金額の計算
	32	譲渡所得の金額の計算
	33	課税標準・課税所得金額の計算
	34	所得控除額の計算
	35	納付税額の計算
	36	申請・納付
	37	源泉徴収
	38	有価証券に係る課税の特例
	39	模擬試験
	40	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	総合演習
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期・2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	1 2 0 時間
授業回数	6 0 回
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な模擬試験を行う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な模擬試験で合格点を取ることができる
教科書	実力養成答練 短答直対答練 短答公開模試
特記	
授業計画	1 財務会計論 計算猛特訓① 2 財務会計論 計算猛特訓② 3 財務会計論 計算猛特訓③ 4 管理会計論 計算猛特訓① 5 管理会計論 計算猛特訓② 6 管理会計論 計算猛特訓③ 7 財務会計論 実力養成答練① 8 財務会計論 実力養成答練② 9 財務会計論 実力養成答練③ 10 監査論 実力養成答練① 11 監査論 実力養成答練② 12 監査論 実力養成答練③ 13 企業法 実力養成答練① 14 企業法 実力養成答練② 15 企業法 実力養成答練③ 16 財務会計論 ステップ答練Ⅱ① 17 財務会計論 ステップ答練Ⅱ② 18 財務会計論 ステップ答練Ⅱ③ 19 管理会計論 ステップ答練Ⅱ① 20 管理会計論 ステップ答練Ⅱ② 21 管理会計論 ステップ答練Ⅱ③ 22 財務会計論 ステップ答練直対① 23 財務会計論 ステップ答練直対② 24 財務会計論 ステップ答練直対③ 25 管理会計論 ステップ答練直対① 26 管理会計論 ステップ答練直対② 27 管理会計論 ステップ答練直対③ 28 財務会計論 短答直対答練（前期）① 29 財務会計論 短答直対答練（前期）② 30 財務会計論 短答直対答練（前期）③ 31 財務会計論 短答直対答練（後期）① 32 財務会計論 短答直対答練（後期）② 33 財務会計論 短答直対答練（後期）③ 34 管理会計論 短答直対答練（前期）①

	35 管理会計論 短答直対答練（前期）② 36 管理会計論 短答直対答練（前期）③ 37 管理会計論 短答直対答練（後期）① 38 管理会計論 短答直対答練（後期）② 39 管理会計論 短答直対答練（後期）③ 40 監査論 短答直対答練（前期）① 41 監査論 短答直対答練（前期）② 42 監査論 短答直対答練（前期）③ 43 監査論 短答直対答練（後期）① 44 監査論 短答直対答練（後期）② 45 監査論 短答直対答練（後期）③ 46 企業法 短答直対答練（前期）① 47 企業法 短答直対答練（前期）② 48 企業法 短答直対答練（前期）③ 49 企業法 短答直対答練（後期）① 50 企業法 短答直対答練（後期）② 51 企業法 短答直対答練（後期）③ 52 財務会計論 短答計算猛特訓① 53 財務会計論 短答計算猛特訓② 54 管理会計論 短答計算猛特訓① 55 管理会計論 短答計算猛特訓② 56 財務会計論 短答本試験体感DAY 57 短答式公開模擬試験（前期） 58 短答式公開模擬試験（後期） 59 模擬試験 60 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	プログラム言語論					
実務家教員	-					
学部・学科	経理本科2年制学科					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義及び演習					
授業時間	200時間					
授業回数	100回					
授業概要	システム設計をもとに、機能・操作・性能を考慮したプログラミング技法を学ぶ					
授業の進め方	グループワークなどを通じ、実践的知識の習得					
達成目標	プログラミングに関する知識習得及びプログラミング技術の習得を目的とする					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	プログラミング(開発)①	35	プログラミング(開発)⑳	68	テストの実施⑪
	2	プログラミング(開発)②	36	プログラミング(開発)㉑	69	テストの実施⑫
	3	プログラミング(開発)③	37	プログラミング(開発)㉒	70	テストの実施⑬
	4	プログラミング(開発)④	38	プログラミング(開発)㉓	71	テストの実施⑭
	5	プログラミング(開発)⑤	39	プログラミング(開発)㉔	72	テストの実施⑮
	6	プログラミング(開発)⑥	40	プログラミング(開発)㉕	73	テストの実施⑯
	7	プログラミング(開発)⑦	41	プログラミング(開発)㉖	74	テストの実施⑰
	8	プログラミング(開発)⑧	42	プログラミング(開発)㉗	75	テストの実施⑱
	9	プログラミング(開発)⑨	43	プログラミング(開発)㉘	76	テストの実施⑲
	10	プログラミング(開発)⑩	44	プログラミング(開発)㉙	77	テストの実施⑳
	11	模擬データ作成①	45	プログラミング(開発)㉚	78	テストの実施㉑
	12	模擬データ作成②	46	プログラミング(開発)㉛	79	テストの実施㉒
	13	模擬データ作成③	47	プログラミング(開発)㉜	80	テストの実施㉓
	14	模擬データ作成④	48	プログラミング(開発)㉝	81	テストの実施㉔
	15	模擬データ作成⑤	49	プログラミング(開発)㉞	82	テストの実施㉕
	16	プログラミング(開発)⑪	50	プログラミング(開発)㉟	83	テストの実施㉖
	17	プログラミング(開発)⑫	51	プログラミング(開発)㊱	84	プログラミングコンテスト準備①
	18	プログラミング(開発)⑬	52	プログラミング(開発)㊲	85	プログラミングコンテスト準備②
	19	プログラミング(開発)⑭	53	プログラミング(開発)㊳	86	プログラミングコンテスト準備③
	20	プログラミング(開発)⑮	54	プログラミング(開発)㊴	87	プログラミングコンテスト準備④
	21	プログラミング(開発)⑯	55	プログラミング(開発)㊵	88	プログラミングコンテスト準備⑤
	22	プログラミング(開発)⑰	56	設計駆動テストの理論	89	プログラミングコンテスト準備⑥
	23	プログラミング(開発)⑱	57	設計駆動テストの実践	90	プログラミングコンテスト準備⑦
	24	卒業研究校内発表会準備①	58	テストの実施①	91	プログラミングコンテスト準備⑧
	25	卒業研究校内発表会準備②	59	テストの実施②	92	プログラミングコンテスト①
	26	卒業研究校内発表会準備③	60	テストの実施③	93	プログラミングコンテスト②
	27	卒業研究校内発表会準備④	61	テストの実施④	94	プログラミングコンテスト③
	28	卒業研究校内発表会	62	テストの実施⑤	95	プログラミングコンテスト④
	29	卒業研究校内発表会検証	63	テストの実施⑥	96	プログラミングコンテスト⑤
	30	卒業研究校内発表会検証	64	テストの実施⑦	97	プログラミングコンテスト⑥
	31	プログラミング(開発)⑲	65	テストの実施⑧	98	プログラミングコンテスト⑦
	32	プログラミング(開発)⑳	66	テストの実施⑨	99	プログラミングコンテスト⑧
	33	プログラミング(開発)㉑	67	テストの実施⑩	100	卒業研究振り返り
	34	プログラミング(開発)㉒				
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	システム設計開発論					
実務家教員	-					
学部・学科	経理本科2年制学科					
履修年次	2年次					
開講学期	3学期					
科目区分	選択					
授業方法	実習及び講義					
授業時間	240時間					
授業回数	120回					
授業概要	システム化提案のためにシステム構築およびドキュメント作成を学ぶ					
授業の進め方	グループワークなどを通じ、実践的知識の習得					
達成目標	実務で必要とされるシステム設計の知識習得を目的とする					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	卒業研究とは	41	企画発表準備④	81	シーケンス図作成⑮
	2	業界研究①	42	企画発表	82	シーケンス図作成⑯
	3	業界研究②	43	ロバストネス分析の理論	83	シーケンス図作成⑰
	4	業界研究③	44	ロバストネス分析の実践	84	シーケンス図作成⑱
	5	企画立案①	45	ロバストネス分析①	85	シーケンス図作成⑲
	6	企画立案②	46	ロバストネス分析②	86	シーケンス図作成⑳
	7	企画立案③	47	ロバストネス分析③	87	シーケンス図作成㉑
	8	企画立案④	48	ロバストネス分析④	88	シーケンス図作成㉒
	9	企画立案⑤	49	ロバストネス分析⑤	89	シーケンス図作成㉓
	10	企画立案⑥	50	ロバストネス分析⑥	90	詳細設計レビューの理論
	11	企画書の作成①	51	ロバストネス分析⑦	91	詳細設計レビューの実践
	12	企画書の作成②	52	ロバストネス分析⑧	92	詳細設計レビュー①
	13	企画書の作成③	53	予備設計レビューの理論	93	詳細設計レビュー②
	14	企画書の作成④	54	予備設計レビューの実践	94	詳細設計レビュー③
	15	中間発表準備①	55	予備設計レビュー①	95	詳細設計レビュー④
	16	中間発表準備②	56	予備設計レビュー②	96	詳細設計レビュー⑤
	17	中間発表準備③	57	予備設計レビュー③	97	詳細設計レビュー⑥
	18	中間発表	58	予備設計レビュー④	98	詳細設計レビュー⑦
	19	ドメインモデリングの理論	59	予備設計レビュー⑤	99	詳細設計レビュー⑧
	20	ドメインモデリングの実践	60	予備設計レビュー⑥	100	詳細設計レビュー⑨
	21	ドメインモデリング分析①	61	予備設計レビュー⑦	101	詳細設計レビュー⑩
	22	ドメインモデリング分析②	62	予備設計レビュー⑧	102	詳細設計からコードへ
	23	ユースケースモデリングの理論	63	テクニカルアーキテクチャの理論	103	実装の実践①
	24	ユースケースモデリングの実践	64	テクニカルアーキテクチャの実践	104	実装の実践②
	25	ユースケースモデリング分析①	65	シーケンス図作成の理論	105	画面テンプレート作成（開発）①
	26	ユースケースモデリング分析②	66	シーケンス図作成の実践	106	画面テンプレート作成（開発）②
	27	ユースケースモデリング分析③	67	シーケンス図作成①	107	画面テンプレート作成（開発）③
	28	ユースケースモデリング分析④	68	シーケンス図作成②	108	画面テンプレート作成（開発）④
	29	ユースケースモデリング分析⑤	69	シーケンス図作成③	109	画面テンプレート作成（開発）⑤
	30	ユースケースモデリング分析⑥	70	シーケンス図作成④	110	画面テンプレート作成（開発）⑥
	31	要求レビューの理論	71	シーケンス図作成⑤	111	各画面作成（開発）①
	32	要求レビューの実践	72	シーケンス図作成⑥	112	各画面作成（開発）②
	33	要求レビュー①	73	シーケンス図作成⑦	113	各画面作成（開発）③
	34	要求レビュー②	74	シーケンス図作成⑧	114	各画面作成（開発）④
	35	要求レビュー③	75	シーケンス図作成⑨	115	各画面作成（開発）⑤
	36	要求レビュー④	76	シーケンス図作成⑩	116	各画面作成（開発）⑥
	37	要求レビュー⑤	77	シーケンス図作成⑪	117	中間発表準備①

	38	企画発表準備①	78	シーケンス図作成⑫	118	中間発表準備②
	39	企画発表準備②	79	シーケンス図作成⑬	119	中間発表準備③
	40	企画発表準備③	80	シーケンス図作成⑭	120	中間発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	40時間
授業回数	20回
授業概要	営業・販売職員として必要な販売管理の知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、平均80点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 販売管理概論 2 納品書の作成 3 売上事務の流れ 4 売上の計上 5 振替伝票の作成 6 請求書の作成1 7 請求書の作成2 8 締め日 9 締め日と合計請求書 10 請求に関する様々な条件 11 代金の回収と領収書の発行1 12 代金の回収と領収書の発行2 13 代金の回収管理 14 管理資料の作成 15 複数の取引先との取引1 16 複数の取引先との取引2 17 得意先と販売管理1 18 得意先と販売管理2 19 模擬試験 20 模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	マーケティング研究	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	マーケティングにおける市場調査等の基礎的なスキルを習得する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション	
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	マーケティングと顧客満足①
	2	マーケティングと顧客満足②
	3	マーケティングと顧客満足③
	4	会社の目的①
	5	会社の目的②
	6	会社の目的③
	7	会社の目的④
	8	会社の目的⑤
	9	S S におけるマーケティング
	10	売上の構成要素①
	11	売上の構成要素②
	12	企業研究発表会 V T R 鑑賞
	13	マーケティング手法の種類
	14	エリアマーケティングの必要性
	15	情報収集の方法①
	16	情報分析の手法②
	17	不況時におけるマーケティング
	18	効果測定①
	19	効果測定②
	20	効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	マーケティング実習
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	1 6 0 時間
授業回数	8 0 回
授業概要	市場調査から企画書作成までの一連の流れを学習する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	課題研究発表において、有識者より一定の評価を得ることを目標とする
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
	1 市場調査① 2 市場調査② 3 市場調査③ 4 市場調査④ 5 市場調査⑤ 6 企画立案① 7 企画立案② 8 企画立案③ 9 企画立案④ 10 店舗見学計画① 11 店舗見学計画② 12 店舗見学計画③ 13 店舗見学① 14 店舗見学② 15 店舗見学③ 16 店舗見学④ 17 店舗見学⑤ 18 1 枚企画書製作① 19 1 枚企画書製作② 20 1 枚企画書製作③ 21 1 枚企画書製作④ 22 1 枚企画書製作⑤ 23 1 枚企画書製作⑥ 24 1 枚企画書製作⑦ 25 課題研究プレ発表① 26 課題研究プレ発表 振り返り① 27 企画内容精査① 28 企画内容精査② 29 企画書制作① 30 企画書制作② 31 企画書制作③ 32 企画書制作④ 33 企画書制作⑤ 34 企画書制作⑥

授業計画	35	企画書制作⑦
	36	企画書制作⑧
	37	店舗見学計画④
	38	店舗見学計画⑤
	39	店舗見学計画⑥
	40	店舗見学⑥
	41	店舗見学⑦
	42	店舗見学⑧
	43	店舗見学⑨
	44	店舗見学⑩
	45	企画書制作⑨
	46	企画書制作⑩
	47	企画書制作⑪
	48	企画書制作⑫
	49	企画書制作⑬
	50	企画書制作⑭
	51	企画書制作⑮
	52	企画書制作⑯
	53	企画書制作⑰
	54	企画書制作⑱
	55	企画書制作⑲
	56	企画書制作⑳
	57	企画内容精査③
	58	企画内容精査④
	59	プレゼンテーション企画①
	60	プレゼンテーション企画②
	61	文章表現校正①
	62	文章表現校正②
	63	文章表現校正③
	64	文章表現校正④
	65	視覚表現校正①
	66	視覚表現校正②
	67	視覚表現校正③
	68	視覚表現校正④
	69	視覚表現校正⑤
	70	視覚表現校正⑥
	71	視覚表現校正⑦
	72	パブリックスピーキング①
	73	パブリックスピーキング②
	74	パブリックスピーキング③
	75	パブリックスピーキング④
	76	パブリックスピーキング⑤
	77	パブリックスピーキング⑥
	78	パブリックスピーキング⑦
	79	課題研究発表 1
	80	課題研究発表 1 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	経理事務総合
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	1 2 0 時間
授業回数	6 0 回
授業概要	経理事務職員として必要な販売管理スキルを習得する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 販売管理概論① 2 販売管理概論② 3 納品書の作成① 4 納品書の作成② 5 納品書の作成③ 6 納品書の作成④ 7 売上事務の流れ① 8 売上事務の流れ② 9 売上事務の流れ③ 10 売上事務の流れ④ 11 売上の計上① 12 売上の計上② 13 売上の計上③ 14 売上の計上④ 15 振替伝票の作成① 16 振替伝票の作成② 17 振替伝票の作成③ 18 振替伝票の作成④ 19 請求書の作成① 20 請求書の作成② 21 請求書の作成③ 22 請求書の作成④ 23 締め日① 24 締め日② 25 締め日と合計請求書① 26 締め日と合計請求書② 27 請求に関する様々な条件① 28 請求に関する様々な条件② 29 代金の回収と領収書の発行① 30 代金の回収と領収書の発行② 31 代金の回収と領収書の発行③ 32 代金の回収と領収書の発行④ 33 代金の回収管理① 34 代金の回収管理②

	35 代金の回収管理③ 36 代金の回収管理④ 37 管理資料の作成① 38 管理資料の作成② 39 管理資料の作成③ 40 管理資料の作成④ 41 複数の取引先との取引① 42 複数の取引先との取引② 43 複数の取引先との取引③ 44 複数の取引先との取引④ 45 複数の取引先との取引⑤ 46 複数の取引先との取引⑥ 47 複数の取引先との取引⑦ 48 複数の取引先との取引⑧ 49 得意先と販売管理① 50 得意先と販売管理② 51 得意先と販売管理③ 52 得意先と販売管理④ 53 得意先と販売管理⑤ 54 得意先と販売管理⑥ 55 得意先と販売管理⑦ 56 得意先と販売管理⑧ 57 プレ効果測定① 58 プレ効果測定② 59 効果測定① 60 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	パソコン実習応用	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成（1）① 11 表、画像、図形を使った文書の作成（1）② 12 表、画像、図形を使った文書の作成（1）③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成（1）④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑥ 16 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑦ 17 プレ効果測定① 18 プレ効果測定② 19 効果測定① 20 効果測定②	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	経理実務実習
実務家教員授業	斉藤隆史
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 回
授業概要	経理事務職員として必要な販売管理スキルを習得する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	実務家教員は、民間企業の経理部にて十分な実務経験があり、日々の経理業務に加え、固定資産管理、売掛金管理、決算業務、有価証券報告書作成業務にも携わるなど、企業での実践的な知識を有する職員
授業計画	1 販売管理概論 2 納品書の作成 3 納品書の作成 4 売上事務の流れ① 5 売上事務の流れ② 6 売上の計上 7 振替伝票の作成 8 請求書の作成 9 締め日 10 締め日と合計請求書 11 請求に関する様々な条件 12 代金の回収と領収書の発行 13 代金の回収管理 14 管理資料の作成 15 複数の取引先との取引① 16 複数の取引先との取引② 17 得意先と販売管理① 18 得意先と販売管理② 19 プレ効果測定 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	財務会計ソフト実習	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	財務会計ソフトにおける基本的な操作スキルを習得する	
授業の進め方	パソコンによる実践的な問題演習	
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする	
教科書	配布プリント	
特記		
授業計画	1	日常取引の操作
	2	振替伝票の入力操作
	3	入出金伝票の入力操作
	4	仕訳帳の入力操作
	5	売掛帳・買掛帳の入力操作および付箋機能
	6	現金出納帳・預金出納帳の入力操作
	7	勘定科目の追加登録
	8	決算手続の操作
	9	決算書の作成
	10	翌期繰越処理
	11	問題演習①
	12	問題演習②
	13	問題演習③
	14	問題演習④
	15	問題演習⑤
	16	問題演習⑥
	17	問題演習⑦
	18	問題演習⑧
	19	問題演習⑨
	20	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	接客マナー実践
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	８０時間
授業回数	４０回
授業概要	接客に関する基礎知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実技演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 接客の心構え 2 お茶の入れ方 3 お茶の出し方 4 接客練習① 5 接客練習 振り返り① 6 接客練習② 7 接客練習 振り返り② 8 お見送り、後片付け 9 接客の流れ 10 接客練習③ 11 接客練習 振り返り③ 12 接客練習④ 13 接客練習 振り返り④ 14 接客販売の心得 15 キャラクターの演じ方 16 お客様の心理を理解する 17 接客における基本用語 18 店内接客練習① 19 店内接客練習 振り返り① 20 店内接客練習② 21 店内接客練習 振り返り② 22 状況別の店内接客 23 電話での問い合わせ① 24 電話での問い合わせ② 25 店内接客練習③ 26 店内接客練習 振り返り③ 27 店内接客練習④ 28 店内接客練習 振り返り④ 29 接客練習⑤ 30 接客練習 振り返り⑤ 31 接客練習⑥ 32 接客練習 振り返り⑥ 33 接客練習⑦ 34 接客練習 振り返り⑦

	35	接遇練習⑧
	36	接遇練習 振り返り⑧
	37	接遇練習⑨
	38	接遇練習 振り返り⑨
	39	効果測定
	40	効果測定 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	80時間	
授業回数	40回	
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	表作成の基本操作①
	6	表作成の基本操作②
	7	表作成の基本操作③
	8	表、画像、図形を使った文書の作成（2）①
	9	表、画像、図形を使った文書の作成（2）②
	10	表、画像、図形を使った文書の作成（2）③
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作①
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作②
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作③
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作④
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤
	16	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
	17	数式・関数を活用した集計表の作成①
	18	数式・関数を活用した集計表の作成②
	19	数式・関数を活用した集計表の作成③
	20	ワークシート間の集計①
	21	ワークシート間の集計②
	22	ワークシート間の集計③
	23	グラフの基本①
	24	グラフの基本②
	25	グラフの基本③
	26	目的に応じたグラフの作成と編集①
	27	目的に応じたグラフの作成と編集②
	28	目的に応じたグラフの作成と編集③
	29	データベース機能の利用①
	30	データベース機能の利用②
	31	データベース機能の利用③

	32	データの抽出①
	33	データの抽出②
	34	データの抽出③
	35	ピボットテーブル①
	36	ピボットテーブル②
	37	ピボットテーブル③
	38	マクロによる作業の自動化①
	39	マクロによる作業の自動化②
	40	マクロによる作業の自動化③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	実務会計実習	
実務家教員授業	斉藤隆史	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	決算書の構図を理解し、経営活動との関係性を学習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	経理・財務スキル検定ランクCレベルの知識を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	実務家教員は、民間企業の経理部にて十分な実務経験があり、日々の経理業務に加え、固定資産管理、売掛金管理、決算業務、有価証券報告書作成業務にも携わるなど、企業での実践的な知識を有する職員	
授業計画	1	現金出納帳管理
	2	手形・小切手管理
	3	有価証券管理
	4	財務保証管理
	5	貸付金業務
	6	借入金業務
	7	社債管理
	8	デリバティブ取引管理
	9	外貨建取引管理
	10	資金管理
	11	資金管理
	12	単年決算業務①
	13	単年決算業務②
	14	連結決算管理①
	15	連結決算管理②
	16	連結決算管理③
	17	中長期軽々管理①
	18	中長期軽々管理②
	19	年次予算管理①
	20	年次予算管理②
	30	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	総合演習（接客論マナー実践）
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	8 0 時間
授業回数	4 0 回
授業概要	臨機応変な電話応対や接客スキル、PC操作を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	効果測定における得点、8 0 点以上を目標とする
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 仮想オフィス実習－接客編① 2 仮想オフィス実習－接客編② 3 仮想オフィス実習－接客編③ 4 仮想オフィス実習－接客編④ 5 仮想オフィス実習－接客編⑤ 6 仮想オフィス実習－電話応対編① 7 仮想オフィス実習－電話応対編② 8 仮想オフィス実習－電話応対編③ 9 仮想オフィス実習－電話応対編④ 10 仮想オフィス実習－電話応対編⑤ 11 仮想オフィス実習－PC操作編① 12 仮想オフィス実習－PC操作編② 13 仮想オフィス実習－PC操作編③ 14 仮想オフィス実習－PC操作編④ 15 仮想オフィス実習－PC操作編⑤ 16 仮想オフィス実習－業務指示編① 17 仮想オフィス実習－業務指示編② 18 仮想オフィス実習－業務指示編③ 19 仮想オフィス実習－業務報告編① 20 仮想オフィス実習－業務報告編② 21 仮想オフィス実習－業務報告編③ 22 仮想オフィス実習－接客（応用）編① 23 仮想オフィス実習－接客（応用）編② 24 仮想オフィス実習－接客（応用）編③ 25 仮想オフィス実習－接客（応用）編④ 26 仮想オフィス実習－電話応対（応用）編① 27 仮想オフィス実習－電話応対（応用）編② 28 仮想オフィス実習－電話応対（応用）編③ 29 仮想オフィス実習－電話応対（応用）編④

	30	仮想オフィス実習—事務処理編①
	31	仮想オフィス実習—事務処理編②
	32	仮想オフィス実習—事務処理編③
	33	仮想オフィス実習—事務処理編④
	34	仮想オフィス実習—事務処理編⑤
	35	仮想オフィス実習—総合①
	36	仮想オフィス実習—総合②
	37	仮想オフィス実習—総合③
	38	仮想オフィス実習—総合④
	39	仮想オフィス実習—総合⑤
	40	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	経営学概論
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	6 0 時間
授業回数	3 0 回
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 投資理論の基礎知識① 2 投資理論の基礎知識② 3 最適なポートフォリオの選択① 4 最適なポートフォリオの選択② 5 資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）① 6 資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）② 7 債券評価① 8 債券評価② 9 裁定取引と効率的市場① 10 裁定取引と効率的市場② 11 マルチファクターモデルと行動ファイナンス① 12 マルチファクターモデルと行動ファイナンス② 13 企業財務論の目的① 14 企業財務論の目的② 15 資本コスト① 16 資本コスト② 17 最適資本構成① 18 最適資本構成② 19 プロジェクトの評価① 20 プロジェクトの評価② 21 配当政策（ペイアウト政策その 1）① 22 配当政策（ペイアウト政策その 1）② 23 自社株買い（ペイアウト政策その 2）① 24 自社株買い（ペイアウト政策その 2）② 25 財務情報分析① 26 財務情報分析② 27 M&Aにおける企業価値評価① 28 M&Aにおける企業価値評価② 29 企業価値評価（バリエーション） 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	英語	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 2 0 時間	
授業回数	6 0 回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する。 基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活、場面別の簡単な英会話を習得する。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	出会った時のあいさつ①
	2	出会った時のあいさつ②
	3	初対面の人と話す①
	4	初対面の人と話す②
	5	人を紹介する①
	6	人を紹介する②
	7	別れる時のあいさつ①
	8	別れる時のあいさつ②
	9	お礼を言う①
	10	お礼を言う②
	11	おわびをする①
	12	おわびをする②
	13	依頼する①
	14	依頼する②
	15	許可を求める①
	16	許可を求める②
	17	賛成・同意する①
	18	賛成・同意する②
	19	反対・否定する①
	20	反対・否定する②
	21	聞き返す①
	22	聞き返す②
	23	あいづちをうつ①
	24	あいづちをうつ②
	25	発話①
	26	発話②
	27	発話③
	28	発話④
	29	効果測定①
	30	効果測定②
	31	基本の英会話①
	32	基本の英会話②

	33 基本の英会話③ 34 基本の英会話④ 35 基本の英会話⑤ 36 基本の英会話⑥ 37 基本の英会話⑦ 38 基本の英会話⑧ 39 基本の英会話⑨ 40 基本の英会話⑩ 41 基本の英会話⑪ 42 基本の英会話⑫ 43 覚えて便利な日常会話フレーズ① 44 覚えて便利な日常会話フレーズ② 45 覚えて便利な日常会話フレーズ③ 46 覚えて便利な日常会話フレーズ④ 47 覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 48 覚えて便利な日常会話フレーズ⑥ 49 覚えて便利な日常会話フレーズ⑦ 50 覚えて便利な日常会話フレーズ⑧ 51 覚えて便利な日常会話フレーズ⑨ 52 覚えて便利な日常会話フレーズ⑩ 53 場面別英会話① 54 場面別英会話② 55 場面別英会話③ 56 場面別英会話④ 57 場面別英会話⑤ 58 場面別英会話⑥ 59 効果測定③ 60 効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	体育
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	実習及び講義
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	現場実技によるスキースキル、スノーボードスキルの習得
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	スキー検定認定、スノーボード検定認定
教科書	特に使用はしない
特記	
授業計画	1 初歩動作から一人すべり スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー 2 八の字から連続回転 3 連続回転からパラレル 4 パラレルターンⅠ リズム・タイミング・コース取り（大回り） 5 パラレルターンⅡ リズム・タイミング・コース取り（小回り） 6 八の字と平行を組み合わせるⅠ 基礎技能の強化 7 八の字と平行を組み合わせるⅡ パラレルターンの基礎 8 八の字と平行を組み合わせるⅢ パラレルターンの応用 9 八の字と平行を組み合わせるⅣ パラレルターンの習得 10 スキーを揃えて滑るⅠ 整地・コブ斜面（小回り・大回り） 11 スキーを揃えて滑るⅡ 整地・コブ斜面 応用技能の強化 12 リズム変化 状況対応能力の強化 13 リズム変化 斜度変化 14 リズム変化 スピード・不整地の対応 15 バッジテスト 16 初歩動作から一人すべり スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー 17 ノーズドロップからの停止（ターンと停止） 18 ターンの形、サイズ変更Ⅰ ミドルターン 19 ターンの形、サイズ変更Ⅱ ロングターン 20 ターンの形、サイズ変更Ⅲ ショートターン 21 ターンの形、サイズ変更Ⅳ カービングターンロング 22 ターンの形、サイズ変更Ⅴ カービングターンショート 23 ターンの形、サイズ変更Ⅵ ベーシックカーブロング 24 ターンの形、サイズ変更Ⅶ フリーライディング 25 ターンの形、サイズ変更の応用 ベーシックカーブショート 26 ターンの形、サイズ変更の応用 ベーシックカーブロング 27 ターンの形、サイズ変更の応用 フリーライディング 28 リズム変化 斜度変化 29 リズム変化 スピード・不整地の対応 30 バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	高等商業簿記論
実務家教員授業	－
学部・学科	経理本科２年制学科
履修年次	２年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	８０時間
授業回数	４０回
授業概要	簿記１級試験に合格するための商業簿記の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	簿記１級試験に合格するための商業簿記の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 有価証券（売買目的） - 有価証券（満期保有目的） - 有価証券（支配目的・影響力行使目的） - 有価証券（その他） - デリバティブ取引① - デリバティブ取引② - ヘッジ会計① - ヘッジ会計② - 有形固定資産① - 有形固定資産② - 割引現在価値① - 割引現在価値② - リース取引（オペレーティングリース取引・ファイナンスリース取引） - リース取引（貸手側の処理・セールアンドリースバック取引） - 固定資産の減損① - 固定資産の減損② - 研究開発費とソフトウェア - 繰延資産 - 社債① - 社債② - 引当金① - 引当金② - 退職給付① - 退職給付② - 資産除去債務① - 資産除去債務② - 純資産（総論・自己株式・株主資本等変動計算書） - 純資産（新株予約権・ストックオプション） - 税効果会計① - 税効果会計② - 外貨建取引（総論・外貨建取引の会計処理） - 外貨建取引（外貨建有価証券・為替予約） - 商品売買等（原価率等・売価還元法） - 商品売買等（特殊商品売買）

	35	工事契約①
	36	工事契約②
	37	本支店会計（総論・本支店間取引・決算手続き）
	38	本支店会計（内部利益の調整・外部公表用財務諸表）
	39	模擬試験
	40	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容
授業科目	会計学
実務家教員授業	-
学部・学科	経理本科2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	80時間
授業回数	40回
授業概要	簿記1級試験に合格するための会計学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	簿記1級試験に合格するための会計学を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 連結財務諸表総論 2 連結財務諸表の種類 3 支配獲得日における連結貸借対照表 4 支配獲得日以降における連結財務諸表 5 段階取得 6 子会社株式の追加取得 7 子会社株式の一部売却 8 成果連結 9 未実現利益の消去（棚卸資産） 10 債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整 11 未達取引 12 未実現利益の消去（非償却性資産） 13 未実現利益の消去（償却性資産） 14 持分法 15 未実現利益の消去 16 連結税効果 17 連結財務諸表固有の一時差異 18 包括利益計算書 19 在外子会社の財務諸表項目の換算 20 企業結合 21 合併 22 株式交換 23 株式移転 24 事業分離 25 分離元企業の会計処理 26 本支店会計 27 本支店間取引 28 本支店間における決算手続 29 内部利益の調整 30 外部公表用財務諸表（本支店合併財務諸表） 31 在外支店の財務諸表項目の換算 32 キャッシュ・フロー計算書 33 営業活動によるキャッシュ・フロー 34 投資・財務活動によるキャッシュ・フロー

	35	連結キャッシュ・フロー計算書
	36	連結キャッシュ・フロー計算書（直接法）の原則法
	37	連結キャッシュ・フロー計算書（間接法）の簡便法
	38	会計上の変更及び誤謬の訂正
	39	模擬試験
	40	模擬試験 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60％ 出席点40％ 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	1級総合Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	80時間	
授業回数	40回	
授業概要	簿記1級試験合格のための模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	簿記1級試験合格のための模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	公開模試 直前答練	
特記		
授業計画	1	日ビ直前答練1（商業簿記・会計学）
	2	日ビ直前答練1（工業簿記・原価計算）
	3	日ビ直前答練1 解説
	4	日ビ直前答練2（商業簿記・会計学）
	5	日ビ直前答練2（工業簿記・原価計算）
	6	日ビ直前答練2 解説
	7	日ビ直前答練3（商業簿記・会計学）
	8	日ビ直前答練3（工業簿記・原価計算）
	9	日ビ直前答練3 解説
	10	日ビ直前答練4（商業簿記・会計学）
	11	日ビ直前答練4（工業簿記・原価計算）
	12	日ビ直前答練4 解説
	13	日ビ最終確認（商業簿記・会計学）
	14	日ビ最終確認（商業簿記・会計学） 解説
	15	日ビ最終確認（工業簿記・原価計算）
	16	日ビ最終確認（工業簿記・原価計算） 解説
	17	公開模試（商業簿記・会計学）
	18	公開模試（工業簿記・原価計算）
	19	公開模試 解説
	20	直前答練1（商業簿記・会計学）
	21	直前答練1（工業簿記・原価計算）
	22	直前答練1 解説
	23	直前答練2（商業簿記・会計学）
	24	直前答練2（工業簿記・原価計算）
	25	直前答練2 解説
	26	直前答練3（商業簿記・会計学）
	27	直前答練3（工業簿記・原価計算）
	28	直前答練3 解説
	29	直前答練4（商業簿記・会計学）
	30	直前答練4（工業簿記・原価計算）

	31 直前答練 4 解説 32 直前答練 5 (商業簿記・会計学) 33 直前答練 5 (工業簿記・原価計算) 34 直前答練 5 解説 35 検証期① 36 検証期② 37 模擬試験 (商業簿記・会計学) 38 模擬試験 (商業簿記・会計学) 解説 39 模擬試験 (工業簿記・原価計算) 40 模擬試験 (工業簿記・原価計算) 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60% 出席点40% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	商業英語	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 基本の英会話① 2 基本の英会話② 3 基本の英会話③ 4 基本の英会話④ 5 基本の英会話⑤ 6 基本の英会話⑥ 7 覚えて便利な日常会話フレーズ① 8 覚えて便利な日常会話フレーズ② 9 覚えて便利な日常会話フレーズ③ 10 覚えて便利な日常会話フレーズ④ 11 覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 12 場面別英会話① 13 場面別英会話② 14 場面別英会話③ 15 場面別英会話④ 16 場面別英会話⑤ 17 場面別英会話⑥ 18 場面別英会話⑦ 19 場面別英会話⑧ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	英文会計	
実務家教員授業	-	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 出会った時のあいさつ 2 初対面の人と話す 3 人を紹介する 4 別れる時のあいさつ 5 お礼を言う 6 おわびをする 7 依頼する 8 許可を求める 9 賛成・同意する 10 反対・否定する 11 聞き返す 12 あいづちをうつ 13 発話① 14 発話② 15 発話③ 16 発話④ 17 発話⑤ 18 発話⑥ 19 発話⑦ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	英文会計Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 基本の英会話① 2 基本の英会話② 3 基本の英会話③ 4 基本の英会話④ 5 基本の英会話⑤ 6 基本の英会話⑥ 7 覚えて便利な日常会話フレーズ① 8 覚えて便利な日常会話フレーズ② 9 覚えて便利な日常会話フレーズ③ 10 覚えて便利な日常会話フレーズ④ 11 覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 12 場面別英会話① 13 場面別英会話② 14 場面別英会話③ 15 場面別英会話④ 16 場面別英会話⑤ 17 場面別英会話⑥ 18 場面別英会話⑦ 19 場面別英会話⑧ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	英語 I	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科 2 年制学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 出会った時のあいさつ 2 初対面の人と話す 3 人を紹介する 4 別れる時のあいさつ 5 お礼を言う 6 おわびをする 7 依頼する 8 許可を求める 9 賛成・同意する 10 反対・否定する 11 聞き返す 12 あいづちをうつ 13 発話① 14 発話② 15 発話③ 16 発話④ 17 発話⑤ 18 発話⑥ 19 発話⑦ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内 容	
授業科目	英語Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	経理本科2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 基本の英会話① 2 基本の英会話② 3 基本の英会話③ 4 基本の英会話④ 5 基本の英会話⑤ 6 基本の英会話⑥ 7 覚えて便利な日常会話フレーズ① 8 覚えて便利な日常会話フレーズ② 9 覚えて便利な日常会話フレーズ③ 10 覚えて便利な日常会話フレーズ④ 11 覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 12 場面別英会話① 13 場面別英会話② 14 場面別英会話③ 15 場面別英会話④ 16 場面別英会話⑤ 17 場面別英会話⑥ 18 場面別英会話⑦ 19 場面別英会話⑧ 20 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		